	共通教育科目カリキュラム	ムマップ									
I	———— 共通科目の到達目標(DF	P:ディプロマポリシー)									
		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・									
<u> </u>			> # ŵ.+ ₩	ما – دیخ	<i>+</i> 44 ^ 0	. ☆ 〒 ☆ ! -	· エロテナ	- 7 - L			
		行動様式、コミュニケーション能力、就業力等を身につけて社会性の		さい、これ	を任会の	発展寺に	. 活用でき	5句刀			
③専門的な学習の基盤となる幅広い学問的知識や技能を身につけて、総合的に判断し、主体的に行動できるカ I 梅花女子大学で身につける6つの力 6つの力の具体的内容の一例											
Ⅱ柏	F花女子大学で身につける6つの力	6つの力の具体的内容の一例									
①豊	かな人間性	他者を思いやる心や奉仕の精神を育み、相手の立場に立って表	きえ、行動	する力							
2問	題解決力	問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析し、それを解決す	る力								
3論3	理的思考力	様々な学問分野における知識を修得し、それを活用して物事を	論理的に	考え、判	断する力						
4)⊐₹	ミュニケーションカ	言葉や身体、ICT等を通して自己を表現し、他者との相互理解を	深める力]							
⑤チ-	ームワーク・リーダーシップ	他者と協調・協働して行動する力、他者に方向性を示し目標の	実現を図る	る力							
⑥グロ	コーバル社会対応力	異文化を理解し、共生できる力									
			1 cm. 7d.			力の項目	番号				
科目群	科目名	科目の到達目標		<mark>達目標(D</mark> 花女子大学		ける6つの	<u></u> カ				
			1	2	3	4	5	6			
キリ	聖書の世界	旧約聖書の歴史や物語を知り、異文化間に生きる国際人として の基礎的教養を身につける。また、新約聖書の物語やイエスの 教えを通じてキリスト教の愛の教えを本質的な点で理解し、これ によりキリスト教主義に立つ梅花女子大学での学びをより豊かな	0	0	0						
スト数		ものとする。 キリスト教についての知識を得ることで、国際人としての教養を身	0		0			0			
教科		につける。また、キリスト教一般の中で本学創立者と建学の精神 とがどのような位置にあるのかを理解することで、この大学で学	0	0	0						
目	洋山体雅C廷士の相仰	ぶための基本的な姿勢と、梅花女子大学生としてのアイデンティ ティーとを養う。	0		0			0			
	1	話を聞くだけでなく、テキストを読む、意見を述べる、話し合う、発表する、メモを取る、情報を整理する、意見を書く、といったことが		0							
	初年次セミナー	できるようになるり、さらに共同作業で初歩的なプレゼンテーショ		0	0	0	0				
		ンができるようになることが目標である。 ①マインドマップやマトリックス、包含図などを使いこなして分析し			0	0	O				
	┃ ┃問題発見解決セミナー ┃	たり、ひとと議論できるようになること、②議論の結果をまとめて		0							
		人前でプレゼンテーションできるようになることが目標である。		0	0	0	0				
	 問題発見・解決セミナー II	身近なところにある問題を発見する経験を積み、テーマが決まったら、到達目標を定め企画書にまとめる力をつける。さらに情報の整理とディスカッション能力、グループメンバーの役割分担と協		0	0						
		力体制の確立、プレゼンテーション能力のスキルアップをめざす。		0	0	0	0				
		①社会で求められる基礎的な数的処理能力、言語能力を身につける②自分を知り、社会で求められる力を知る③様々なワークス		0							
	キャリアデザイン タイルを知る④マナーを身につけ就職活動の流れを知る⑤目札を実行に移せる。	0	0	0	0						
		美しい日本語の発声発音の理解と敬語表現を学び、伝わりやす		0							
キャ	美しい日本語(話し方)	くより女性らしいおしゃれな話し方を身につける。					_				
IJ		読み手にとって、わかりやすい日本語の文章を書けるようになる	0	0	0	0	0				
基	美しい日本語(書き方)	ことが目標である。		0							
ア基礎科目			0	0	0	0		0			
目	エレガンスセミナー	①社会人にふさわしい言葉遣い、ビジネスマナーを身につけること②外国人との交流の場において相互に尊重するマインドと知識を身につけること③正しいお辞儀とエレガントな所作を身につける		0	0						
		こと④日本の年中行事やしきたりの知識を習得すること⑤マナー・プロトコール検定3級に合格できる知識を習得すること	0	0	0	0		0			
	+1\$`	自分とは異質な世界があることを知り、多様な仕事や生き方に触れ、今後の人生設計のヒントを掴むこと。社会、家庭、仕事、様々	0	0	0						
	ナレッジイノベーション論 	な分野においてナレッジイノベーションの核となる意識と意欲を持つこと。	0	0	0	0	0	0			
		実社会で活用するための基本的知識やスキルを実際の産学連	0	0	0						
	実践·産学連携演習	携事業の経験を通じて学ぶ事が目標である。	0	0	0	0	0	0			
		 必要な情報を的確に伝達するための文章作成の方法を習得する	_		U	U	U				
	情報処理演習 I	とともに、その内容をより分かりやすくするための画像などの活用		0							
		方法を習得する。 必要な数値を正確に算出するための表計算の方法を習得すると	0	0	0	0		0			
	情報処理演習Ⅱ	必要な数値を正確に昇出するための表計算の方法を首待すると ともに、その内容を「見える化」するためのグラフなどの活用方法 を習得する。	0	0	0	0		0			
グ ロ·	英語会話 I	TOEIC 300~400取得可能な英語力を目指す。TOEIC Part1写真描写問題のように、写真や絵を見て状況を説明出来る。 英語力の取得を目指す。		0		0		0			
 バ	# A	TOEIC400~450取得可能な英語力を目指す。TOEIC Part2応答		0							
ル	英語会話 II 	問題のように、質問に対して会話のテンポを落とす事なく、すぐに返答できる英語力の取得を目指す。				0		0			
П ///		コミュニケーションと語彙構築のアクティビティを通じて基本的な		0							
_ _	英語会話Ⅲ	英語力を向上ることを目標とする。理解のための基本パターンを使って、教室の内外で英語の会話で生き抜く方法を習得する。				0		0			
ケ		コミュニケーションと語彙構築のアクティビティを通じて基本的な		0							
ーショ	英語会話IV	英語力を向上ることを目標とする。理解のための基本パターンを 使って、教室の内外で英語の会話で生き抜く方法を習得する。		U		0		0			
ン	┃ ┃日本語 I	大学生活において必要な日本語を、読み、聞き、話し、書くことができるようになる。		0							
科目	中介記					0		0			

					1		
日本語Ⅱ	大学における学習に必要なやや高度な日本語を、読み、聞き、話し、書くことができるようになる。		0				
	学術的でやや高度な日本語を読み、書き、それについて基本的				0		0
日本語皿	すが的でやや同度な日本語を読み、書き、それについて基本的なディスカッションや内容紹介のプレゼンテーションができるようになる。		0		0		0
	学術的で高度な日本語を読み、書き、それについて深いディス		0				
日本語Ⅳ	カッションや独自のプレゼンテーションが行えるようになる。				0		0
/-* . L. / - 1	メディカルヨガインストラクターとしてレッスンを提供できるようにな		0				
メディカルヨガ I	る 楽しんでヨガを学ぶ	0			0	0	
メディカルヨガ Ⅱ	メディカルヨガインストラクターとしてレッスンを提供できるようになる		0				
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	楽しんでヨガを学ぶ	0			0	0	
メディカルヨガピラティス I	クライエントの状態に応じてプログラムを組めるようになる	_	0		_	_	
	クライエントの状態に応じてプログラムを組めるようになる	0			0	0	
メディカルヨガピラティス Ⅱ	ファイエントのアルボールのピッコックエと利用ののありになる	0	0		0	0	
メディカルアロマセラピー概論	統合医学を理解し、個別に異なる健康への捉え方や価値観、概念、意識などを考察できるようになる。アロマセラピーとハーブ療法を通じて、自らの健康に対する意識を高め、社会人として有用で豊かな感性を磨き、今後の人生において生かせる感覚や視野の広がりを習得する。本講義では、単に専門分野の知識を得る		0				
	だけではなく、生涯を通じた視点で、包括的な健康管理・支援の方法を獲得することを目標とする。	0			0	0	
基礎医学	人体がどのような構造と生理機能を持っているかを理解する。 		0				
-	│ 心理学の全般的な領域について基礎的知識を身につける。その ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	0	0	0	0	0	
メディカル心理学	ル理学の主般的な領域について基礎的知識を身につける。その 上で、心の問題を扱うことの難しさ、意義、倫理等について自分な りの考えを持つことができる。		0				
	りの考えを持つことができる。 美容全般、スキンケア、皮膚について基礎的かつ実際の知識を	0	0		0	0	
美容総合学	取得、理解する。	0	0		0		
	■	_	0				
化粧品学	他)について基礎的かつ実践的な知識を習得・理解する	0			0		
A =	顔分析理論から、各パーツの修整方法、色・形・質感で操作する		0				
メイクアップ理論	イメージメイク理論を学び、TPOに合わせたメイクや自分に合うメイクを理解する。	0			0		
美と健康の薬膳学	・季節ごとの体の変化に合わせた食でのセルフケアができる・美容やダイエットなど目的に合わせた食でのインナービューティーを実践できる・気血水での個別体質診断ができる・身近なトラブル、ストレスによる体への不調がなぜ起きるのかがわかる・病気になる前に病気にならない体作りができる・それらを解決する食べ物		0				
	の選び方と食べ方がわかる・四季の移り変わりに合わせた美と健康を維持するための養生法がわかる 色に関する基本的な知識を理解し、色彩に関する感性や心理効	0	0		0		
色彩学入門	果を習得する。 課題制作を通して配色や色の認識、色彩表現を体験し、日常生活の中で様々な色を実践的に活用する事ができる。	0			0		0
デザイン基礎	デザインに関する基礎知識を理解し、デザイン思考のプロセスに 則り生活の中で利用者の共感を得るモノのデザイン企画に取り		0				
	組むことができる。	0			0		0
ブライダルドレス	ドレススタイリストに必要な知識・ブライダル業界をはじめ様々な 業界で活躍できる提案力・営業力を身につける。		0				
	ブライダルプランナー検定2級(1級)の合格を目指し、ブライダル	0	0			0	
ブライダルプランナー I	業界の現状やウェディングプランナーに必要な知識や用語を身に 着ける。	0				0	
	体幹を鍛え、美しい姿勢や歩き方を身につける。レッスンマナーを	_	0				
バレエ I (入門)	学び、周りの人へ思いやりのある精神面でも高い女性を目指す。	0	0			0	
\$, /# ##\	体幹を鍛え、美しい姿勢や歩き方を身につける。グループワーク ト課題は全員で取り組み、一つのものようには成ればある。		0				
バレエⅡ(基礎)	と課題は全員で取り組み、一つのものをつくる達成感を味わう。	0	0			0	
ダンス I	身体の使い方の基礎、各種のステップ、レパートリーワーク、作品の見方、味わい方、踊り方を学びグループにより作品発表によって自己開示、他者を深めて、個人技能の獲得と身体のコ		0			0	
	ミュニケーション能力を高める。 ストレッチングの理論と実践エクササイズの理論と実践アイソレー	0			0	0	
ダンスⅡ	ション・リズムトレーニング・基本ステップ・ステップコンビネーション以上を毎時間実施し、最終的にはショートプログラムの振り付けを完成させる。	0	0		0	0	
ミュージカル総合 I	舞台に必要な動きを複合的に学ぶことで舞台人としての素地を身 につけながら、個々のもっているスキルを向上させる。		0	0			
		0			0	0	
ミュージカル総合 Ⅱ	舞台に必要な動きを複合的に学ぶことで舞台人としての素地を身につけながら、個々のもっているスキルを向上させる。		0	0			
	舞台に必要な動きを複合的に学ぶことで舞台人としての素地を身	0			0	0	
ミュージカル総合皿	舞台に必要な動きを複音的に子かことで舞台人としての系地を身につけながら、個々のもっているスキルを向上させる。		0	0			
		0			0	0	

教養科目

ミュージカル総合Ⅳ	舞台に必要な動きを複合的に学ぶことで舞台人としての素地を身につけながら、個々のもっているスキルを向上させる。		0	0		1	1
		0			0	0	
ミュージカル総合∇	舞台に必要な動きを複合的に学ぶことで舞台人としての素地を身 につけながら、個々のもっているスキルを向上させる。		0	0			
ミユークカル松ロV	につけるから、個人のひろくの一の人人がと同土できる。	0			0	0	
	舞台に必要な動きを複合的に学ぶことで舞台人としての素地を身		0	0		•	
ミュージカル総合 VI	につけながら、個々のもっているスキルを向上させる。	0			0	0	
	舞台美術、照明、音響、衣装など舞台づくりに欠かせない基礎知			0			
舞台技術	識を理解したうえで、舞台に立つ者の立場、演出する立場など、 それぞれの役割のなかでの舞台技術の重要性を理解する。			0			
	ていているのはいのないでの対する人間の主义はとユニテンの。	0	0		0	0	
	心身ともに健康な活力を培うために、人間形成に必要な身体運動に関する科学的な知識について、実践研究をとおして修得する		0				
健康とスポーツ(実技)	ことを目標とする。技術向上よりもいろいろな身体活動を体験す	•					
	る楽しみから、人とのコミュニケーションを図る。	0	0	0	0	0	
健康とスポーツ(理論)	自分自身にあったスポーツ活動についてプログラミングができる ようになることを目標とする。		0				ı
DEIACES VII.		0	0	0	0	0	
英語会話	You will improve your English communication skills.		0				
火 品 女					0		0
= T A = T	①基礎的なフランス語の文法事項が理解できる。②簡単な表現が理解できる。②簡単な表現が理解できる。②		0			•	
フランス語会話	が理解できる。③実用フランス語5級レベルの簡単で実用的なフランス語を話すことができる。			0	0		0
	中国語の正確な発音を身に着け、基本文法を理解し、簡単な会		0				
中国語会話	話ができる。	0	0		0		0
	韓国語で自己紹介ができる事を目指します。)	0				
ハングル講座		0					
		0			0		0
	す。この学習を通して、聴覚障害の障害理解をし、どのような配		0				
手話入門	慮をしたら良いかを考える視点を育てる。さらに、日常のコミュニケーションをより大切にし、自分の気持ちを相手に豊かに届ける						_
	ことを目指す。	0	0		0	0	0
女性と法	現代社会における女性に対する様々な人権侵害に気付き、それらを身近な問題として考え、多角的に分析する力を身につける。		0	0			
女性 2 法	さらに諸問題の改善策、解決策を考える力を養う。	0	0	0	0		0
	ジェンダーの視点から家族と福祉について学び、ジェンダー平等		0	0			
ジェンダーと福祉	な福祉政策のあり方について考察を深める。	0	0	0			0
	①先輩諸氏の体験談を聞くことにより、今後の学び方・生き方の		0	0			
先輩に学ぶ女性の生き方	指針とする。②「聴く」「書く」「話す」「調べる」技術を身につける。	0		0	0		0
	文字のもつ美を理論的にまた技術的に追求し、実用的な書写技		0				
美しい日本語(硬筆入門)	術の向上をはかる。	0	0	0	0		0
	1 ①日本及び世界の図書館の歴史と発展について理解を深める。)					
図書館の文化史	②紙以前の記録メディアの誕生から近代のメディアに至る発展の		0				
	過程を学び、理解する。③図書館と社会のかかわりについて知り、図書館の役割を考えられるようになる。				0		
	①日本の文化・歴史に関する基礎的な知識を学び、理解を深め		0				
日本の歴史と文化	る。②歴史的なものの見方・考え方に立って現代社会を相対化することで、現代日本の社会や文化について豊かな見方ができるカ						
	を身につける。		0	0			
むしょれの立ん中	毎日の必需品としている消耗品としての衣服が、実は人類が生き てきた証を表象しているものとして捉えることができることを認識		0				
おしゃれの文化史	する。	0	0	0			0
	①憲法が保障する基本的人権の意味や意義を理解する。②各種の人権問題の		0	0			
日本国憲法	の人権問題に関心を持ち、理解に努める。③各種の人権問題の 解決方法を模索し、自分なりの意見を持つ。	0	0	0	0		0
_	裁判での争点を理解し、社会における具体的な「法」の役割に気		0	0			
人間と法(法学)	づくとともに、自ら考える力を身につけることを目標とする。	0	0	0	0		0
	□ ①新聞やテレビなどマスメディアで報道される政治に関する)					
	ニュースの内容が大まかに理解でき、それらについて簡単な説明 可能な知識を持つこと。②社会問題や政治に関して、その背景や		0				
政治学	歴史的経緯などを踏まえたうえで、自分自身の意見を持てるよう						
	になること。③採用試験などにおいて必要な、政治学を含む社会 科学に関する基礎的知識を習得すること。	0	0	0			
	①生命体を構成する物質を列挙し説明できる。②細胞や遺伝子						
生物・化学の基礎	の構造と機能を説明できる③細胞の増殖と分化、細胞内の代謝と細胞呼吸を説明できる。④生殖と発生、成長と老化を説明できる		0				
1物 ⁻ 古り卒阪	る。⑤個体の維持について例をあげて説明できる。⑥遺伝のしく		0	0			
	みを説明できる。 情報という概念を知り、それを利用できるコンピュータの基礎を理						
情報科学	解する。そして、それを理解した上で、安全に利用し、活用できる		0	0			
	ようになることが目標である。		0	0	0		0
数の世界	数にかかわる問題に、自ら手を動かして考えることで、学ぶことの 楽しさを知る。		0				
			0	0			
	①AI やデータサイエンスの意味と価値を理解する。②AI やデータサイエンスにおけるデータ分析の方法を理解する。③AI やデー		0				
AI. データサイエンス	タサイエンスが実社会や各学問領域で広く活用されていることを	0	0	0	0	0	
	理解する。)					

メンタルヘルス入門	メンタルヘルス(精神保健福祉)の様々な課題について理解し、 自分自身の身近な問題として捉え考えること。		0	0		
7737V·177X[1]		0	0	0	0	
アニマルセラピー入門	アニマルセラピーに対して自分自身の意見、立場を表明できるようになることが目標である。		0	0		
) = \ne	ができることがは様々のも。	0	0	0	0	
動物飼養管理概論	動物(特に犬および猫)を扱う上で必要な基本的な知識を身につけることを目標とする。		0	0		
判彻即食旨垤俬픎	リアのこととは一体にカーの。	0	0	0	0	

文化表現学部 国際英語学科カリキュラムマップ

	文化表現学部 国際英語	学科カリキュラムマップ						
I	学科の到達目標(DP:デ	ン ィプロマポリシー)						
①英詞	 吾を「話す」、「聴く」、「読む」、「書ぐ							
	吾圏を中心とする異文化を理解す ・							
③グロ	コーバルな視野から物事を考える							
		・・ 知識に基づき英語を適切に運用する力						
	では、アンストランストランストランストランストランストランストランストランストランストラ							
	かな人間性 	他者を思いやる心や奉仕の精神を育み、相手の立場に立ってま		するカ				
	題解決力 ————————————————————————————————————	問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析し、それを解決す						
3論3	里的思考力 ————————————————————————————————————	様々な学問分野における知識を修得し、それを活用して物事を	論理的に	考え、判	断する力			
_	ュニケーションカ 	言葉や身体、ICT等を通して自己を表現し、他者との相互理解を						
⑤チ-	ームワーク・リーダーシップ	他者と協調・協働して行動する力、他者に方向性を示し目標の乳	実現を図る	る力				
⑥グロ	コーバル社会対応力 	異文化を理解し、共生できるカ	<u> </u>	_				
			上段・到	DP及 達目標(D	とび6つの (P)	力の項目	番号	
科目群	科目名	科目の到達目標	下段:梅花	艺女子大 学	学で身につ			
		英語の語彙と文法の力を高め、無理なく自分の考えや意見を述	1	2	3	4	5	6
	Speaking Skills I	べたり、個人的な情報を尋ねたりできるコミュニケーション技術を 身につける。	0	0	0	0	0	
		英語の語彙と文法の力を高め、無理なく自分の考えや意見を述	0	0	0	0		
	Speaking Skills II	べたり、個人的な情報を尋ねたりできるコミュニケーション技術を 身につける。			0	0	0	
		会話に必要な英語の基本的な語彙や文法、発音について学ぶ。	0	0	0	0		
	Speaking Skills III				0	0	0	
			0	0	0	0		
	Speaking Skills IV	1		U				
		 自信を持って英語でコミュニケーションできるようになる。	_	0	0	0	0	
	Speaking Skills V	日間と同うで人間でコープープログでである。	0	0	0	0	0	
			0	0	0	0	0	
	Speaking Skills VI			0	_			
		■ 英語で基本的なメールが書けるようになる。また、日常的なトピッ			0	0	0	
	Writing Workshop I	クについて簡単な話を書く力を養う。	0			0		
		白にわけらいちについてのつのパードニコギキはフトミにかて、ナ			0	0		
	Writing Workshop II	身近なトピックについて2つのパラグラフが書けるようになる。また、10分間で100語程度の英語の文章が書けるよう訓練する。	0			0		
					0	0		
	Writing Workshop III	自己紹介、故郷や友達について英語で書く。また、英語の技巧を 用いて文章が書けるように学ぶ。	0			0		ı
	Tricing Werkenop III				0	0		
	Writing Workshop IV	明快で論理的な英文を難なくかけるように学ぶ。	0			0		
	Writing Workshop IV				0	0		
	Des din a Wali I I I I	ー文一文日本語に訳していくのではなく、ポイントをつかみながら 英語のままで文章を理解していくコツを身につける。	0	0		0		
	Reading Workshop I	大叩いかかし入手で牡肝していてコノで対にプリる。			0	0		0
		一文一文日本語に訳していくのではなく、ポイントをつかみながら	0	0		0		
	Reading Workshop II	英語のままで文章を理解していくコツを身につける。			0	0		0
		文の基本構造を意識しながら、文頭から英語の語順のまま読む	0	0	0	0		
	Reading Workshop III	力を身に付け、日本の文化的特徴、欧米の文化との相違を英語 を通して理解・発信できるようになる。			0	0		0
		文の基本構造を意識しながら、文頭から英語の語順のまま読む	0	0	0	0		
	Reading Workshop IV	力を身に付け、日本の文化的特徴、欧米の文化との相違を英語を通して理解・発信できるようになる。			0	0		0
					J			
	TOEIC I	はなく、頭を使って行なうものであることを認識する。2 様々なこ	0			0		
		とを瞬時に判断しながら、英文を的確に聴き取る力をつける。3 この授業で学んだことを、今後どのように活かすかを考える。			0	0		0
		目標は以下の3つです。1 リスニングは耳ばかりで行なうもので						
	TOEIC II	はなく、頭を使って行なうものであることを認識する。2 様々なことを瞬時に判断しながら、英文を的確に聴き取る力をつける。3	0			0		
		この授業で学んだことを、今後どのように活かすかを考える。			0	0		0
		 新しいビジネス環境に対応したビジネス英語の基礎を学ぶ。						
	ビジネス英語 Ι	がし、こと、八条のころがしたことに八大田の金集とする。	0			0		
基		 新しいビジネス環境に対応したビジネス英語の基礎を学ぶ。			0	0		0
基 本 科 目	 ビジネス英語 Ⅱ	利しいにフホハ垛塊に対応したにフホヘ央語の基礎を子ふ。	0			0		
枓 日		サラスマロの シニナフトは シェンサナル・ナル・ナーマー・			0	0		0
	 英文法 I	英語で理解し、発信するために必要な基本的な文構造を正確に 把握する。	0	0		0		
				0	0	0		

	英語で理解し、発信するために必要な基本的な文構造を正確に	0	0		0		
英文法Ⅱ	把握する。		0	0	0		
	担当教員の専門領域に応じ、英語・英語圏に関する語学・文化・	0	0	0	0		
国際英語演習 I 1	文学の分野を深く学ぶ。	0		0	0	0	0
	担当教員の専門領域に応じ、英語・英語圏に関する語学・文化・	0	0	0	0		
国際英語演習 I 2	文学の分野を深く学ぶ。	0	J	0	0	0	0
	 担当教員の専門領域に応じ、英語・英語圏に関する語学・文化・	0	0	0	0		
国際英語演習 I 3	文学の分野を深く学ぶ。	0	O	0	0	0	0
	 担当教員の専門領域に応じ、英語·英語圏に関する語学·文化・	0	0	0	0		
国際英語演習 I 4	文学の分野を深く学ぶ。		0	0	0		
		0	0			0	0
国際英語演習Ⅱ1	文学の分野を深く学ぶ。	0	0	0	0		
		0	0	0	0	0	0
国際英語演習Ⅱ2	文学の分野を深く学ぶ。	0	0	0	0		
		0		0	0	0	0
国際英語演習Ⅱ3	担当教員の専門領域に応じ、英語・英語圏に関する語学・文化・文学の分野を深く学ぶ。	0	0	0	0		
		0		0	0	0	0
国際英語演習Ⅱ4	担当教員の専門領域に応じ、英語・英語圏に関する語学・文化・ 文学の分野を深く学ぶ。	0	0	0	0		•
		0		0	0	0	0
卒業演習 I 1	各自が選んだテーマに沿って、担当教員の指導のもと、卒業論 文・卒業創作を完成させる。	0	0	0	0		
午未供自 1 1		0	0	0	0		0
大米冷 亚	各自が選んだテーマに沿って、担当教員の指導のもと、卒業論 文・卒業創作を完成させる。	0	0	0	0		
卒業演習 I 2	ス・平未創TFで元灰でせる。	0	0	0	0		0
	各自が選んだテーマに沿って、担当教員の指導のもと、卒業論	0	0	0	0		
卒業演習Ⅰ3	文・卒業創作を完成させる。	0	0	0	0		0
	各自が選んだテーマに沿って、担当教員の指導のもと、卒業論	0	0	0	0		
卒業演習 [4	文・卒業創作を完成させる。	0	0	0	0		0
		0	0	0	0		
卒業演習Ⅱ1	文・卒業創作を完成させる。	0	0	0	0		0
	 各自が選んだテーマに沿って、担当教員の指導のもと、卒業論	0	0	0	0		
卒業演習Ⅱ2	文・卒業創作を完成させる。	0	0	0	0		0
	 各自が選んだテーマに沿って、担当教員の指導のもと、卒業論				0		
卒業演習Ⅱ3	文・卒業創作を完成させる。	0	0	0			
		0	0	0	0		0
卒業演習Ⅱ4	文・卒業創作を完成させる。	0	0	0	0		
	グローバルな視野を持ちながら、美容に関する実践的なスキルを	0	0	0	0		0
メイクアップテクニック Ι	学び、多様な美的価値観への理解を深める。			0	0		
		0			0		0
メイクアップテクニック Ⅱ	グローバルな視野を持ちながら、美容に関する実践的なスキルを 学び、多様な美的価値観への理解を深める。			0	0		
		0			0		0
エアラインビジネス論 [エアライン業務に関する基礎知識を習得し、航空業界への理解を 深める。			0	0		
エアプイグログイグへ開工		0	0		0		0
エアラインビジネス論 II	エアライン業務に関する基礎知識を習得し、航空業界への理解を 深める。			0	0		
エノフコンピンかへ端 #		0	0		0		0
エマニク・町中	エアライン業界の全体像を把握し、より実践的な知識を身につける			0	0		
エアライン研究	```	0	0		0		0
	エアライン業務に必要な英語表現を習得する。	0		0	0		
エアラインの英語 I		0			0	0	0
	エアライン業務に必要な英語表現を習得する。	0		0	0		
エアラインの英語 Ⅱ		0			0	0	0
観光ビジネス論 Ι	1)観光学を体系的に理解する。2)観光に関する基本的知識を 習得する。3)観光と地域との関わりを考える。		0	0			
	4 \ \(\frac{24}{4} \) \(0			0		0
観光ビジネス論 Ⅱ	1)観光学を体系的に理解する。2)観光に関する基本的知識を 習得する。3)観光と地域との関わりを考える。	0	0	0	0		0
	日本の旅行業や観光業の特徴、現状、問題点および課題を学	J	0	0			
旅行観光業研究I	び、旅行観光業界への理解を深めることを目的とする。	0	U	U			
	日本の旅行業や観光業の特徴、現状、問題点および課題を学	0				0	0
旅行観光業研究Ⅱ	び、旅行観光業界への理解を深めることを目的とする。		0	0			
ハハーコ モルフロント・シーフロ ユ		0				0	0

発展科目

	銅火苗語検守9級切坐の受力をつけてこと 柱にロューンが問題				_	1	
観光英語 I	観光英語検定2級相当の学力をつけること。特にリスニング問題やディクテーションを繰り返すことにより、英語を「聴く」力をしっかりと身につける。	0	0	0	0		0
	観光英語検定2級相当の学力をつけること。特にリスニング問題	0	0		0		
観光英語Ⅱ	やディクテーションを繰り返すことにより、英語を「聴く」力をしっかしと身につける。			0	0		0
	本フィールドワークでは、古都・京都をはじめ、中国・韓国・フランスの古都の比較研究をし、国際的な視野を広める機会づくりを目		0	0			
国際観光フィールドワーク	標としたい。とくに、京都観光文化検定試験や世界遺産検定(京都では17件の寺社・城)の受験指導をも兼ねた体験型学習を行うものである。	0	0		0		0
	ホスピタリティの基本的な概念を把握する。ホスピタリティの語源			0			
ホスピタリティ論 I	と歴史との関連性について理解する。ホスピタリティ産業における ホスピタリティの役割や特徴を理解する。	0	0		0		
ホスピタリティ論 II	本講義ではホスピタリティビジネスの業界自体の特性と現況を理解し、どのような諸問題があり、その対応策とは何かを理解することを見ませる。		0	0			
	とを旨とする。 国際観光に関する専門用語を理解し、観光ビジネスに関する基	0	0		0		0
国際観光論 I	礎知識を修得することを目的とし、とくに、世の中の変化を読み取る能力を高めたい。	0	0	0	0		0
国際観光論Ⅱ	単に旅行のスキルを身に付けるだけではなく、世界の文化や観 光資源に関するマーケティング戦略をグローバル・スタンダードで 捉える得る人材の輩出を目標としたい。	0	0	0	0		0
	近える何の人材の重山を日標としたい。 国際秘書に関する基礎知識を習得し、秘書業務への理解を深め	0			0		0
国際秘書学総論	る。		0	0	0	0	_
	 ヨーロッパの歴史や社会、文化を学ぶ。	0	0	0	0	0	0
Area Studies(Europe) I	- ·-/···/······························		0	0			
	 ヨーロッパの歴史や社会、文化を学ぶ。		0	0			0
Area Studies(Europe) II			0	0			
	アメリカの歴史や社会、文化を学ぶ。		0	0			0
Area Studies(North America) I	アンフルの歴史で在去、久心を予ぶ。		0	0			
	カナダの歴史や社会、文化を学ぶ。		0	0			0
Area Studies(North America) II	ガブダの歴史や社会、文化を子ふ。 		0	0			_
			0	0			0
Area Studies(Asia & Oceania) I	オセアニアの歴史や社会、文化を学ぶ。		0	0			
			0	0			0
Area Studies(Asia & Oceania) II	アジアの歴史や社会、文化を学ぶ。		0	0			
			0	0			0
Cultural Studies(Beauty Values)	グローバルな視野を持ちながら、多様な美的価値観への理解を 深める。		0	0			
			0	0			0
Cultural Studies(Beauty and Cinema)	グローバルな視野を持ちながら、多様な美的価値観への理解を 深め、映像で表現される美の理念を学ぶ。		0	0			0
	グローバルな視野を持ちながら、多様な美的価値観への理解を		0	0			
Cultural Studies(Beauty and Photography)	深め、写真で表現される美の理念を学ぶ。		0	0			0
	世界遺産スペシャリストとして認定されている資格「世界遺産検定		0	0			
世界遺産を学ぶ 	2級、3級」に合格することを目標とする。	0		0	0		0
	これまで培ってきた英語力をさらに伸ばし、卒業後の進路も視野	0			0		
Advanced English for TOEIC I	に入れて、TOEICでの高得点取得を目指す。			0	0		0
	これまで培ってきた英語力をさらに伸ばし、卒業後の進路も視野	0			0		
Advanced English for TOEIC II	に入れて、TOEICでの高得点取得を目指す。			0	0		0
	(1)TOEFL受験に備えた4技能を強化する(2)TOEFL受験に備え	0			0		
留学試験の英語 I	たボキャブラリーを強化する(3) 留学に備えた知識を身につける。		0		0		0
	(1)TOEFLの新形式を理解する(2)やや高度な長文が読解できる	0			0		-
留学試験の英語Ⅱ	(3)やや高度な英文が聞き取れる。		0		0		0
	文学作品とはたじろぐものではなく、楽しむものだということがわ		0		0		
英語圏の文学 I	かる。詩を読むということが、どういう作業で成り立っているのかがわかる。また、読んだ作品について、自分の意見を表現できる						
	ようになる。		0	0			0
 英語圏の文学 II	イギリスを舞台に女性たちがどのように生きたかを文学作品を通して考える。現代を生きる私たちのヒントになれば幸いである。		0 0	0			0
	 英語で理解し、発信するために必要な基本的な文構造を正確に	0	0		0		
言語学 I	把握する。	J	0	0	0		
	 英語で理解し、発信するために必要な基本的な文構造を正確に	0	0		0		
言語学Ⅱ	把握する。	O	_				
	 異文化に触れて視野を拡げるとともに、実習校において英語の授		0	0	0		
海外実習	業を受けることで、英語力を向上させる。	0	0	0	0		
		0	0	0	0	0	0

	海外修得単位	異文化に触れて視野を拡げるとともに、実習校において英語の授業を受けることで、英語力を向上させる。	0	0	0	0		
			0	0	0	0	0	0
		英語科教育法の流れをつかみ、さまざまな教育法に触れる。学習 お道要領が求める授業レベルを実現するために、より良い教育	0	0	0	0		
	英品件教育法 1	法を考える。	0	0	0	0	0	0
資	英語科教育法Ⅱ	学習指導要領が求めるような指導をどのようにしたらできるかを 考える。	0	0	0	0		
格	英品件教育法 1		0	0	0	0	0	0
関係	英語科教育法Ⅲ	自分なりに考えた授業の指導案を作り実際に模擬授業を行う。	0	0	0	0		
环	英品件教育法皿		0	0	0	0	0	0
	英語科教育法Ⅳ	自分なりに考えた授業の指導案を作り実際に模擬授業を行う。	0	0	0	0		
	关品件教育法IV		0	0	0	0	0	0
	卒業論文	各自が選んだテーマに沿って、論文執筆をする。	0	0	0	0		
	十不뺍人		0	0	0	0		0

文化表現学部 日本文化学科のカリキュラムマップ

	文化表現学部 日本文化学	科のカリキュラムマップ						
Ι	学科の到達目標(DP:ディ	プロマポリシー)						
① 歴!	史や文学、日本語や日本文化につ	いての知識・観察力・調査力・問題発見解決能力・論理的思考力。						
②日:	 本語を中心とするコミュニケーション	·力·表現力。						
③ 国	語や書道を教授できる知識・技術・	指導力。 指導力。						
Ⅱ梅		6つの力の具体的内容の一例						
		他者を思いやる心や奉仕の精神を育み、相手の立場に立って考	きっ 行動	オるカ				
	デスストリン 夏解決力	問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析し、それを解決す		12.071				
<u> </u>	^{= ↑↑} (2)	様々な学問分野における知識を修得し、それを活用して物事を		老っ 判決	無するカ			
	ェニング ユニケーション力	言葉や身体、ICT等を通して自己を表現し、他者との相互理解を			717.073			
	 -ムワーク・リーダーシップ	他者と協調・協働して行動する力、他者に方向性を示し目標の写						
0 1		異文化を理解し、共生できる力	(9)(2)(2)					
		XXIII E-EIII IXXII E E E E E E E E E E E E E E E		DP及	び6つの	力の項目	番号	
科目群	科目名	 科目の到達目標		達目標(D	•			
			<u>下段∶稱1</u> (1)	芒女子大学	で身につ	け <u>あ</u> 6つの (4)	の (5)	<u>6</u>
	=	『古事記』上巻に記された神話を読むことで、日本人がアジアを視	Ö	Ö	O			
	日本文学入門	野に入れて育んだ世界と表現の特徴を知る。	0	0	0			0
		日本語の基礎的知識を身につけ、ことばの科学的な見方、研究	0	0	0			
	日本語学入門	を理解し、自分のことばの使い方を磨く。	0	0	0	0		0
		 歴史の流れと日本古典文学の流れがどのように関連しているか	0		0			
	日本文学の歴史(古典)	を理解する。各時代における作品や作者の傾向を把握する。テ				0		
		キストに出てくる用語や熟語の意味を正確に把握する。 おおまかな近・現代日本文学史を理解するとともに、代表的な作	0		0	0		
	日本文学の歴史(近代)	家やその代表作について知る。	0		0			_
		## 15 W 14 0 10 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	0		0			0
	絵本の歴史	特に戦後の絵本史について学び、理解する。その時代の代表的 な作家・作品を知り、自分のことばで説明し紹介できるようにな	0	0	0			
	14.4.4.07.1E.X	a .	0			0	0	0
		中国史の時代的な流れを正確に把握する。各時代の代表的な作品の形式や、内容的特徴などを確実に把握する。中国文学と日	0		0			
	中国文学の歴史	本文学の関連について、その実例に触れるとともに、両者の関係の深さを理解する。	0		0			0
		話しことばの特徴を知り、日本語と日本人の考え方との関係を考	0	0	0			
	代の日本語 え、理解し、いろいろな表現に関心を持ち、調 める。	え、理解し、いろいろな表現に関心を持ち、調査・研究の能力を高 める。	0	0	0	0		0
		平安時代~戦国時代の「武士」をテーマとする基礎的な史料(資	0		0			
	歴史を探る	料)を読みときながら、情報を整理し、深く分析する方法を学ぶ。 歴史的なものの見方・捉え方を身につける。	0	0	0			0
		古典作品の音読に慣れ、文章の大意をつかみ、作品に記された	0		0			
	作品を読む(古典)	内容を正確に把握する。作品の背景にある当時の人々の生活や ものの見方、考え方を理解する。	0		0	0		0
		小説にはどのようなテクニックが用いられているかを知るととも	0		0			0
	作品を読む(近現代)	に、作品を精読する楽しさを味わう。	0		_			0
		 大人が絵本を楽しむために必要な絵本の知識と、良い絵本・悪い			0			0
	絵本を読む	絵本を見極める選択眼を身につける。	0	0	0	0	0	
		各種辞典の良し悪しを知り、また使い分けができるようになる。外	0		0	0	0	
	日本語演習 I	来語の知識を増やし、外来語の問題を意識して、他者に通じる語	0	0	0			
		の選択ができるようになる。	0	0	0	0		0
	日本語演習Ⅱ	各種辞典の良し悪しを知り、また使い分けができるようになる。外 来語の知識を増やし、外来語の問題を意識して、他者に通じる語	0	0	0			
		の選択ができるようになる。	0	0	0	0		0
	日本文学演習(古典) I	上代を中心とする古典文学の基本的な読み方を身につける。	0	0	0			
基 本			0	0	0	0	0	0
本 科	口卡在尚续羽/十曲/亚	上代を中心とする古典文学の、表現の特徴と個性を知る。	0	0	0			
目	日本文学演習(古典)Ⅱ		0	0	0	0	0	0
		作品を精読する楽しさを味わうとともに、作品研究の能力を身に	0	0	0			
	日本文学演習(近現代) I	つける。	0	0	0	0	0	0
		作品を精読する楽しさを味わうとともに、作品研究の能力を身に	0	0	0			
	日本文学演習(近現代)Ⅱ	つける。	0	0	0	0	0	0
		 絵本の魅力を再発見するとともに、特徴や魅力について言語化	0	0	0))
	児童文学・絵本演習Ⅰ	する能力を身につける。	0	0	0	0	0	0
		 絵本の魅力を再発見するとともに、特徴や魅力について言語化)		J
	児童文学・絵本演習Ⅱ	する能力を身につける。	0	0	0	^		^
		 講義や事前調査で得た知識・情報をもとに、歴史や文化が育ま	0	0	0	0	0	0
	歴史文化フィールドワーク	れた現場を訪れて体験し、一つの問題を深く追究する方法を学	0	0	0			
		ぶ。事前調査・発表・実習後の振り返りを通じて、情報を収集し、 それを整理できる能力を身につける。	0	0	0	0	0	0

年1117日 - 117日 - 1	実習の行程を計画して企画書を作成し、それをプレゼンテーションする中で、実践的な企画力・発信力を身につける。事前調査・	0	0				
観光フィールドワーク	実習により訪問先の歴史・文化を深く学び、専門的な知識に基づいた観光コースの立案ができるようになる。	0	0	0	0	0	
>++ _+ _+ =+ ±.	漢文を読めるようにする。漢文に関する基本的な知識(漢字につ	0		0		•	
漢文を読む	いて・漢文の構造・訓読の約束事・句法など)をしっかり身につける。		0	0			
	学習指導要領における小・中学校国語科書写の目標、内容を理			0		•	
書写研究	解し、学習指導に必要な基本となる知識を身につける。実習を通して書写能力を高め、指導法や評価法について理解を深める。				_		
		0	0	0	0	0	
書道の基礎(国免)	中学校の国語書写について概要を理解する。学習指導に必要な 基礎的な知識を学び、実習を通して実技力を高める。	0	_	0			
		0	0	0			
専門演習 I	各専門分野における研究、創作に必要な知識と能力を身につける。プレゼンテーションや討論の能力と作法を身につける。	0	0	0	_	_	
		0	0	0	0	0	
専門演習Ⅱ	各専門分野における研究、創作に必要な知識と能力を身につける。 る。プレゼンテーションや討論の能力と作法を身につける。	0	0	0	_	_	
		0	0	0	0	0	
卒業演習 I	各専門分野における研究、創作の集大成としての卒業論文、卒業創作のテーマを設定し、構成の見通しを得る。	0	0	0			
		0	0	0	0		
卒業演習Ⅱ	各専門分野における研究、創作の集大成としての卒業論文、卒 業創作を完成させる。	0	0	0			
	サの月と写して口上の田内した!! ***** **** ***** '-	0	0	0	0		
日本の文化1	茶の湯を通して日本の歴史と文化・美術の形成過程を学び、伝 統文化が過去のものではなく、現在の生活のなかにあることを理	0	0			•	
,	解する。	0		0	0		
日本の文化2	日本の伝統衣装である着物についての理解を深め、着物文化を 継承するためにその装着方法を知る。	0					
		0		0			
日本の文化3	日本の住文化の歴史と特質を理解する。	0					_
		0	0	0			
日本の文化4	日本の食文化の歴史と特質を理解する。	0					
		0	0	0			
関西の歴史と文化	関西、主に京都を舞台とする歴史や文化の専門的な知識を身につける。過去の日本について学ぶ中で、現在の価値観に縛られ	0		0			
	ず、常識的な見方を相対化できる能力を身につける。	0	0	0			
#1 E #	過去の日本人の「旅」について、歴史的な視点から分析し、旅の意義や現代との共通点・相違点を考察する。歴史史料(絵巻物・	0		0			
旅と歴史	文学作品など)を読解し、史料(資料)から情報を抽出する能力を身につける。	0	0	0			
	アニメを通じて歴史的なものの見方・考え方を学び、そうした視点	0		0			
アニメで学ぶ日本の歴史	から現代社会を相対化することで、現代日本の社会や文化について豊かな見方ができる力を身につける。	0	0	0			
	出典となる文献とマンガを読み比べることで、作者たちの関心の	0		0			
マンガで学ぶ日本の歴史と文学	所在と表現の特徴を知る。	0	0	0			
AC-P1 (b	分析的な読みを通して、作品がどのように創られているかを知	0		0			
近現代の小説	り、作品世界をより深く理解し、味わう。	0		0			
	日本語のバラエティ豊かな語彙や表現について学び、実用的な	0	0	0			
日本語演習Ⅲ	文章作成や創作活動に役立てる。	0	0	0	0	0	
	上代を中心とする古典文学を読み、表現の特徴や個性を理解す	0	0	0			
日本文学演習(古典)Ⅲ	ర ం	0	0	0	0	0	
	近現代の短編小説を対象に作品分析を試み、作品の構造やテー	0	0	0			
日本文学演習(近現代)Ⅲ	マについての理解を深める。プレゼンテーションや討論の能力と 作法を身につける。	0	0	0	0	0	
	日本を代表する絵本作家の作品について、その特徴や魅力を理	0	0	0			
日本文学·絵本演習Ⅲ	解する。プレゼンテーションの能力と作法を身につける。	0	0	0	0	0	
	辞書などを活用して過去に書かれた文字史料を読解し、歴史の	0	0	0			
日本史演習	学習に不可欠な調査能力を身につける。	0	0	0	0	0	
	地域に根ざす文化を学び、社会に活かす方法を身につける。	0	0			_	
地域観光学演習 I		0	0	0	0	0	
	地域に根ざす文化を学び、社会に活かす方法を身につける。	0	0				
地域観光学演習 Ⅱ		0	0	0	0	0	
	日本の文化を観光や仕事に活かす方法を身につける。	0	0				
					I		

権	観光ビジネス演習 Ⅱ		0	0				
_			0	0	0	0	0	0
l,	Web出版	Webを用いて公開する作品の企画や制作を担当する。プレゼン テーションを重ね内容を充実させ、完成した作品をインターネット	0	0				
V'	Veo 正 版	上で公開する。	0	0	0	0		0
	書道の基礎(書免) I	楷書の代表的な古典を臨書して、用筆や結構について理解を深め、技法の習熟をはかる。	0		0			
	自但以金妮(自允/1		0	0	0			0
直	書道の基礎(書免)Ⅱ	隷書の代表的な古典を臨書して、用筆や結構について理解を深め、技法の習熟をはかる。	0		0			
			0	0	0	0		
	書道Ⅰ	行書の代表的な古典を臨書して、用筆や結構について理解を深め、技法の習熟をはかる。	0		0			
		 仮名の成立過程と仮名書法の関係を理解する。仮名書法の基本	0	0	0			0
1	書道Ⅱ	を習得する。「高野切古今集」の学習を通して、古筆の臨書方法	0		0			
		を理解する。 「仮名古筆の文字造形や線質を基本として、仮名書美の多様性を」	0	0	0	0		0
킡	書道Ⅲ	知り、そこに現代的感覚を盛り込んでいく。	0	0	0	0		
		大字仮名作品の歴史を踏まえ、現代仮名作家の文字造形や線	0	0	0	0		
킡	書道Ⅳ	質を参考にしながら大字仮名作品の制作を通して、その美について探求する。	0	0	0	0		
		中国書道史について理解する。	0		0			
킡	書道の歴史Ⅰ		0	0	0			0
_	****	日本書道史について理解する。	0		0			
冒	書道の歴史Ⅱ		0	0	0			
=	書論研究 I	中林梧竹の「梧竹堂書話」を用い、書道の理論の理解を深める。	0		0			
Ē	音冊切九1			0	0			
	書論研究Ⅱ	『書譜』『東坡題跋』『画禅室随筆』などを用い、中国の書論への 理解を深める。	0		0			
				0	0			0
利	秘書学総論	秘書という職務の歴史や意義、その役割や最適な行動をとるための思考等を理論的に学ぶ	0					
			0		0			0
和	秘書実務1	ン力やマナー等の社会人基礎力を身につける。		0		0	0	
		│ │ 秘書実務に必要な知識・技能を学ぶとともに、プレゼンテーション │	0	0	0	0	0	0
和	秘書実務2	力や課題解決力等の社会に求められる実践力を高める。	0	0	0	0	0	0
		 硬筆において、書美を日常の書に活かすことができるように、必	0	0				
萸	更筆書写	要な知識と技術を身につける。	0	0	0	0		
		高等学校の国語科教育の概要を理解し、学習指導法の基本を身	0	0	0			
[3	国語科教育法 I	につける。	0	0	0	0	0	0
-	司范利<u></u>教态法证	高校国語の教材研究を行い、学習指導案を作成し、指導案に 沿って国語を教授できる知識・技術・指導力を身につける。	0	0	0			
	国語科教育法 Ⅱ		0	0	0	0	0	0
資	————————————————————————————————————	中学校の国語科教育の概要を理解し、学習指導法の基本を身につける。	0	0	0			
格	→ HH 1 13V C1 VA ····		0	0	0	0	0	0
関係 国	国語科教育法Ⅳ	中学国語の教材研究を行い、学習指導案を作成し、指導案に 沿って国語を教授できる知識・技術・指導力を身につける。	0	0	0			
		 芸術科書道教育の概要について理解し、学習指導法の基本を身	0	0	0	0	0	0
 	書道科教育法 I	云州科香道教育の概要について理解し、子首指导法の基本を身につける。	0	0	0			
-		 教材研究を行い、学習指導案を作成し、指導案に沿って書道を	0	0	0	0	0	0
킡	書道科教育法Ⅱ	教授できる知識・技術・指導力を身につける。	0	0	0	0	0	0
		学習の総まとめとしての卒業論文・卒業創作・卒業制作を完成さ				U	0	
卒業	削金・本業創作・卒業制作	せる。	0	0	0			
			0	0	0	0	0	0

文化表現学部 情報メディア学科カリキュラムマップ

	文化表現学部 情報メディ	ア字科カリキュラムマッフ									
Ι	学科の到達目標(DP:ディ	プロマポリシー)									
① 情	報メディアを駆使して、新たな文化?	を創造できる知識と技能を習得している。									
② 情	報をグローバルに把握し、情報発信 なる	この担い手として社会に貢献できる能力を習得している。									
③ 幅/		で活用した事務処理能力を備え、社会に貢献する強い意志を持つ	0								
④ 社:	会のトレンドに鋭敏な感性を持ち、	豊かな個性を表現し発信できる知識と技術を習得している。									
Ⅱ梅	 花女子大学で身につける6つのカ	6つの力の具体的内容の一例									
①豊か	 いな人間性	■ 他者を思いやる心や奉仕の精神を育み、相手の立場に立って考します。	きえ、行動	 bする力							
②問是		問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析し、それを解決す									
3論3	里的思考力	┃ 様々な学問分野における知識を修得し、それを活用して物事を	論理的に	考え、判論	<u></u> 断する力						
4)⊐₹	 ュニケーション力	言葉や身体、ICT等を通して自己を表現し、他者との相互理解を	·深めるナ]							
<u></u> ⑤チー	 -ムワーク・リーダーシップ	│ │ 他者と協調・協働して行動する力、他者に方向性を示し目標の乳	実現を図る	 る力							
⑥ グロ	 1ーバル社会対応力	異文化を理解し、共生できる力									
					び6つの	力の項目	番号				
科目群	科目名	科目の到達目標		<mark>達目標(D</mark> 花女子大学		ける6つの) 1				
			1	2	3	4	5	6			
	情報メディア基礎演習	ノートPCの基本的仕組みを知り、基本的な保守点検とトラブル時の対処ができる。ネットワークに接続し、メールを活用できる。セキュリティ・著作権に配慮できる。プロジェクトを立ち上げ課題を遂	0	0	0						
		行し、成果を発表する方法を知る。		0	0	0		0			
	Webサイト制作基礎	基本的なホームページを作成できる。画像やハイパーリンクの挿 入ができる。他者が閲覧しやすいホームページの表示方法を知	0	0							
	Webりずけ明けを施	る。	0	0	0	0	0	0			
	+7,77714 2>.	他者との協調・協働を促進するためのプレゼンテーションの方法 を習得する。画像の挿入や表・グラフによるデータの表示、アニ	0	0							
	オフィスアプリケーション	メーションの利用等による効果的な表現ができる。		0	0	0	0	0			
	!±+11.1∧ + =∧	情報検索の仕組みを理解し、基本的な検索スキルにより必要な	0	0	0						
	情報検索論	情報を取得できる。各種検索サイトの特性を知り、活用できるようになる。		0	0			0			
	11 -11	様々なツールを用いて画像を加工し、魅力あるコンテンツ作成の	0	0							
	Webコンテンツ基礎	方法を身につける。CSSを用いて、効果的なコンテンツ表現ができるようになる。	0	0	0	0	0	0			
		データを他者と共有し、効率的なデータ管理ができるようにデータ	0	0							
	オフィスアプリケーション Ⅱ	ベースを作成できる。用途に合わせてデータベースを活用できる。		0	0	0	0	0			
	カリエノニノゴニギノ	各種メディアを活用した情報整理とレポート作成方法を学び、学	0	0		0					
		習履歴の蓄積と就職活動に向けたポートフォリオを各自で制作で きる。		0	0	0	0	0			
		マスコミで必要とされる表現力、なかでも「聞くカ」「書くカ」を身に	0	0							
	マスコミ概論	つける。各自の考えを正確に伝えることができるようになる。	0	0	0	0		0			
		自分の声や身体で表現する方法範囲を広げると共に、想像力を	0	0				_			
	ライブパフォーマンス概論	豊かにさせる。	0	0	0	0		0			
		経営学に関する基礎的な理論を体系的に理解し、実際の事例に		0							
	ビジネス基礎論	対し、適切な問題設定と分析、提言ができる。		0	0	0					
		 情報メディアを駆使して、必要なファッション情報を的確に収集	0	0)	0					
	ファッション情報概論	し、その情報を活用する技術を習得する。)	0	0	0	0				
		 デザインの構成要素について説明できる。コンテンツの企画・制	0	0	0						
	デザイン基礎演習	作ができる。デザインのアウトプットができる。	0	0	0	0	0	0			
		 AIの開発に使われているPythonを基礎から学ぶ。基本的な制御	0	0		0	0	U			
++	プログラミング入門	構造(条件分岐・繰り返し)を理解し、変数やリストなどを用いて問題を解決できる。	0	0	0			0			
基 本		国と呼べてさる。 コンピュータを構成するハード・ソフトについて理解した上で、ネッ			0						
基 本 科 目	ITシステム基礎	トワークの仕組みと情報セキュリティについて説明することができる。さらにシステム開発やプロジェクトマネジメントについての知	0	0							
Н		高。さらにシステム開発やプロジェクトマネシメントについての知 識を身につける。		0	0		0	0			
		企業の情報マネジメントの基礎的な項目を理解する。他者とのプロジェクト作業におけるPDCAのサイクルを理解する。	0	0	0						
	ITビジネス基礎	ロンエンド作業におけるPDOAのサイブルを理解する。		0	0		0	0			
		図書館に収集される情報資源の類型と特質について説明できる。図書館がどのように情報資源を収集し、保存し、コレクション	0	0							
	図書館情報資源概論	る。図書館がどのように情報資源を収集し、保存し、コレクション 形成していくのか、その維持・発展に関わる様を説明することがで)								
		きる。出版業界を取り巻く環境の変化や業界が抱える問題点について、説明することができる。		0	0			0			
		図書館における情報サービスの種類や特徴について説明するこ	0	0							
	情報サービス論	とができる。テーマ別にレファレンス資料を分類することができる。				0		0			
		メディアを活用してサウンドをデザインするための知識と技術を学	0	0							
	サウンドデザイン論	び、各自の想いを音で表現できるようになる。	0	0	0			0			
		 図書館運営やサービスの提供に関わる情報技術全般について	0	0							
	図書館情報技術論	理解する。図書館サービスにおける情報メディアの活用について 学ぶ。	<u> </u>	0	0		0	0			
	<u> </u>	[· · · ·			9						

	 カラーコーディネイト論	実際に配色の効果を考えたプレゼンテーションのスライドを作成できる。カラーコーディネイトの理論を理解し、それを実践できる。	0	0		0		ı
	—		0	0	0			0
	3Dグラフィックス	新たな情報の表現手法である3Dグラフィックスについて学び、基本的な3Dモデリングとアニメーションの設定ができる。	0	0				
		# <u> </u>	0	0	0			0
	 映像制作論	様々な作品に隠されたテクニックを分析し理解することで、自分の 作品へとつなげていく能力を身につける。	0	0				
			0	0	0			0
	┃ ┃情報メディア演習 ┃	情報メディアの各分野毎に、必要となる問題発見・解決のための 基礎知識とスキルを習得し、他者との共同作業による実践的な課	0	0	0			
		題の遂行および発表を行うことができる。	0	0	0	_	0	0
	情報メディア演習 Ⅱ	各専門分野の理解を深めるとともに、情報メディア演習 I で習得した問題解決能力をさらに発展させ、高度な課題に取り組むことができる。	0	0	0		0	0
		各専門分野における具体的な研究テーマを設定し、必要となる知	0	0	0	0		
	卒業演習·制作 I	識・スキルを習得しながら、問題提起・解決法の提示・検討を繰り 返すことができる。	0	0	0	0	0	0
		卒業論文・制作の研究テーマについて議論を進め、独自の結論	0	0	0	0		
	卒業演習·制作 II 	を導き出し、全体の成果をまとめて発表することができる。	0	0	0	0	0	0
		自ら情報発信できるコンテンツをもつ。企画のプレゼンテーション	0	0				
	Webデザイン	ができる。一般公開可能なWebページの制作ができる。	0	0	0	0	0	0
		身近な情報のリサーチと誌面の企画ができる。ロゴやイラストの	0	0				
	グラフィックデザイン 	デザインができる。DTPによる誌面デザインができる。	0	0	0	0	0	0
		情報メディアを活用するためのプログラミング技術について、その	0	0				
	プログラミング	初歩からはじめ、最終的にはソフトウェア開発の仕組みと手順ま で理解する。		0	0			
		プログラミングに必要な考え方(アルゴリズム、データ構造)を理	0	0				
	プログラミング演習	解し、設定した目標を達成するための指針を立てて実行できるより うになる。		0	0	0		
		大量のデータを、コンピュータと統計という処理手法を使って分析		0		0		
	ーデータサイエンス基礎	し、求められる指標からそれらが意味することを読み解く力を身 につけている。		0	0			0
		JavaScriptによるアニメーションの作成方法を学び、閲覧者にとっ	0	0				
	Webアニメーション	て使いやすいユーザーインターフェースが作成できる。		0	0		0	0
		ゲーム制作の演習を通して、ゲーム開発の手順や必要な技術を	0	0				
	ゲーム制作入門 	身につける。ゲームエンジンの使い方を理解し、自分でもオリジ ナルなミニゲームを制作できる。		0	0	0		0
	(- 1139	人工知能(AI)の仕組みと機能、および活用の広がりについて知	0	0		0		
	インテリジェントプログラミング 	り、実際にプログラム言語を使って、AIを活用したソフトウェアの 作成方法を学ぶ。	0	0	0	0	0	0
		新たな表現手法である3Dアニメーションを制作するための基本的知識と技術を習得する。キャラクタを使った3Dアニメーションを制	0	0				
	3Dアニメーション	作できる。		0	0			0
	<i>に ノ</i>	具体的な3Dゲームのサンプルを学びながら、プログラミング技術 を習得する。実用的なゲームを作成できるようになる。	0	0				
	ゲームプログラミング 	で自分する。天川的なり、口で下風できるようになる。		0	0			0
	六	広告に関する基礎知識を身につけ、広告の多様さを知るととも に、特定のテーマに関する広告を企画できるようになる。	0	0				•
	広告入門 	に、特定のグートに関する広日を正画できるようになる。	0	0	0	0		
		・声量の向上及び場面においての声量コントロール ・聞き取りやすい言葉の発音		0		0		
	ヴォイストレーニング基礎演習 	・体をこわさない声の使い方 これらの基礎を習得していきます	0	0	0	0	0	0
		舞台表現としてのマイムやパントマイムの技術習得とその構造を						
		理解することができる。 マイムの歴史や成り立ちを理解することでパフォーミングアーツ全		0		0		
発 展 _科	ライブ・パフォーマンス基礎演習	体に関する知識や理解を深めることができる。 舞台表現に限らず自身の身体と向き合うことで客観的な目線を	0	0	0	0	0	0
科目		持つきっかけを作ることができる。 I:マスコミの表現を学びながら、並行して「文章カアップのための						
	マスコミ研究	6つのステップ」を修得する。 II:全員で一冊の雑誌を作り、その過程で文章、イラスト、写真、デ	0	0				
	マスコミ研究	ば、主員で 間の推認を行り、その過程で文章、イブスド、与真、デザイン、編集、校正等、雑誌作りに必要な技法を学ぶ。学外研修 (京都の出版社)も実施する予定。	0	0		0	0	0
		I: 印刷媒体、特に新聞広告のキャッチフレーズを分析し、その表現手法を学ぶ。	0	0				
	広告・コピーを創る	II: ラジオCMの発想法を学び、次にテレビCMの企画コンテの制作にチャレンジする。	0	0	0	0	0	
	ボエノフロー・マデロ 空間・	情報伝達のための正確なアナウンスメントとは何かを知り、各自 が練習により実践できるようになる。						
	ヴォイストレーニング応用演習 I	が日にのソ大坂ででもからの。	0	0	0	0	0	0
		文章と映像と音楽を融合させた表現であるカットノベルの作成を 通して、ジャーナリズムとは何かを理解する。	0	0				
-			0	0	0	0	0	0
	I I i	番組制作に必要な基本的知識と作業手順について学び、実習における自主的な創作活動につながるよう準備する。	0	0				
	番組制作	100.7 W 11 11 12 12 13 14 14 15 15 15 15 15 15	0	0	0		0	
-								

	「表現者」としての技術習得とその構造を理解することができる。 パフォーミングアーツ全体に関する知識や理解を深め、自身の表	0	0				
ライブ・パフォーマンス応用演習	日 現に応用することができる。 自身の身体と向き合うことで客観的な目線を持つきっかけを作る ことができる。	0	0	0	0	0	
ライブ・パコナーマンフ 京田 定変	身体を使って表現することの楽しさを知る。 パフォーマンスの際に恥ずかしさなどネガティブな部分なくそれぞ Ⅱ れのレベルで自信を持ってパフォーマンスする力を身につける。	0	0				
プリン・ハンター マンベル 市次日	リズム感を鍛える。 グループワークをする上で協調性を高める。	0	0	0	0	0	
アパレル基礎論	アパレル業界に関する基礎的な知識や技術を学ぶ。また、魅力 的な商品を企画し、サンプルを製作することで、商品への理解を 深め、実践的に顧客のニーズに応えるサービスを検討する。	0	0	0	0		
	ファッション業界の機構とその果たす機能、社会・経済的な変化、	0	0	0	0		
ファッションビジネス論	それに伴う消費者の意識や購買意欲の変化など把握する。	0	0	0	0		
ファッションデザイン演習	テーマを調査・分析し、アイディアをかたちにすることができる。自 分のイメージを他者に的確に伝達する方法を習得する。	0	0	0	0		Ī
	 各時代を代表する特徴的なファッションに関する知識を習得し、	0	0	0			
ファッション史	社会的背景や芸術様式との関連について知見を深める。	0	0	0	0		
	西洋における女性雑誌の変遷を知り、そのなかでファッションが	0	0		0		
ファッション雑誌研究	どのような役割を果たしたのかを理解する。実際にファッション記事を作成し、表現手段としてのファッション雑誌を理解する。	0	0	0			
	被服に関する総合的な知識と技術を習得する。アパレル生産の 製品化の流れと仕様を学び、ブラウスおよびスカートを制作す		0		0		1
,	ā .	0	0		0		
アパレル制作実習 Ⅱ	体型に合わせた作図方法を理解し、自分のデザインを作図し、パターンにすることできる。トレンドの要素を取り入れ、デザインしたスカート・パンツの製作を通して、作図方法、各種素材の扱い方、	0	0		0		
	なが一下・ハンフの製作を通じて、作因方法、各種系列の扱い方、 縫製技術、を習得する。	0	0		0		
¬>-> ± u> =>	19・20世紀におけるファッション現象についての重要事項を把握する。現在のファッション現象を収集・分析する力を養う。	0	0		0		
ファッションカルチャー論	9 る。現在のファウンヨン玩家を収集・力切りる力を食力。	0	0	0			
医療事務総論	医療事務に携わる者として必須となる知識を学ぶ。医療機関における関係法規・関係機関の運営や管理について理解する。		0	0			_
		0	0	0	0	0	
医療秘書学	医療秘書に対する理解を深め、医療秘書としてふさわしい素養、 接遇対応を身に付け、医療機関という特殊な場所での仕事につ いて理解する。	0	0	0	0	0	
	医療事務に必要な法令、病院の組織、運営、診療情報や管理に			0			
医療管理学概論	ついての専門知識を学ぶ。患者や家族の悩みや不安に対する相 談援助の基礎知識を身につける。	0	0	0		0	
医学一般	医療に携わる者として必要な医学全般の基礎的知識を習得する。内容としては人体の解剖・生理、一般的な傷病、一般的な医学・医療用語(略語含む)、一般的な検査と傷病又は臓器との関			0			
	連、代表的な薬効別薬品名と適応症と関連した知識が対象となる。 る。	0	0	0		0	
情報サービス演習 I	図書およびWebアーカイブ等のデータベース検索を通じて、情報検索に関する基本的な知識と技術を学ぶ。	0	0				
	医療事務の具体的業務内容として、診療録(カルテ)より治療内		0	0	0		
診療報酬請求事務	容を読み取り、診療報酬明細書を作成することができる。		0	0			
	現代社会における福祉制度の意義を理解し、日常的な生活問題	0		0			
社会福祉概論	と福祉政策との関連性や福祉の原理をめぐる理論について理解する。また、現代の保健医療福祉問題の見識も広める。	0	0	U	0		T
	9 る。また、現代の保健医療価値问題の見識も広める。 レファレンスサービスの演習を通じて、レファレンスツールの特質	0	0				
情報サービス演習Ⅱ	及び利用法を習得する。	0	0	0	0		
	 児童家庭福祉の理念と制度の概要について学ぶ。児童と保護者			0			
児童ソーシャルワーク	に対するソーシャルワークの基礎を理解する。現代社会における 児童の生活と課題について学ぶ。	0	0		0		
図書館情報学概論	図書館の社会的役割について説明できる。各種図書館の特性や 利用者ニーズについて解説できる。専門職としての図書館司書 の資質と技能を理解する。図書館の自由とは何かを理解し、課題	0	0				
	について考察できる。		0	0			
図書館サービス概論	図書館サービスの基本的な理解を図る。図書館利用者のニーズを把握し、適切なサービスを提供できる。	0	0		0		
	 図書館に関わる制度と公共機関の経営の基本的な理解を図る。		0				
図書館制度・経営論	図書館の社会的重要性を理解する。		_				
	情報メディアを駆使して、専門分野の情報収集・検索・整理ができ	0	0	0	0	0	
業論文・卒業創作・卒業制作	る。新たな情報メディア文化を創造する能力を身につける。社会に貢献できる知識と技能を習得する。						Τ
		0	0	0	0	0	

学科の到達目標(DP:ディプロマポリシー) Ι ①小学校教諭、幼稚園教諭、保育士としての知識、技術、倫理を修得し、児童教育、幼児教育、保育の現場で実践するカ ②こどもと保護者、さらにはこどもを取り巻く地域社会におけるさまざまな問題を発見し、解決するカ ③こどもと保護者との適切な関わりと信頼関係の構築、関係機関との協働関係を築くためのコミュニケーション能力 ④小学校教諭、幼稚園教諭、保育士としての総合的な表現力 ⑤こども音楽療育に関する理解と基礎的な力 ⑥児童文学と絵本についての理解と、伝達の基礎的な力 Ⅱ 梅花女子大学で身につける6つの力 6つの力の具体的内容の一例 ①豊かな人間性 他者を思いやる心や奉仕の精神を育み、相手の立場に立って考え、行動する力 ②問題解決力 問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析し、それを解決する力 ③論理的思考力 様々な学問分野における知識を修得し、それを活用して物事を論理的に考え、判断する力 **④**コミュニケーションカ 言葉や身体、ICT等を通して自己を表現し、他者との相互理解を深める力 ⑤チームワーク・リーダーシップ 他者と協調・協働して行動する力、他者に方向性を示し目標の実現を図る力 ⑥グローバル社会対応力 異文化を理解し、共生できる力 DP及び6つの力の項目番号 上段:到達目標(DP) 科目群 科目名 科目の到達目標 下段:梅花女子大学で身につける6つの力 (1) (2) (3) **(4**) **(5)** (6) こどもに関する思想・こどもの文化についての基礎的な知識を身 0 0 0 0 \circ につける。 科科 こども学入門 0 0 0 0 0 0 目必 |近代における子どもの発見の歴史と、それを出発点とする2方向 0 0 0 の子ども観を理解することによって、近代教育の在り方を問い直 教育原理 すとともに、近代教育を超える新しい教育の可能性を考えていく Ο 0 0 0 0 |視点を養う。 保育者に求められる知識、技能、姿勢を学ぶ。 0 0 0 保育者論 0 0 0 0 与えられた課題を無批判に受け入れるのでなく、自らが無批判に 0 0 0 0 是認している思考、検討することもなく受け入れている慣習などに |教師論(初等) ついて、わかったつもりにならず、問い続けていく姿勢を身につけ 0 0 0 0 0 0 本 (1)学校が直面する様々な教育課題を客観的に把握し、分析す Ο 0 0 質 る力を育む。(2)プレゼンテーションをとおして、表現力・コミュニ |教育社会学 0 ケーション力を身につける。 0 0 0 0 0 目 保育における保育者のかかわりの重要性を理解し保育に関する 0 0 0 0 基礎的、歴史的知識を習得する。 保育原理 0 0 0 社会福祉のしくみ、方法、考え方について理解し、保育現場で役 0 0 0 立てることができるようになる。 社会福祉 0 0 0 0 保育実践に必要な児童家庭福祉に関する基礎的知識を習得す 0 0 0 る。 子ども家庭福祉 0 0 社会的養護を必要とする子どもたちの実態と支援の仕組みにつ 0 0 0 |いて理解し、実践の現場で活用できるようになる。 社会的養護 I 0 0 0 0 0 (1)子どもたちの主体的な学びを支える心の発達過程を理解す 0 0 0 る。(2)生涯発達における初期経験の重要性を基に、保育・教育 発達心理学 者としての家庭支援のあり方を考える。 0 0 0 0 (1)心理学的知識を踏まえ、発達を捉える視点について理解す 0 0 0 る。(2)発達に即した援助 の基本となる子どもへの理解を深め る。(3)子どもの発達、学びの過程や特性に関する内容を体系的 保育の心理学 に理解するとともに、子どもと家庭に関して包括的に理解する。 0 0 O (1)生徒指導提要の内容を理解す。(2)児童生徒指導と進路指 0 0 0 導の具体的な方法とそれらの意義を理解する。(3)児童生徒指 初等生徒•進路指導論 導と進路指導における現代的課題に基づき、教師の担うべき役 0 0 O 0 割を考える。 (1)教育相談の意義と役割(学校内外の関係者との連携を含む) 0 0 0 0 を理解する。(2)カウンセリングの基本的技法を習得する。(3)児 教育相談 童やその保護者の抱える心の諸問題の理解を深め、支援のあり 0 0 0 0 方について考究する。 対 子どもを理解 する上での基本的な考え方を理解するとともに、そ 象 0 0 0 0 の のための具体的方法を理解し、保育士の援助や態度の基本につ 幼児理解·教育相談 理 0 0 |いて理解する。 Ο 0 解 子どもの保健全般についての基礎知識を習得することにより、保 0 0 0 育士として必要な子どもの健康・保健等に関する視点を養う。 子どもの保健 0 0 0 乳幼児のこころとからだの健康を保持増進するための援助が実 0 0 0 践できるとともに、援助をするときにどのような知識や配慮が必要 子どもの健康と安全 か理解できるようになる。 0 0 0 0 子どもの保育・教育に携わる者として、栄養・食生活に関する正し 0 0 0 |い知識を習得し、子どもの食生活を豊かにする能力を身に付け 子どもの食と栄養 る。 0 0 0 0 子育て家庭に対する支援の意義・目的、保育の専門性を活かし 0 0 0 た子ども家庭支援の意義と基本について理解する。 子ども家庭支援論 I 0 0 0

Ī	_							
	 子ども家庭支援論Ⅱ	子育て家庭の二一ズに応じた多様な支援の展開と、子ども家庭 支援の現状、課題について事例を通して具体的に理解する。	0	0	0			
	10000000000000000000000000000000000000	ス版の95KK W 2010 10 で手内で起じて大田町10 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 1	0	0	0			
	□□□ 1 + p →	(1)小学校国語科教育の各学年の目標と内容、幼稚園における 国語教育を理解する。(2)新学習指導要領(幼稚園要領)のねら いと小学校国語科教育、幼稚園国語教育の内容と関わりについ	0		0	0		0
	国語科内容論	て理科宇する。(3)小学校教育の現代的課題と小学校国語科教育内容の関連について理解する。(4)小学校国語科教育内容とカリキュラム・マネジメントの関連について理解する。	0	0	0	0	0	
	社会科内容論	(1)小学校社会科教育の各学年の目標と内容を理解する。(2)学習指導要領のねらいと小学校社会科教育内容との関わりについて理解する。(3)小学校教育の現代的課題と小学校社会科教育	0	0	0	0		
	12.3.111.7.1 kills	内容の関連について理解する。(4)小学校社会科教育内容とカリキュラム・マネジメントの関連について理解する。	0	0	0	0	0	0
	算数科内容論	(1)小学校算数科教育の各学年の目標と内容、幼稚園における 算数教育を理解する。(2)学習指導要領(幼稚園要領)のねらいと 小学校算数科教育、幼稚園算数教育の内容との関わりについて 理解する。(3)小学校教育の現代的課題と小学校算数科教育内	0		0	0		
		容との関連について理解する。(4)小学校算数科教育内容とカリキュラム・マネジメントとの関連について理解する。	0	0	0			
	理科内容論	(1)小学校理科を指導するのに必要な、観察・実験の授業スキルを習得する。(2)教育実践現場で理科指導に自信を持って臨める	0		0	0		
	连符内台 酬	ようになる。		0	0	0		
	生活科内容論	(1)生活科の目標と内容を説明できる。(2)教育の現代的課題 の観点から生活科の教育内容を理解する。	0	0 0	0	0		
		(1) 小学校家庭科の学習内容を把握し理解を深める。(2) 主な単	0	0	0	0		0
	家庭科内容論	元の教材研究を行い、基本的な知識と理解を深める。(3)小学校	0	0	0	0		
		家庭科の授業を構想し、具体的な授業展開を提案する能力を高 小学校音楽の指導に必要な音楽に対する感性を高め、子どもの	0	0	0	0		
	音楽	感性をも豊かに育てるための表現力を身につけ、現場に即応で	0	_	0	0	0	
		きる実践力の向上をめざす。	0	0	0	0		
	図画工作	(1)小学校図画工作の指導に必要な、基本的な材料用具の扱い方と技法を身につける。(2)制作の指導方法について理解を深め、子どもへの適切な働きかけができるようになる。	料用具の扱い で理解を深 の で理解する。 ついて理解す iについて理 科の授業実践 語教育に必要		0	0		
		め、1とも、いん過剰な働きがいが、ことのようになる。	0	0	0	0		
		(1)幼児・児童の運動発達と運動遊びの指導について理解する。 (2)小学校学習指導要領の体育科の目標と内容について理解す	0		0	0		
	体育	る。(3)小学校体育科の授業づくりのポイントと評価について理解を深める。	0	0	0	0	0	
		小学校における外国語(英語)活動・外国語(英語)科の授業実践	0		0	0		
	外国語(英語)の内容論	に必要な実践的な英語運用能力と英語に関する英語教育に必要な背景的な知識を身に付ける。	0	0	0	0		0
	国語科指導法 I	(1)国語科指導法における教育目標、育成を目指す資質・能力 を理解し、学習指導要領に示された当該教科の学習内容につい て理解を深めるとともに、具体的な授業場面を想定した授業設計	0		0	0		0
		を行い、模擬授業を行う力を身に付ける。(2)授業実践を通して 授業研究の方法について学ぶ。	0	0	0	0	0	
	国語科指導法Ⅱ	国語科指導法 I の学びを踏まえ、学習指導要領に示された当該教科の学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、さまざまな学習指導理論を踏まえて具体的な 製造した により は 世帯 思された 日本	0		0	0		0
		授業場面を想定した授業設計を行い、より実践的な授業力を身に付ける。 社会科指導法における教育目標、育成を目指す資質・能力を理	0	0	0	0		
教	社会科指導法	解し、学習指導要領に示された当該教科の学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、さまざまな学習指導理論を踏まえて具体的な授業場面を想定した授業設計	0	0	0	0		
育内容		を行う方法を身に付ける。 算数科指導法における教育目標、育成を目指す資質・能力を理	0	0	0	0	0	0
I · 指 導	算数科指導法 I	解し、学習指導要領に示された当該教科の学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、さまざまな	0		0	0		
導 法		学習指導理論を踏まえて具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身に付ける。 算数科指導法 I の学びを踏まえ、学習指導要領に示された当該	0	0	0	0	0	
	算数科指導法Ⅱ	教科の学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解 を深めるとともに、さまざまな学習指導理論を踏まえてより具体的 な授業場面を想定した授業設計を行い、より実践的な授業力を	0		0	0		
		な授業場面を想定した授業設計を行い、より実践的な授業力を 身に付ける。 理科科指導法における教育目標、育成を目指す資質・能力を理	0	0	0	0	0	
	理科指導法	解し、学習指導要領に示された当該教科の学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、さまざまな学習指導理論を踏まえて具体的な授業場面を想定した授業設計	0		0	0		
		字首相等理論を始まれて具体的な投業場面を認定した投業設計を行う方法を身に付ける。 生活科指導法における教育目標、育成を目指す資質・能力を理	0	0	0	0	0	
	生活科指導法	解し、学習指導要領に示された当該教科の学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、さまざまな学習指導理論を踏まえて具体的な授業場面を想定した授業設計	0	0	0	0		
		字首指导理論を踏まるで具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身に付ける。 音楽科指導法における教育目標、育成を目指す資質・能力を理	0	0	0	0	0	0
	音楽科指導法	解し、学習指導要領に示された当該教科の学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、さまざまな学習指導理論を踏まえて具体的な授業場面を想定した授業設計	0		0	0	0	
		学習指導理論を踏まるで具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身に付ける。 図画工作科指導法における教育目標、育成を目指す資質・能力	0	0	0	0	0	
	図画工作科指導法	を理解し、学習指導要領に示された当該教科の学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、さまざ	0		0	0		
		まな学習指導理論を踏まえて具体的な授業場面を想定した授業 設計を行う方法を身に付ける。	0	0	0	0	0	

		家庭科指導法における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された当該教科の学習内容について背	0	0	0	0		
	家庭科指導法	景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、さまざまな学習指導理論を踏まえて具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身に付ける。	0	0	0	0	0	
		体育科指導法における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された当該教科の学習内容について背	0		0	0		
	体育科指導法	景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、さまざまな学習指導理論を踏まえて具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身に付ける。	0	0	0	0	0	
		道徳の意義や原理等を踏まえ、学校における道徳教育の目標や内容を理解するとともに、教育活動全体を通じて行う道徳教育及	0	0	0	0		
	道徳教育の指導法 	び道徳科における指導計画や指導方法を理解する。	0	0	0	0	0	0
	特別活動及び総合的な学習の指導法	(1)特別活動の目標や内容、特質を理解する-人間形成に果たす特別活動の役割・機能を理解する。(2)学級活動(ホームルーム)運営に必要な事柄を理解する-学級活動の年間指導計画が	0	0	0	0		
	付別心判及い秘ロのは子目の指导広	作成できる。(3)特別活動の評価の在り方(学級活動の評価)を 理解する一特別活動各分野の評価の在り方や学級活動の評価 の方法を理解する。	0	0	0	0	0	
	特別支援教育	(1)特別の支援を必要とする幼児、児童の障害の特性及び心身の発達を理解する。(2)特別の支援を必要とする幼児、児童に対する教育過程や支援の方法を理解する。(3)障害はないが特別	0	0	0	0	0	
	1979 / 1875 F	の教育的ニーズのある幼児、児童の学習上又は生活上の困難と その対応を理解する。	0	0	0	0		
		小学校における外国語活動(中学年)・外国語の学習(高学年)に おける、指導、評価に関する基本的な知識や指導技術を身に付	0		0	0		
	 外国語(英語)の指導法 	の10、指导、評価に関する基本的な知識や指导技術を身に的ける。	0	0	0	0		0
	保育·教育課程論	(1).教育課程の歴史的変遷と現在の教育課程の編成、実施、評価を把握する。(2).教育課程編成の方法原理や教育評価について認識し、基礎的能力を獲得する。(3).現在の教育課程の規準(小学校学習指導要領、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こど	0	0	0	0		
	N H TA H IAN I I III	も園教育・保育 要領など)と教育課程編成の実際の事例をとおして学ぶとともに、現代社会の課題に向かう教育課程編成の試みを着想する。	0	0	0	0	0	
	教育方法論(ICT活用を含む)	(1) 今までに学んできた考え方や経験をもとにこども理解を深め 指導技術について教育 データ等を活用した記録や評価ができる ようにする。(2) 今までに経験したり鍛冶できたことを基盤にして、	0	0	0	0		
	秋日月及論 (1017月717日日7)	授業・保育実践を企画し、授業内で模擬実践し自ら評価する。 (3)情報通信技術を活用した教育の理論及び方法について理解 し、授業・保育実践に活かすことができるようにする。	0	0	0	0	0	
	 保育内容総論	保育計画立案の意義、保育方法や援助、保育技能等、保育者としての基本的能力を習得し、子どもを主体とした実践の理解を深	0	0	0	0		
	PRITT DE POSITIO	める。	0	0	0	0	0	
	幼児と健康	(1)幼児教育における健康の意義について理解を深め、幼児教育要領の領域「健康」のねらい及び内容を理解することができる。 (2)幼児の健康領域に関して、指導をする際に重要な要素を説明することができる。	0	0	0	0	0	
		(1)現代の幼児を取り巻く人間関係の課題を理解する。(2)乳幼	0	0	0	0		
	幼児と人間関係	児の人間関係の発達の姿や援助を理解する。	0	0	0	0		
	幼児と環境	(1)幼児を取り巻く環境の諸側面と、幼児の発達における環境との関わりの重要性を理解できるようになる。(2) 幼児と環境との関わりについて専門的概念やESDなどの現代的課題について説明でよった。(2) 別 休日期の 2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000) (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000 (2000	0	0	0			
	-9356 - 25456	明できるようになる。(3) 乳幼児期の認知的発達の特徴や筋道、 幼小の接続を理解した上で、環境を通した教育についての具体 的保育技術を習得する。	0	0	0	0		
	幼児と言葉	(1)子どもが言葉を獲得する過程、一人ひとりの発達に応じた適切な援助や保育者の役割を理解することができる。(2)豊かな言	0	0	0	0		
	がルと点来	葉を育む児童文化財への関心を高め、活用する力を身につける ことができる。	0	0	0	0		
		(1) 幼児の遊びや生活における領域「表現」の位置付けについて説明できる。(2) 表現を生成する過程について理解している。	0	0	0	0	0	
	幼児と表現 	(3) 幼児の素朴な表現を見出し、受け止め、共感することができる。	0	0	0	0	0	
内 容		(1)子どもの健康に関する知識を得ると同時に、具体的な実技や	0	0	0			
· 方	保育内容指導法(健康)	保育現場の実践資料などによって、より深く理解する。(2)現在 の保育現場にある課題を見つけ出し、解決する方法を考える力 を身につける。	0	0	0	0	0	
法	保育内容指導法(人間関係)	(1)領域「人間関係」のねらいと内容と社会的行動の育ちの道筋 を理解する。(2)社会性発達をねらいに据えた保育活動を立案で	0	0	0	0		
	水豆11石104人人间以际/	きる。	0	0	0	0	0	
	保育内容指導法(環境)	幼児の発達における環境の意義と役割を理解することによって、 幼児が様々な環境と豊かな関わりをもてるように援助していく力 を養う。	0	0	0	0	0	
	保育内容指導法(言葉)	(1)乳幼児期の言葉の発達が理解できるようになる。(2)言葉を育む基礎的知識、技術を習得する。(3)模擬保育や指導案作成を通して具体的保育技術を習得する。	0 0	0 0	0 0	0	0	0
	(P. 全山京北道: 1/ 主 中)	学生自ら表現することから、保育現場で心弾ませて乳幼児の目 の高さで、表現豊かに読み、歌い、弾き、心を通わせる保育者と	0	0	0	0	0	
	保育内容指導法(表現)	しての表現力を身につける。	0	0	0	0	0	
	乳児保育I	(1)乳児保育の意義・目的を理解する。(2) 協議未満児の心身の 発達を学び、この時期に携わる保育者の専門性を深める。(3)日本の保育制度、子育て環境の変化、子育ての価値観の変容を交	0	0	0	0		
		えて学ぶ。(4)保育者間の連携、保護者との連携を理解する。	0	0	0	0		
	乳児保育Ⅱ	(1)乳児保育 I で習得した基礎内容から、実践的な技術習得を 目指す。(2)乳児の安全な生活、情緒を豊かにする遊び、保護者 への連絡方法等について学ぶ。	0	0	0	0	0	
		▽▽ 圧恒刀囚すに 20・℃ナか。						

1		1/4\P\$ 181, 4+44 0 TP /77 1, 1, 1, 1, 1, 1, 4, 5 + 4, 77 * 7 + 5 1, 2, 1, 1, 7						
	 障害児保育	(1)障がい特性の理解とかかわり方の基本姿勢を身につける。 (2)地域の関係機関の役割や連携方法、保護者支援について理	0	0	0	0	0	
		解する。	0	0	0	0		
	社会的養護Ⅱ	保育士・児童指導員に求められる養育・支援の基本的技術の体 得を目指す。	0	0	0		_	
		(1)保育士の専門性を背景とした保護者に対する相談、助言、情	0				0	
	子育て支援	報提供、行動見本の提示等の支援(保育相談支援)について、 特性と展開を具体的に理解する。(2)様々な場や対象に即した	0	0	0	0	-	
		支援の方法と技術を具体的に理解する。 (1)子どもと家庭に関する多様な施策について幅広い知識をも	0	0	0	0	0	
	子育て政策論	ち、他制度との有機的 連携の中に保育サービスを位置付ける 視点を習得する。(2)子育て支援が必要な 背景と意義、多様な	0	0	0			
		子育て支援の現状とその政策について理解する。 子どもの発達と興味関心に応じた保育実践について習得を目指	0	0	0			0
	保育指導法	す。	0	0	0			
		■ 基本的な楽譜の仕組み、音楽の仕組みを理解し、ピアノや歌唱	0		0	0	0	
	音楽の演習(入門)	の演奏を支える基礎的知識と技術を身につけることができる。	0	0	0		0	
	音楽の演習(基礎)	(1)音楽の仕組みを理解して、楽譜を正しく読むことができる。 (2)ピアノ演奏の基礎的知識と技術を習得する。	0			0	0	
			0	0	0			
	音楽の演習2A	保育者・教育者としての音楽に対する感性を高め、子どもの感性 をも豊かに育てるための表現力を身につけ、現場に即応できる実 践力の向上をめざす。	0			0	0	
			0	0	0	0	0	
表	音楽の演習2B	をも豊かに育てるための表現力を身につけ、現場に即応できる実 践力の向上をめざす。	0	0	0	0	0	
現			0	0	0	0	0	
• 技 術	音楽の演習3	豊かに育てるための表現力を身につけ、現場に即応できる実践 力の向上をめざす。	0	0	0	0	0	
1小丁		(1)教材作成の過程で、創造性を発揮して環境構成の工夫ができるようにする。(2)作品が乳幼児の情緒の発達に適当であるか	0		0	0		0
	物語伝達の理論と演習	を考察し、作品を通して子ども理解を深めるようにする。(3)教材	0					
		作成を経験することで保育者として、児童文化のあり方を理解できるようにする。	0	0	0	0		
	 自然とあそびのワークショップ	「遊ぶこと」=「まなぶこと」を体験し、子どもの内面の動きに気づく。	0	0	0	0		
			0	0		0	0	
	おもちゃ学演習	こども達の行動分析を行いながら幼児の知能や情緒形成、認知的発達の仕組みを理解し、今後の子どもに関わるキャリアにつな	0	0	0	0		
		げる。 日本や諸外国の児童文学を学ぶことで、文化や舞台となる土地	0	0	0			
	児童文学講義	と風景に関する関心と知識を養い、子どもにとっての文学の重要性を学ぶ。また実際に作品の一部を読むことにより、作品に描かれる子どもの個性や心情を分析する力を養い、作者のメッセージを読み取る洞察力を養うことを目指す。	0 0		0	0		0
		(1)理念やその歴史、多様な視点やテーマから「絵本」というもの	0			0		0
児童文学	絵本学講義	の特性を理解する。(2)1冊の絵本を丁寧に読み解く視点を身に付け、その深さを理解し、表現することができる。(3)絵本と子ども、絵本と社会との関連を考察する力をつける。	0		0			0
学		絵本の世界を子どもたちに伝えるための知識と能力を養う。	0		0	0		0
• 絵 本	絵本読み語りの理論と演習1		0	0		0	0	
本		絵本の世界を子どもたちに伝えるための知識と能力を養う。	0		0	0		0
	絵本読み語りの理論と演習2		0	0		0	0	
	40 + 41/4	絵本の鑑賞と制作実技を通して、絵本の持つ意義、楽しさ、面白	0		0	0		0
	絵本制作	さを発見する。	0	0	0	0		
	粉肿中吐定羽(小兽++)	小学校教諭養成課程の集大成の必修科目として学習知と実践知 との統合を図り、使命感や責任感、実践的指導力等、保育者に	0	0	0	0		
実 践 演	教職実践演習(小学校)	最小限必要な資質能力の形成の確認を行う。	0	0	0	0	0	0
演習	保育·教職実践演習(幼稚園)	保育士・幼稚園教諭養成課程の集大成の必修科目として学習知 と実践知との統合を図り、使命感や責任感、実践的指導力等、保	0	0	0	0		
	水日	育者に最小限必要な資質能力の形成の確認を行う。	0	0	0	0	0	0
	教育実習(初等)	教職課程(幼稚園または小学校)においてこれまでに修得した知識や技術を、総合的に実践する応用力を養う。	0	0	0	0	0	
		小学校の現場を観察し、実体験をすることによって、子ども理解	0	0	0	0	0	0
	小学校現場体験	でである。 を深め、学校教育に関する自己の課題意識を高める。	0	0	0	0		
		(1)実習を通して、障害児への具体的な援助を考えることができ	0		0	0	0	
	こども音楽療育実習	る。(2)障害児の課題に合わせた音楽療育プランを作成し、実践できる。(3)事後指導を通して、自分自身の実習を客観視でき	0	0	0	0	0	
		る。 (1)実習の目的、内容、方法等を具体的に理解する。実習開始ま	0	0	0	0		
	保育実習指導 I (保育所)	での事前準備、実習生としてのマナー、実習記録の方法、指導計画の作成方法等を身につける。(2)実習を評価・反省し、実習後の東羽舞野を開放しまる。	0	0	0	0	0	
		の実習課題を明確にする。 実習を通して、保育の実際を体験的に学ぶ。講義を通して得た専						
	保育実習 I (保育所)	門的内容を生かして実習に取り組み、担当保育者の指導を受け ながら保育に必要な知識、技術、態度の習得に努める。	0	0	0	0	0	
			0	0	0	0	0	0

ĺ		(1)実習の目的、内容、方法等を具体的に理解する。実習開始ま						
	 保育実習指導Ⅱ(保育所)	での事前準備、実習生としてのマナー、実習記録の方法、指導計	0	0	0	0		
	THE STATE OF THE S	画の作成方法等を身につける。(2)実習を評価・反省し、実習後の実習課題を明確にする。	0	0	0	0	0	
実	 保育実習Ⅱ(保育所)	(1)特色ある保育の方法を習得する。担当保育者の指導を受けながら、こどもたちの興味関心をくみ取った指導計画を立案し、実	0	0	0	0	0	
実 習	体月天白 11 (体月別)	践する。(2)保育者を目指す者として、今後の学習課題を明確に する。	0	0	0	0	0	0
	/// · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	(1)居住型児童福祉施設における実習の意義・目的・内容を理解し、自らの課題を明確にする。(2)実習施設におけるこどもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等を	0	0	0	0		
	保育実習指導 I (施設)	理解する。(3)実習の計画・実践、観察、記録、評価について具体的に理解する。	0	0	0	0	0	
		(1)居住型児童福祉施設における実習の意義・目的・内容を理解し、自らの課題を明確にする。(2)実習施設におけるこどもの解し、自然の課題を明確にする。(2)実習を表現しています。	0	0	0	0	0	
	保育実習 I (施設)	人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等を 理解する(3)実習の計画・実践、観察、記録、評価について具体 的に理解する。	0	0	0	0	0	0
		(1)居住型児童福祉施設における実習の意義・目的・内容を理解し、自らの課題を明確にする。(2)実習施設におけるこどもの解し、自然の課題を明確にする。(2)実際により記述を	0	0	0	0		
	保育実習指導Ⅲ(通所施設) 	人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等を 理解する。(3)実習の計画・実践、観察、記録、評価について具 体的に理解する。	0	0	0	0	0	
		(1)居住型児童福祉施設における実習の意義・目的・内容を理解し、自らの課題を明確にする(2)実習施設におけるこどもの人	0	0	0	0	0	
	保育実習皿(通所施設)	権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等を理解する。(3)実習の計画・実践、観察、記録、評価について具体的に理解する。	で	0	0	0	0	0
		幼稚園の現場を観察し、実体験をすることによって、子ども理解 を深め、幼児教育・保育に関する問題意識を高める。	0	0	0	0	0	
	幼稚園現場体験	と水火、例ル教日・休日に関する 四起思概で向のの。 	0	0	0	0		
	児童館・放課後児童クラブの機能	子どもの健全育成の考え方と課題を理解する。また、実践の場である児童館・放課後児童クラブの機能を理解する。	0	0	0			
	と運営	のの元主品が成乃(主ノノノ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	0			0	0	
	児童館・放課後児童クラブの活動	児童館、放課後児童クラブの活動内容を理解する。年間を通して の活動内容の理解と行事や活動内容の立案と実施ができる。	0	0	0		_	
	内容と指導法		0	0		0 0 0 0 0 0 0	0	
	在宅保育	家庭訪問保育の必要性を理解し、その適切な運用ができる知識と技術を習得する。	_	0				
		ブルキ羽オス甘醂的か動きが山並て ユコーチンプ ロブル 地道に		0			_	
	リトミック Ι	リズム表現する基礎的な動きが出来るようになる。リズム指導に おける基礎的なピアノ演奏法が出来。指導法の年間カリキュラム			_	_	0	
		リズム表現する基礎的な動きが出来るようになる。リズム指導に おける基礎的なピアノ演奏法が出来。指導法の年間カリキュラム を把握してそれを実践出来る。 子どもたちと身体全体で音楽を楽しみながら、子どもたちの心と		0	0	0		
心	リトミック I	身体のバランスを育み、感覚を磨き、知性の基礎をつくる専門家しとしての知識を習得する。		0	0	0	0	
用		社会人として必須のマナーやプロトコール(国際儀礼)に関わる知		0	0	0		
	マナー・プロトコール	識と技能の基礎を習得する。)	0	0	0
		音楽を通して障がいのあるこどもたちの発達的援助を行うための			0	0	0	
	こども音楽療育概論	音楽療育に関する基礎および専門知識を得、療育に音楽を使用 することの意義について理解する。		0	0	0		
	一比土本安本本中四	(1)障害のある子どもを対象とした音楽療育の実践方法に関する基礎知識、専門知識、技術・技能を習得する。(2)発達援助を目的とした音楽の使い方、障害種別、形態別(個別・集団)の療育	0		0	0	0	
	こども音楽療育演習 -	目的とした音楽の使い方、障害種別、形態別(個別・集団)の操育の具体的な方法を学び、楽曲や楽器の活用法、身体活動と音楽との関連を視野に入れた実践方法を習得する。	0	0	0	0	0	0
	ニビナ労治はエル	海外の文化等に触れ幼稚園及び小学校教諭、保育士としての資質の向上を図る。	0	0	0	0		
	こども学海外研修	<u> </u>	0	0	0	0	0	0
	卒業論文・卒業制作演習 I A	自分が興味のある分野に関する先行研究を読んだり、事例研究 を行ったりすること等を通して、自分のテーマを導き出していく。	0	0	0	0		0
			0	0	0	0	0	0
卒 業		研究の基礎を習得し、文献を読み解いたり、ディスカッションしたりする等、テーマに関する考えを深化する。 -		0	0	0	0	0
研		文献や調査、作品制作等を通して、検証を深め、探究活動に取り		0	0	0	0	0
究	卒業論文·卒業制作演習ⅡA	組む。		0	0	0	0	0
		受講生各自が、テーマについて研究、検証した事柄についてまと ぬ、診立、制作の作成に向は、計画を立て、完成を見作す		0	0	0	0	0
	卒業論文·卒業制作演習ⅡB	め、論文、制作の作成に向け、計画を立て、完成を目指す。	0	0	0	0	0	0
		卒業論文・卒業制作演習で学んだことを卒業論文、卒業制作とし てまとめる	0	0	0	0	0	0
_	卒業論文·卒業制作 てまとめる。				0	0	0	0

2023年度 心理こども学部 心理学科カリキュラムマップ

	2023年度 心理こども学部	心理学科カリキュラムマップ						
I	学科の到達目標(DP:ディ	プロマポリシー)						
①心理	型的援助の現場において、人の心を 関いがある。	を癒し、支える力						
②—A	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ーション力や思考力						
3様な	マな障がいのある児童・生徒を教育	· する力						
4動物	かに関わる現場で心理学の知識や	技術を適切に運用する力						
Ⅱ 梅	花女子大学で身につける6つの力	6つの力の具体的内容の一例						
①豊た	 いな人間性	┃ ┃ 他者を思いやる心や奉仕の精神を育み、相手の立場に立って考	え、行動	 かする力				
②問是		┃ ┃ 問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析し、それを解決す	る力					
		様々な学問分野における知識を修得し、それを活用して物事を	倫理的に	考え、判論	<u></u> 断する力			
4)⊐₹	 ュニケーション力	言葉や身体、ICT等を通して自己を表現し、他者との相互理解を	深めるナ]				
⑤チ ー	-ムワーク・リーダーシップ	他者と協調・協働して行動する力、他者に方向性を示し目標の写	実現を図る	<u>る力</u>				
⑥ グロ	1一バル社会対応力	異文化を理解し、共生できる力						
			上印、五川		び6つの	力の項目	番号	
科目群	科目名	科目の到達目標		<mark>達目標(D</mark> 它女子大学		ける6つの)力	
		知覚・認知心理学と社会心理学の基礎知識を身に付けること。	1	2	3	4	5	6
	心理学概論	加見・認知心理子と社会心理子の基礎知識を対に削けること。		0				
		心理学(祭法公野・阪庁公野)の甘歴知識を見近か担占から学		0	0	0		
	臨床心理学概論	心性子(光度力封・臨床力封)の基礎知識を対近な代点がら子	卒論研究に際して、適切な統計学的検定を行えるようにな ものの見方や考え方、行動、人間関係のしくみなどについ	_	0			
		女衆珍女母の大字佐するに坐って 白色の母のニーフにいった		0	0			
	心理学研究法	適切な研究方法を立案できるようになる。		0				
		タロの女会四次に際して 第四か統計学的投守を行うてよるにか		0	0	0		
	心理学統計法I	各自の平論研究に際して、週朝は杭計子的快足を11元のようには る。		0				
		1 関のものの目士や老さ士 行動 1 関則をの! / ユンセンにつ!)		0	0	0		
学	心理学実験A	て調べるための実験・調査方法、得られたデータの統計的分析、		0				
科 必 修 科	心生于失歌八	分析結果を客観的に考察してレボートにまとめ方法などについて 学ぶ。		0	0	0		
		人間のものの見方や考え方、行動、人間関係のしくみなどについ		0				
	心理学実験B	て調べるための実験・調査方法、得られたデータの統計的分析、 分析結果を客観的に考察してレポートにまとめ方法などについて						
		分析結果を客観的に考察してレポートにまとめ方法などについて 学ぶ。		0	0	0		
	心理学演習IA	卒業論文のテーマに関する文献を読み、研究計画を立てる。また、調べてきたものを発表し、討論する。 O	0	0	0			
			0	0	0	0	0	
	心理学演習 I B	卒業論文のテーマに関する文献を読み、研究計画を立てる。また、調べてきたものを発表し、討論する。	0	0	0			
			0	0	0	0	0	0
	心理学演習ⅡA	卒業論文のための調査、実験を行う。また、卒業論文を作成す る。	0	0	0	0		
			0	0	0	0	0	0
	心理学演習 II B	卒業論文のための調査、実験を行う。また、卒業論文を作成す る。	0	0	0	0		
		7 1 2 4 5 2 4 5 6 8 1 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	0	0	0	0	0	0
	発達心理学 I	子どもの心身の発達の様相と学習の過程を理解する力を養う。 また、発達の過程で生じる心身の不適応についても理解する。さ	0	0	0			
	完连心理子 I	らに、様々な障がいを抱えた子どもの心身の発達や学習の過程 を理解し、指導・援助のための基本的知識を身につける。	0	0	0	0		0
		成人以後の生涯にわたる心理的発達の諸理論を理解し、人生上	0	0				
	発達心理学 Ⅱ	のライフイベントに関わる人間理解を深める。さらに、心理社会的 危機にある人々への心理的支援に関わる知識を身につける。	0	0	0	0		
		感情・人格心理学の基礎知識を身につけ、人の性格に対する興		0				
	感情·人格心理学	味を深めるとともに、より深い他者理解や自己理解を促進すること。	0	0	0	0	0	
		・対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心		0				
***	社会·集団·家族心理学	の過程を理解する ・人の態度及び行動を理解する		0				
学 科		・家族、集団及び文化が個人に及ぼす影響を理解する	0	0	0	0	0	0
, 科 選 択	神経・生理心理学	脳の基本的構造や働きについて理解を深めつつ、脳の精密さ、 生命の神秘に触れ、健康で普通に生活を送ることのできることに	0	0	0	0		
科	山市 工工也工厂	感謝や喜びを感じることを目標とする。	0	0	0			
目	倫理学	倫理と公民の基礎的知識を身につけるのみならず、社会生活に おいて実践出来ることを目標とする。	0	0	0	0		
	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		0	0	0			0
	祈りと心	宗教を、社会や国家、文化におよぶ人間の価値判断の根源として で尊重すべき事柄として理解し受容する姿勢を養う。そして、人間	0	0	0	0		
		相互の絆を回復させる手立てとしても機能する点を理解する。	0	0	0			0
		中学校社会科や高校地歴科との関連性を踏まえた上で、高校公 民科(現代社会、倫理、政治経済)で取り扱う教授内容を適切に	0		0			
-	公民科教育法 I	理解し、生徒にわかりやすく教材化するための基礎的能力を身に つけることを目標とする。		0	0	0		0
		高等学校公民科の学習指導案・教材づくり、模擬授業とグループ	0		0			
	公民科教育法Ⅱ	での検討会を通して、授業実践力を高める。	0	0	0	0		0
		, I						

	公認心理師の職責	公認心理師として業務の適正を図り、もって国民の心の健康の保持増進に寄与することのできる基礎的態度と適正な指針の獲得	0		0			
		を目標とする。	0	0	0		0	
		犯罪の諸実態を知り、同時に犯罪者の処遇や犯罪被害者の支援 についても考察を深めることを目標とする。	0	0				
	司法・犯罪心理学	にしてもないなどにもはいることでは、これでは、		0				
		定型発達の道筋について理解した上で、生物学的要因、環境要	0	0	0			
	障害者・障害児心理学	因による発達上の障害について正しく理解することを目標とす る。	0	0	0			0
		 困窮事態の援助について、社会制度の理解と他の専門職との連						
	福祉心理学	携無くしては、援助効果も援助成果も望めないことを理解すると	0	0	0			1
		共に、「独りよがりの援助者」ではなく専門的援助者になるための 資質を獲得することを目標とする。	0	0			0	
		学生生活を通して相手の話を正しく「聴く」練習や、自分の気持ち						
	 心理学的支援法	を適切に相手に伝える練習をする機会は、殆どない。そこで、こ の授業では、相手の話を正しく「聴く」ためには、どのようにしたら	0	0	0			
		よいのか、また、自分の気持ちを相手にどのように伝えたらよい	0	0	0	0	0	0
		のかについて体験的に学ぶことを目的とする。 音楽の効用や音楽療法の手法を知り、臨床場面で対応できる基	0					
	 音楽療法概論	では、	0		_			
			0	0	0	0	0	0
	サイコドラマ入門	自分を表現したり、他者の視点や立場を追体験することで、自己 理解や他者理解を深め、コミュニケーションカや共感力を育む。	0	0				
	7 1-1 2 1711		0	0		0	0	
	心理的マンフハリ	心理検査の基礎を学び、心理学的な視点から客観的に自己分析する方法を身につけることを目標とする。	0	0	0			
	心理的アセスメント	プシンススムで対に ンリ゙がにてて口际にがが。	0	0	0	0	0	
		私たちの健康をとりまく社会システムや心理学的諸理論を理解	0	0	C			
	健康·医療心理学	し、自らの健康について深く考え、医療や社会における心理的支援に関わる知識を習得する。また、実際に自らの健康関連行動						
公 認		の変容維持に到達することができることを目標とする。	0	0	0	0	0	0
心		スクールカウンセリングの理論と実践についての基礎的な知識と 方法論について習得する。 また、現代の学校現場における児童	0		0			
理	教育·学校心理学	生徒の諸問題および背景に関する基礎的な理解力と実践力を養	-					
		うことを目標とする。	0	0		0		
	 関係行政論	法体系と行政、公認心理師法の理解、保健医療分野、福祉分野、教育分野、司法・犯罪分野、産業・労働分野の専門家と施設		0	0			
		、法律と政策を知ることを目標とする。		0	0		0	
		精神疾患・精神障がいについての基礎と支援について理解する	0	0	0			•
	精神疾患とその治療	ことを目標とする。	0	0	0	0		0
		認知行動療法の理論を学び日常生活に活かせるようになる。						
	認知•行動療法		0	0	0	0		
		 遊戯療法を実際に実践できるようになる。	0					
	プレイセラピー		_	_				
			0			0	0	0
	絵とイメージの心理療法	「アーンと派力心空源」の登録についての空所と体の句。	0					
			0	0	0	0		
		人生で経験しうる様々な死と生の場面に関わる学びを通して、現代社会における課題について理解を深める。また、死に臨む人や	0	0	0	0		
	死生心理学	死別の悲しみに直面している人へのケアができることを目標とす	0	0	0	0	0	
		る。 保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働の5つの分野それ	0	0			0	
		ぞれの分野における具体的な場面を想定した役割演技(ロール	0	0	0	0		
	心理演習	プレイング) や相談支援の演習を行うことにより支援を要する者の 現実生活を視野に入れたチームアプローチのためのび支援計画						
		の作成ができること目標とする。	0	0	0	0	0	0
		病院、福祉施設、小学校・中学校等において学外実習を通して、	0	0	0	0		
	心理実習	アセスメント、心理相談、チーム連携・職業倫理の実際を学び、公認心理師の業務に必要な心理支援に関して基本的な水準の知						
		識及び技能を習得することを目標とする。	0	0	0	0	0	0
	社会学	現代社会を理解するうえで知っておくと大変有用な社会学的なものの考え方の基礎を身に着けることを目指す。	0	0	0			
	江五子		0	0	0	0	0	0
	11 27 1 67 24	経済のしくみと課題、経済学の基礎知識を、日常生活と結びつけて理解する。また、授業で学りた。これを日常生活の中で活用し	0	0	0			
	生活と経済	て理解する。また、授業で学んだことを日常生活の中で活用し、 生活者として主体的に経済活動を実践する。	0	0	0			0
		自分自身のスポーツ競技活動に心理学の知識を役立て、心理学						
	スポーツ心理学	的な側面からスポーツに対する理解を深めることを目標とする。	0	0	0	0	0	
		 学校というコミュニティで生起する課題をクリアすることで、受講者	0					
	コミュニティ心理学	が社会において何をどのようにすれば社会貢献になるのかを知	_	_	_			
+		り、社会貢献できる人材の育成を図ることを目標とする。 社会調査の結果を読むための知識を習得し、実際に調査を実施	0		O	0	0	
ヤリ	社会調査入門	社会調査の指案を読むための知識を負待し、美味に調査を美施する際のポイントをつかむ。		0				
ア				0	0			
心 理	社会調査法	量的調査研究の一連の流れを理解するとともに、調査結果など の内容についても理解できるようになる。		0				
	1-4 H1 - 1-4			0	0			
	W## # /- #! 6 \ - ***	消費者行動の心理の諸分野について総説的な知識を得る。		0				
	消費者行動の心理 				0			
İ	1							

		各自の卒論研究に際して、適切な統計学的検定を行えるようにな						
	心理学統計法Ⅱ	る。		0	0	0		
		 組織における個人の行動を理解し、働きがい、ストレス、キャリア		0	0	0		
	ビジネス学(産業・組織心理学)	など、職場における心理的な諸問題に対して必要な支援を理解 することを目標とする。	0	0	0			
		味覚や嗅覚の脳内処理機構の概要を説明できる。味や香りが日	0	0	0	0		
	味と香りの心理学	常の生活場面でどのような働きや作用を持っているのかを理解 する。食行動の制御における味や香りの役割について概略を説 明できるようになる。	0	0	0	0		С
	–	色が私たちの生活において果たす物理的・生物的・心理的な役	0	0	0			
	色彩心理学 	割について、基礎的な知識を身に付ける。		0	0	0		
	社会調査実習A	社会調査の基礎を習得するために、学生自身がチームを組んで、作業を進行する。チームを組織し、協力して目標達成に向けて運営していくための、コミュニケーション能力、リーダーシップや		0				
		マネジメント能力を獲得する。	0	0	0	0	0	
	社会調査実習B	社会的課題の発見と調査方法の手順を習得する。	0	0	0	0	0	
		 知覚心理学・学習心理学・認知心理学における重要事項につい	0	0	0	0		
	知覚·認知心理学	て理解することを目標とする。	0	0	0	0		
		学習心理学・言語心理学における重要事項について理解するこ	0	0	0	0		
	学習·言語心理学	とを目標とする。	Ü	0	0	0		
		グルーミング・トレーニング・看護など、ペットビジネスのスキルを	0	0	0	0		
	ペットビジネス 	総合的に身につけることを目標とする。	0			0		(
	動物社会学	ヒト以外の霊長類とヒトの行動との相違点や類似点を常に考えること、サルを通して人の理解ができることを実感しながら、論理的	0	0	0	0		
	<u> </u>	思考能力、表現力も向上できることを目標とする。	0	0	0	0		
	ドッグトレーニング	どうすれば犬が幸せに暮らすことができるか。そのために飼い主 様の犬のしつけに対する相談に応えたり、犬が人とともに家族の	0		0	0		
ア	 	一員として仲良く生活できるように、指導・訓練ができるようになる ことを目標とする。	0	0		0		
=	アニマルセラピー(ホース)	馬の特性について学ぶ。発達障害のある子どもたちの理解と支援の方法を学ぶ。教育の中で馬の特性を活かす方法を学ぶ。	0		0	0		
マル	ブーマルセクレー(ホース)		0	0		0	0	
セラピ	 アニマルセラピー(ドッグ)	実践に通じるアニマルセラピーの基礎を学ぶ。	0	0		0		
Ľ) — ()) E) E (()) /		0		0			(
•	アニマルセラピー(ドッグ) 実践演習	(1)アニマルセラピーとは何か理解する。(2)セラピーに関わる動物への理解を深める。(3)アニマルセラピーの実践的な知識を得	0		0	0		
		る。 受講することにより、医療、福祉、教育における動物の役割につ	0		0	0	0	
	アニマルセラピー論	いて理解し、動物介在療法を介入方法の1つの手段として、介助 犬を生きた自助具の1つとしてとらえることができる基礎知識を習	0		0	0	0	
		得する 人獣共通感染症を中心に学び、人と動物が共生する社会におい		-			0	
	動物公衆衛生学	て動物看護士として必要な知識を身につける。	0	0	0	0		
		動物病院現場での動物看護の理論と実践を学ぶ。また動物の疾	0		0	0		
	小動物臨床看護学	病についての知識を身につける。	0	0	0	0		
	T. 11 (-T. W	動物研究を行う意義と研究手法について理解することを目標とし	0		0	0		
	動物行動学	ます。そのうえで、学んだことを活かした研究について、自分で考えられるようになってください。	0	0	0	0		
	特別支援教育概論	特別支援教育の概要を理解する。また、特別支援教育に関する 理念、制度、対象障害種、特別支援教育の現状と課題について	0	0	0	0		
	147リス 1友子入日 1943間	理解する。	0	0	0	0		(
	 知的障害者の心理・生理・病理	知的障害における心理機能の諸特性の理解と発達支援の視点 を理解する。知能・言語・社会生活に関する代表的なアセスメント	0	0	0			
		についての知識を習得する。 時体不自中間・老の登達とその陪実について、運動、成党・知		0	0	0		
	肢体不自由者の心理・生理・病理 (人体の構造と機能及び疾病)	肢体不自由児・者の発達とその障害について、運動、感覚・知 覚、言語、社会性、思考の諸側面から理解する。	0	0	0	0	0	
		病弱児・者への臨床像とその心理・生理・病理的基盤を理解す))	0)		
	病弱者の心理・生理・病理	る。病弱児・者の教育的ニーズの心理学的基盤とアプローチを理解する。	0	0	0	0	0	
		知的障害に関する理解を基本とし、特別支援学校教育課程の理解、個別の指導計画作成を目標とする。	0	0	0			
	知的障害者指導法		0	0	0	0		
	肢体不自由者指導法	肢体不自由に関する理解を基本とし、特別支援学校教育課程の 理解、個別の指導計画作成を目標とする。	0	0	0	0		
特			0	0		0		
別	病弱者指導法	病弱児・者の疾病について理解するとともに、その心理特性を把握し、その教育的支援について理解する。			0			
		視覚に関する解剖生理、眼疾患の概要を理解する。視覚障害者	0	0		0	0	
	視覚障害者の心理・生理・病理	の心理特性を理解し、支援の在り方を考える。	0	0	0			
		聴覚及び音声に関する解剖と生理についての理解を深め、聴覚		<u> </u>	_			
		障害や音声機能障害に関する病態について知る。聴覚に障害の	0	0	0			1
	聴覚障害者の心理・生理・病理	ある子どもの心理を多面的に理解し、コミュニケーション手段の実際について知る。	0	0	0	0		

	自閉症、ADHD等の心理・生理・病理の基本的特徴を理解し、神						
重複障害・LD等の心理・生理・病	日前症、ADRO等の心理・主理・病理の基本的特徴を理解し、神 経学的評価や心理学的アセスメント、治療教育の基礎となる理論	0	0	0			
理	とその実践について概要を理解する。	0			0		0
視覚障害者の理解と指導法	視覚障害教育における教育課程、自立活動を理解する。実践的 指導力の基礎をつくる。	0	0	0			
		0	0				
聴覚障害者の理解と指導法	聴覚に障害のある子どもの心理を多面的に理解し、発達段階ご との教育支援課題、現状と課題等について、具体的な教育方法	0	0	0			
心无件自己 02所C旧寺丛	と発展的な知識について理解する。	0	0	0	0		0
発達障害教育方法論	発達障害に関するアセスメント方法について理解する。特性に配 慮した教育方法について理解する。	0	0	0	0		
元是件日扒日乃広 論		0			0		0
こども音楽療育概論	音楽を通して障がいのある子どもたちの発達的な援助を行なうための音楽療育に関する基礎・専門的知識を得て、療育に音楽を	0		0	0		
	使用することの意義について理解することを目的とする。	0	0	0	0	0	0
こども音楽療育演習	音楽を通して障害のある子どもたちの発達的な援助を行なうため の音楽療育に必要とされる演奏および援助技能を養う。	0		0	0		
-乙廿日米尔月		0	0	0	0	0	0
こども音楽療育実習	音楽を通して障害のあるこども達の発達的な援助を行うための音 楽療育に関する実践能力を養成する。	0		0	0		
		0	0	0	0	0	0
特別支援教育指導法演習A	実践の中から、自らが見出した課題について議論し、実践力を身に着ける。	0	0	0			
17/1/文1及我自由等体决自己	1-14.7	0	0	0	0	0	0
特別支援教育指導法演習B	実践の中から、自らが見出した課題について議論し、実践力を身に着ける。	0	0	0			
17/1/文版教育旧等仏演自日	1-/4./	0	0	0	0	0	0
 特別支援教育コーディネーター論	特別支援教育コーディネーターの役割を理解する。特別支援教育の現状と課題、他機関連携とコラボレーションについて理解す	0	0	0			
可加又1及秋日コーナイヤーアー間	る。	0	0		0	0	
	教育実習への高い意欲と自覚をもつ。特別支援学校における教 科の実践的な指導力を身に付けるとともに、障害のある生徒や	0	0	0			
特別支援教育実習	学校の実態について深く理解する。教職への適性や課題について自己診断する。	0	0	0	0	0	0
卒業論文	心理学に関連する研究を行い、学術的な形式の論文としてまと め、口頭で発表する。	0	0	0	0		
竿 未픎 人		0	0	0	0	0	0

	及人儿子即 及人儿子们/	J フィ エ ノ ユ マ ノ ノ						
I	 学科の到達目標(DP∶ディ							
(1)Lo	かりとした調理技術と理論を身につ	つけ、「食育·安全」「食産業」「食文化史」の三系統にわたる体系的な	知識を持	寺ち、食文	化を総合	的に理解	弾できるナ]
		意識を有し、文化・自然科学的知識に基づいて、素材の特徴を最大队						
		管理能力と高い接遇(ホスピタリティ)能力	KIC	C 0 10 元	754 75	CC 071		
		■ 生能力と同い接過(ホベビメリティ)能力 基盤に世界の食文化を理解し、日本の食文化の発展に結びつけ、署		ーレができ	- Z +			
			すり りの	בבאי ניכ	ะอม			
Ⅱ梅	花女子大学で身につける6つのカ	6つの力の具体的内容の一例						
①豊か	かな人間性	他者を思いやる心や奉仕の精神を育み、相手の立場に立って表	え、行動	かするカ				
2問是	夏解決力	問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析し、それを解決す	る力					
3論理	里的思考力	様々な学問分野における知識を修得し、それを活用して物事を記	倫理的に	考え、判	断する力			
4 ⊐₹	ュニケーションカ	言葉や身体、ICT等を通して自己を表現し、他者との相互理解を	深める力)				
⑤チ ー	-ムワーク・リーダーシップ	他者と協調・協働して行動する力、他者に方向性を示し目標の実	₹現を図ん	る力				
⑥グロ	 1一バル社会対応力	異文化を理解し、共生できる力						
						力の項目	番号	
科目群	科目名	科目の到達目標				1+Z67A) 	
			1 +2 . 1#3	2	3	4	5	6
	^ D /# L ** T	微生物、食中毒を理解し、食中毒を予防できるようになる。		0				
	食品衛生学 I			0	0			0
		食品を扱う上で、食中毒を予防できるようになる。また、食品添加		0				
	食品衛生学Ⅱ	物の基礎知識を身につけ、その有用性と危険性について考える 力をつける。			0			
		75 - 77 0 0 器具、容器包装の取り扱いや安全性について習得する。また、調			0			O
	食品衛生学Ⅲ	理従事者や食品を扱う現場がどのような衛生対策、消毒・殺菌を		0				
	及加州工于血	行うのか、遺伝子組換え食品の種類と安全性、衛生法規につい ても理解する。		0	0			0
		食品衛生を身近に感じ、衛生管理の重要性を再確認する。実験		0				
	食品衛生学実習	操作、レポートの書き方を修得する。						
		 栄養素の種類と働きを理解する。			0	0	0	
	栄養学 I	不良赤が住放に倒てと生所する。						
			0	0	0			
		①栄養素の種類を学び、各栄養素の体内での働きを理解する。 ②エネルギー代謝に関与する栄養素について理解する。③食品		0				
	栄養学Ⅱ	に含まれる栄養素と健康増進、生活習慣病との関係を説明でき		**せる調理・加工ができる力 ***********************************				
-		る。 主観的なおいしさについて影響を及ぼす要因について知り、おい						
	調理理論 I	土飯的なのいしさにういて影音を及ばり安固にういて知り、のい しさについての理解を深める。	0					
			0		0			
	調理理論Ⅱ	①調理の基本操作を理解する。②植物性食品の化学・物理的特性を理解し調理による変化を知る。	0					
	· 加土土 · 一 · 一 · · · · · · · · · · · · · · ·	TECTIFOUNT ION OXIDENT OF	0	0	0			
	-m-m-A —	1 動物性食品とその他の食品の調理過程における化学 的・物	0					
	調理理論皿	理的特性を理解する。 2 調理操作を行う際の理解を深める。	0	0	0			
		調理を行うときの、調理操作や材料、器具、手順、調味料が必要	0					
	調理科学演習	な理由を理解できるように、理論を実践に結び付けられるように する。	0	0	0		0	
		↑ 0° 0						
	食品学Ⅰ	た、様々な加工食品について学ぶことにより、調理の多様化、省 略化に対応し、調理力をつける。	0					
		哈化に対応し、調理力をつける。 食品の特徴、旬、含まれる成分などについての知識を深め、ま	0		0		0	
	食品学Ⅱ	た、様々な加工食品について学ぶことにより、調理の多様化、省						
		略化に対応し、調理力をつける。			0			
	食と嗜好のサイエンス	調理や食品の加工をする際に役立つ科学的な知識を得ることを 目標とする。また、調理師に必要な食品学・栄養学分野の知識を		0				
	KC-1400	充実させ、栄養学的知識を持った調理師を目指す。		0	0	0		
		1. 公衆衛生の観点から、食生活と健康に関する基本的知識を修得する。		0				
	公衆衛生学 I	149 る。 2. 食生活の変化を分析して課題を見つけ、人々の健康を維持し						
		増進するために必要な解決法を学ぶ。	0	0	O			0
基		1. 労働衛生に関する基本的知識を修得し、労働災害の防止策を 考える。		0				
基 本 科 目	公衆衛生学Ⅱ	2. 公害病の歴史や環境衛生に関する基本的知識を学び、課題						
目		解決に向けて個人ができることを考える。		U	U			
	₩ 7# = 11 712 - 12 -	調理の基礎を身につけ、調理器具を正しく使い、料理についての 技術と知識を身につけるとともに	0					
	基礎調理実習 I	衛生面、栄養面での知識を身につけ、実習Ⅱへのスムーズなレ				0	0	
		ベルアップが出来るだけの能力をつける。 調理実習 I に引き続き、基本的な調理技術を習得して「調理師」						
	<u></u>	としての見識と教養を身につける。また、2年次に向けてスムーズ	0					
	基礎調理実習Ⅱ	な調理実習が実施できるよう、目的に合わせた器具の正しい扱い方を習得する。	0	0	0	0	0	0
		調理実習を通じて「食」に対する興味を深めるとともに、調理師と	0				_	
	基礎調理実習Ⅲ	して必要な見識と技術を身につけ、社会における調理現場の仕	0					
		事を理解する。 実習中の動き、流れを各自把握できるようになりましょう。			O	O	O	0
	専門調理実習 I	大日 TV 到こ、川1 でで 日 口 住 じこ のよ 川 にはりましより。	0					
	- · · · ·	1	0	0	0	0	0	0

	料理の創造力を高めることで新たな知識を身につけよう。						
専門調理実習Ⅱ	行生の別位別で同ののことで利元がAngeのファクリのフ。	0					
	調理師として必要なスキルを身につけ、常に安定した料理を提供	0	0	0	0	0	0
専門調理実習Ⅲ	できる技術力の習得を目標とする。	0					
	# CD (A A 4 C 2 = 1 - CD + 1 A - C A (A A + 27 L - 1) 7 17 = CD + 1 17 = C	0	0	0	0	0	0
総合調理実習 I	集団給食を行うことで実社会での給食業務における、協調性、責任感、向上心を養うとともに、衛生観念、安全管理を身につけ、お客様の満足度を理解し、いかに高めるかの研究心と応用力を習得する。調理師としての技術とともに、献立作成を行うことで栄養	0					
	バランスや調理パーセントを習得し、健康面も考慮できるようにす る	0	0	0	0	0	0
	集団給食を行うことで実社会での給食業務における、協調性、責 任感、向上心を養うとともに、衛生観念、安全管理を身につけ、お	0					
総合調理実習 Ⅱ 	客様の満足度を理解し、いかに高めるかの研究心と応用力を習得する	0	0	0	0	0	0
	食育論は、これから学ぶ食の入門編である。今まで生きてきた 過程で「食」について考えてきた事を更に深めて「食」が人間生活		0				
食育論	の基本であることを再確認する。そして「食」を大切にする心を養し うことを目標とする。	0	0	0			
	食物アレルギーの仕組み、その原因食品と引き起こされる症状、		0				
食品アレルギー論	検査と治療法、低アレルゲン食について理解する。		0	0	0		
	民族、地域、時代、宗教などによって多彩な面をみせる食文化の				0		
食文化概論 	多様性を理解する。 	0		0			0
	日本の食文化に影響を与えた諸外国の影響を考慮しながら、未	_			0		
日本文化と食	来の日本食のあり方に対する個々人の考えを構築することを目 指す。	0		0			0
	「生物学」の基礎知識を身につけ、専門科目をより深く理解する	J	0	9			
食と生命	下地を作る。		0	0			
	基礎知識の習得	0					
製菓理論 I						^	
	製菓製パン材料の種類、特徴、性質にあった基本製法を知る。	0	0	0	0	0	
製菓理論Ⅱ		0					
	制苗田論太阳部」の処送苗2制進せ坐や中心が「ウルイのケー	0	0	0	0	0	
│ │製菓理論Ⅲ	製菓理論を理解し、2級洋菓子製造技能検定合格に向けての知識を得る。	0					
		0	0	0	0	0	
製菓実習 I	基本である生地を作る・塗る・かける・絞る・切るなど、常に衛生的 にできるよう学ぶ。	0					
公本八日 1		0	0	0	0	0	
製菓実習Ⅱ	基本で学んだ生地を作る、塗る、かける、切るなどを常に衛生的 で早く、正確にできるようになる。	0					
	くてい 上曜にくらいの ハマゆの	0	0	0	0	0	
	製菓の意義・目的・製菓操作を理論的に学び、科学的裏付けをも ちながら製菓実習を行い、菓子の食生活における意義、菓子と社	0					
製菓実習Ⅲ	らなから製果美質を行い、果子の良生活における息義、果子と在 会、菓子の果たす役割について学ぶ。そしてその知識を活かせる ようにする。	0	0	0	0	0	
	製菓の意義・目的・製菓操作を理論的に学び、科学的裏付けをも	0					
製菓技能士実習I	ちながら製菓実習を行い、菓子の食生活における意義、菓子と社会、菓子の果たす役割について学ぶ。そしてその知識を活かせる ようにする。	0	0	0	0	0	
	2級菓子製造技能士(洋菓子)試験合格	0					
製菓技能士実習Ⅱ		0	0	0	0	0	
	高齢者社会の中で経口栄養による「食事」の重要性を理解する。	U		0	0	O	
介 羅合十字羽	高齢者に食事を提供するために必要な食品、栄養、衛生、また高齢者の身体的特徴、心理的特徴について高齢者の健康や心理		0				
介護食士演習	m もの身体的特徴、心理的特徴について高齢もの健康や心理を理解し、高齢者向けの調理についての知識と技術を習得する。	0	0	0	0	0	0
	HACCPを始めとする国内外の食品安全管理システムについて具体例をなって理解すること		0				
HACCP·食品安全管理学	体例を交えて理解すること 食品表示検定協会主催食品表示検定(初級)の受験対策を行う						
			0	0	0	0	0
 HACCPワークショップ	HACCPの知識とHACCPプラン作成能力を身につけ、「HACCP管 理者」申請資格を得る。		0				
			0	0	0	0	0
食品加工演習	実際に加工食品をつくり、その面白さや不思議が起こる原理を知り、自分で美味しく作れることを体験すること		0				
及叫"一次日		0		0	0	0	
合じジナフ畑や	経営学に関する基礎的な理論を体系的に理解し、実際の事例に 対し、適切な問題設定と分析、提言ができる。			0			
食ビジネス概論	MI O ME AN O I I I ME D M C C O O		0	0			
A-+ >> /^	財務会計分野の基礎的な項目を理解すること。具体的には、日本帝王会議所主族の第記検索2級に会換するための其本の知識			0			
食マネジメント論	本商工会議所主催の簿記検定3級に合格するための基本の知識を身に着けましょう。		0	0	0		
de alle law - 5	ビジネスプランの基本的な構成要素を理解し、理解に基づいて、			0			
起業概論	協働作業によりアイデアをまとめて、その結果を第三者に伝えら れる。		0	0	0		
	絵が描けるようになることで、言葉や文字とあわせより正しく具体			0			
食の企画と演出	的に、自己のイメージを伝えることができるようになります。	0	0	0			
		0	0	O			

ſ		設計図の基本知識と製図技術を習得し、設計図から空間の完成			0			
	店舗デザイン	イメージを正しくつかみイメージボードを作成。自分の企画した店 舗をプレゼンテーションできるようになります。	0	0	0			
=		自由な発想で「食」を総合的にイメージできるようになる。			0			
	食空間デザイン						0	0
=		各時代の美食文化の担い手たちの系譜を理解しながら、未来の				0		
	美食の歴史	美食のあり方について考える。	0		0			
ľ	A	さまざまな「食」の文字ことばによる表現を理解し、それを自らのこ				0		
	食とことば	とばとして活用できるようになる。	0		0	0		0
-	A Lacture III	革新的であった近現代の食生活の展開過程を理解する。最終課				0		
	食と近現代	題では、受講生それぞれが、自分の言葉で、日本食の150年史について説明することが求められる。	0		0			
-		食文化・食行動についての知識や技術を外国語を通じて理解したが、調理制度なりが発養等理の思想ではなれる。				0		
	フードランゲージ	ながら、調理・製菓および栄養管理の現場で使われる外国語の 基礎を習得する。			0	0		0
Ī	A 4.	酒類およびワインの概論を理解				0		
	食とワイン		0		0			0
ľ		世界から注目される大阪の食文化の特異性について考察し、それが、カストラーをできる。				0		
	大阪の食と文化	れぞれが自分の言葉でその魅力を語れるようになることが求められる。	0					0
ļ		家族・家計にかかわる生活の課題を主体的に解決し、生活を充		0				•
	家計と経済	実向上させる実践的能力を身につける。家族·家計に関する家庭 科の授業内容を理解する。		0	0			
ľ		住生活と住まいの関わり方について理解し、自らが健全な住意識		0				
	住まいと暮らし	や的確な住要求をもつ。	0	0	0			
ľ		家庭生活に関わる技術の基礎を理解し、豊かな生活をするため		0				
	家庭電気・機械及び情報処理	に、それを適切かつ安全に利用したり指導したりできるようになる こと。	0	0	0			0
f		衣服を構成する要素である、素材やその特性、衣服の機能を十		0				
	衣と暮らし	分理解して、快適な衣生活を送ることに役立てる。	0	0	0			
ŀ		子どもの発達を理解し、状況に応じた適切なかかわりを習得す		0				
	保育学	ప .	0		0			
f		身体の動きと衣服の関係を学習し、機能的な衣服を考え、適応す		0				
	衣服演習	る被服材料からの制作や、衣服の構成を理解し、簡単な衣服制 作で基本的な知識を身につけ、計画的な作業に取り組む事が出	_		_			
		来るようにしましょう。	0	0	0			
	ブライダルプランナー Ⅱ	ブライダルの基礎知識に加え、その運営に求められる知識を学 ぶことにより、飲食サービスに求められる接遇スキルを身に付け		0				•
ļ		ే .	0	0				
		改訂された新学習指導要領の内容を理解する。家庭科の学習内 容および必要な基礎的知識を身につける。家庭科の指導計画が		0				
	家庭科教育法 I	立てられるようになることと、アクティブ・ラーニングが実践できる	0	0	0	0		
}		授業の工夫ができようになることをめざす。 年間指導計画の意味を理解し、計画できるようになる。多様な授	<u> </u>			<u> </u>		
	家庭科教育法Ⅱ	業形態を学び、学習内容に応じて、生徒主体の授業を計画する		0				
}		力を養う。実技実習を含む授業の教材研究ができる。 家庭科の学習の目標が理解できる。学習の主体が生徒であるこ	0	0	0	0		
	家庭科教育法Ⅲ	とを見失わず、生徒一人ひとりが主体となって学習でき、実践的		0				
		に学べる授業を工夫できる。教育実習の研究授業に向けて、学習指導案が書けるようになる。	0	0	0	0		
ļ		分かりやすい授業、効果的な学習方法の選択、生徒の主体的学		0				
	家庭科教育法Ⅳ	びが実現できる授業づくりができるようになる。生徒とのコミュニ ケーション、よりよい学習集団作りのついても考えることができる						
		ようになる。生徒および学校の特色を生かし、時代の変化に呼応した教育実践が工夫できる資質を培う。	0	0	0	0		
+		各分野に関する知識と理解を深め、研究方法の方法論を学ぶこ	0	0	0	0		
	食文化演習 I	とで来年度に取りかかる卒業研究の基礎を固める。		0	0	0		
ŀ		各分野に関する知識と理解を深め、研究方法の方法論を学ぶこ	0	0	0	0		
	食文化演習 Ⅱ	とで来年度に取りかかる卒業研究の基礎を固める。		0	0	0		
L		卒業テーマを設定し調査する。卒業論文または卒業制作の構成		0	0	0		
	卒業研究 I	を完成させ進める。		0	0	0		
	1 212 21 20 -							
=	卒業研究Ⅱ	4年間の学びの集大成として、卒業論文または卒業制作を完成させる。		0	0	0		

I 学科の到達目標(DP:ディプロマポリシー)

食の営みを通して、健康の維持・増進、疾病の予防・回復について栄養面から取り組み、実践できる管理栄養士となるため、学科の定めたカリキュラムを履修し、 卒業に必要な単位を修め、次に掲げる能力を有した者に、学士の学位を授与する。

- ① 管理栄養士として必要な知識、技能を修得し、主体的に問題解決のできる能力
- ② 管理栄養士の立場を自覚し、多職種とコミュニケーションを図りながら連携、協働し、意欲的、創造的に活動できる能力

3 教	養と思いやりのこころをもって人々と	:接し、食行動と栄養管理について統合的に理解するとともに実践. -	力を身につ	つけ、健康	東及び医療	寮に対して	で寄与で	きる能力				
Ⅱ 椎	花女子大学で身につける6つの力	6つの力の具体的内容の一例										
①豊/	かな人間性	他者を思いやる心や奉仕の精神を育み、相手の立場に立ってま	を思いやる心や奉仕の精神を育み、相手の立場に立って考え、行動する力									
2問	題解決力	問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析し、それを解決す	る力									
3論5	里的思考力	様々な学問分野における知識を修得し、それを活用して物事を	様々な学問分野における知識を修得し、それを活用して物事を論理的に考え、判断する力									
4 ⊐₹	ュニケーションカ	言葉や身体、ICT等を通して自己を表現し、他者との相互理解を	深めるナ]								
⑤チ -	-ムワーク・リーダーシップ	他者と協調・協働して行動する力、他者に方向性を示し目標の実現を図る力										
⑥グロ	コーバル社会対応力	異文化を理解し、共生できるカ										
			上段·到·	DP及 達目標(D	とび6つの P)	力の項目	番号					
科目群	科目名	科目の到達目標 			学で身につ (3)	ける6つの	力 (5)	6				
		①健康と疾病の連続性の理解	0	0	0	<u> </u>	<u> </u>	1 0				
社 会	公衆衛生学 I	②.健康寿命の延長 ③個人・集団と自然環境・社会環境の関連性の理解 ④予防医学での科学と技術の構築	0	0	0	0	0					
• 環		①ライフスタイルと健康観の理解	0	0	0							
境と	公衆衛生学Ⅱ	②地域社会における健康観及び一次予防の必要性の理解 ③総合医療保健への拡大	0	0	0	0	0					
健		①個人の健康管理(セルフ・ケアまたはセルフ・コントロール)	0	0	0							
康	健康管理論	②集団における健康管理 ③健康増進に寄与する要因が理解できる。	0	0	0	0	0					
		①細胞の一般的な構造とはたらきを説明できる。	0		0		J					
	解剖生理学 I	②各器官の機能について説明できる。 ③各器官における構造とその働きとの関連について説明できる。		0	0							
		①合務旨にありる構造とての働きとの関連について説明できる。①体のしくみを調整する各器官の構造と働きについて説明でき			_							
	 解剖生理学 II	ర్ .	0		0							
	7,7,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1	②人体の発生過程についての概略を説明できる。 ③血液と免疫機構、生体防御についての仕組みを説明できる。 ①人体の構造と機能について理解を確実にする。		0	0							
	解剖生理学実験	②実験データを適切に評価して、判断や結果を示すことができ る。	0		0			1				
		③実験結果の考察を通じて自ら考えて動く能力を身に付ける。	0	0	0	0	0					
人 (#	生化学 I	①細胞の構造と機能を説明できる。 ②生体成分の構造及び性質を理解できる。	0		0							
体 の 構	生化子 1	③代謝に関わる各酵素と酵素反応の特性を説明できる。 ④遺伝情報の保存と発現の仕組みを理解できる。		0	0							
造 と	生化学Ⅱ	①糖質、脂質、たんぱく質、核酸の代謝過程を説明できる。 ②代謝過程の相互連関と代謝調節を説明できる。	0		0							
構造と機能	· = •	③酵素欠損や中間代謝物異常に起因する疾患を挙げることができる。		0	0							
及 び	生化学実験 I	①生化学実験の基礎を学ぶ。 ②生体構成成分(糖質、脂質、たんぱく質、酵素)を実際に測定	0	0	0							
疾病	1年11年美級 1	し、その方法と原理を知る。 ③実験を通して生体構成成分の構造と性状を理解する。	0	0	0	0	0					
の 成 り		①動物やヒトの生体試料を用いて糖質、脂質の含量や酵素活性 を測定でき、それら生体成分と栄養状態・疾患との関係を説明で	0	0	0							
り 立 ち	生化学実験Ⅱ	きる。 ②遺伝子解析の方法と原理を理解し、遺伝子情報とたんぱく質 の発現・構造・機能との関係を説明できる。	0	0	0	0	0					
		①臨床検査の種類と特性を理解する。 ②生活習慣病、栄養疾患、代謝疾患等の疾病の発症や進行、病	0		0							
	疾病の成り立ち I	的評価や診断、治療の基本的考え方に関する知識を理解する。 ③病原微生物の感染、防御機構を理解する。		0	0							
	在在 小 件以上上 ==	内分泌疾患、消化器疾患、循環器疾患、腎疾患、神経・精神系疾患、呼吸器系疾患、血液疾患、運動器疾患、免疫・アレルギー疾	0		0							
	疾病の成り立ちⅡ	患等の発症や進行、病的評価や診断、治療の基本的考え方に関する最新の知識を理解する。		0	0							
	洲	栄養学的及び衛生学的側面のみならず、感染症という疾病の基 礎知識としての微生物学を身に付ける。	0		0							
	微生物学	から、いだして この 一切 一口 の 一口 の こうだい かっと しょういん しょうしょう しゅうしょう しょうしょう しょうしょう しゅうしょう しょうしょう しょうしょく しょうしょく しょくりょう しょうしょく しょうしょう しょうしょく しょく しょうしょく しょうしょく しょうしょく しょくり しょく しょく しょくりょく しょくりょく しょくりょく しょくりょく しょくりょく しょくり しょく しょくりょく しょくりょく しょくりょく しょくりょく しょくりょく しょくりょく しょく しょく しょく しょくり しょく		0	0							
	食品学 I	①食べ物と食生活を食物連鎖を含め系統的に整理し、理解できる。 ②現在の食品の分類・整理が理解できる。	0	0	0							
	TX-HH-Z-	③日本食品標準成分表等の利用上の注意点を知り、活用でき る。		0	0							
	食品学Ⅱ	①食品成分(5大栄養素)を中心に、化学的構造、特性と健康上の機能について理解できる。	0		0							
		②一次機能、二次機能、三次機能を理解できる。 ③食品の成分間の反応と生理機能性が理解できる。		0	0							
	食品学実験 I	①食品の主な成分の化学的性質が理解できる。 ②日本食品標準成分表の一般成分項目が原理を含めて理解で	0		0							
		きる。	0	0	0	0	0					

Ī		小畑里ウ里サに 1.7ハゼムミ - 学業の日仕ぬぜ八の姓所 - ##			ı	1		
		①微量定量法による分析から、栄養の具体的成分の性質、構造 が理解できる。	0		0			
	艮吅子夫級工	②機器分析による、より高度な栄養成分分析手技が理解できる。	0	0	0	0	0	
		①食品衛生法規や食品衛生行政について理解すること。②食を	0	0	0			
	食品衛生学 I	介した様々な健康被害のうち、食品の変質、経口感染症(人獣共通感染症)、食中毒、寄生虫症について理解すること。		0	0			
	A 5 (5-11)V -	①食を介した様々な健康被害のうち、食品中の有害汚染物質,異物混入についての知識を習得し、器具・容器包装の衛生についても理解すること。②食品添加物、食物アレルギー、遺伝子組換	0	0	0			
	食品衛生学Ⅱ	え食品についての定義や表示・検査方法、各論について理解すること。③管理栄養士として必要な食の安全を総合的にマネジメントできる能力を身につけること。		0	0			
食	本日年上 出中於	①実験を通して、食品衛生学で学んだ衛生管理手法についての 理解を深める。 ②基本的な食品衛生検査の技術を習得する。	0	0	0			•
べ物と	食品衛生学実験	②基本的な長品開生検査の技術を首待する。 ③実験結果を科学的に考察し、レポート作成できる。 ④共同実験における基本的なマナーを身につける。	0	0	0	0	0	
健康	食品加工学	①加工食品の製造される原理・プロセスがわかる。 ②食品加工・貯蔵の目的・方法を栄養面、安全面、嗜好面から理解できる。	0		0			
		③加工食品と関連法規について理解できる。		0	0			
	食品加工学実習	①加工食品の製造原理が理解できる。 ②加工食品の正しい保存方法、鑑別方法が理解できる。	0	0	0			
	及品加工于天日		0	0	0	0	0	
	食文化論	①国内外の食生活を構成する要因から現代の食生活を形成する 文化的背景を理解できる。 ②世界中の様々な食文化について学ぶことで、食生活に対する	0		0			
		グル―バルな見方をすることができる。	0	0	0	0	0	0
	調理学	①調理の目的や意義を理解し、調理するために必要な調理操作 や調理特性について理解できる。	0		0			
	10月1年十	②調理過程における食品の科学的変化について理解できる。		0	0			
	調理学実習Ⅰ	①調理器具の的確な使用方法がわかり、基本的調理操作ができる。 ②食品成分表を活用して栄養価計算ができ、栄養バランスが理	0	0	0			
		解できる。 ③様式別料理の基本が理解できる。	0	0	0	0	0	
		①調理学実習 I で学んだ知識、技術をもとに、より高度な調理操作ができる。	0	0	0			
	調理学実習Ⅱ	②新規の食材や伝統的食材を調理できる。 ③栄養バランスのよい献立を作成することができる。	0	0	0	0	0	
	②栄養性、安全性、嗜好性を調理科学実験理解できる。	①科学的根拠に基づく合理的調理方法がわかる。 ②栄養性、安全性、嗜好性を高める調理方法の要点の違いが、 理解できる。	0	0	0			
		③いろいろな調理の場で、最も適切な調理方法が選択できる応 用力がついている。	0	0	0	0	0	
	基礎栄養学I	①栄養の歴史、遺伝と栄養の相互関連を理解し、説明ができる。 ②栄養素の消化・吸収を理解し、説明ができる。 ③炭水化物、たんぱく質・アミノ酸の栄養学的役割を理解し、説明	0	0	0			
基		ができる。		0	0			
礎 栄養学	基礎栄養学Ⅱ	①栄養の歴史、遺伝と栄養の相互関連を理解し、説明ができる。 ②栄養素の消化・吸収を理解し、説明ができる。 ③炭水化物、たんぱく質・アミノ酸の栄養学的役割を理解し、説明	0	0	0			
学		ができる。		0	0			
	基礎栄養学実験	①栄養素の消化が理解できる。 ②栄養素の吸収後の体内代謝について理解できる。	0	0	0			
		③基礎代謝量、エネルギー代謝の意味を理解できる。	0	0	0	0	0	
	応用栄養学 I	①栄養ケア・マネジメントの概念・方法を理解している。 ②食事摂取基準策定基礎理論及び活用法を理解している。 ③各ライフステージの生理的特徴とそれに対応した栄養アセスメ	0	0	0			
		ント、栄養ケアの方法を理解している。 ①加齢に伴う身体の構造・生理的特徴に対応した、栄養アセスメ		0	0			
応	応用栄養学Ⅱ	ント、栄養ケアの方法を理解している。 ②健康増進、疾病予防など健康への影響に関するリスク管理が	0		0			
用		できる。 ③特殊環境下における栄養ケアの方法を理解している。		0	0			
栄養学	栄養と身体活動	①身体活動時のエネルギー代謝や栄養状態の変化を理解し、栄養アセスメントの基本的考え方を修得する。	0		0			
,	71-24 = 71 T'/11 29]	②アスリートのパフォーマンス向上のための栄養アセスメント、栄養ケアの方法を修得する。		0	0			
	Lunkan	①各ライフステージの対象者の栄養状態・検査等の情報から、正確な栄養状態の評価ができる。 ②栄養状態の結果に応じた栄養ケアが立案できる。	0	0	0			
	応用栄養学実習	②宋養状態の結果に応じた宋養ゲアか立業できる。 ③対象者の栄養改善、疾病予防・改善に寄与する栄養素・食品 等を提案できる。	0	0	0	0	0	
	→ 栄養教育論 I	①栄養教育の概念について知る。 ②栄養教育に用いる行動科学理論及び行動変容技法、栄養カウ	0	0	0			
	MIN -	ンセリングについて理解する。 ③栄養教育マネジメントの基礎知識と手順を理解する。	0	0	0	0	0	
		①ライフステージ、ライフスタイルに応じた栄養教育について理解 する。	0	0	0			
栄 養	栄養教育論Ⅱ	9 る。 ②対象に応じて、QOLの向上を目指した食に関する支援を考えることができる。	0	0	0	0	0	
教育論	<u> </u>	①個人や集団についての栄養アセスメントができる。 ②栄養の問題について改善目標を立て、栄養教育を計画するこ	0	0	0			
論	栄養教育論実習 - -	とができる。 ③効果的な手法や媒体を用いて、栄養教育を展開することがで きる。	0	0	0	0	0	
		<u> </u>						

		①栄養教育に関する知識と技術の理解を深め、課題解決能力や 実践力を高める。	0	0	0			
	栄養教育論演習	美践刀を高める。 ②行動科学理論や行動変容技法、カウンセリング技法の活用に ついて理解する。	0	0	0	0	0	
		①臨床現場となる医療・福祉等の各分野における、栄養学の意	0		0			
	臨床栄養学総論	義や目的、理念、位置付け等が理解できる。 ②臨床現場において実践される栄養ケア・マネジメントシステムを 活用していく医療者としての在り方や倫理について理解できる。	0	0	0			
		①臨床現場における栄養ケア・マネジメントや栄養指導の実践に	0		0			
	臨床栄養学各論 I	ついて、様々な疾患に応じたアプローチの方法を理解できる。 ②生活習慣病について、病態や栄養生理代謝と食生活の関係を 理解し一次予防の提案ができる。	0	0	0			
		①各疾患の発生機序・病態生理・臨床症状について復習しなが ら、複雑に絡み合った疾患に対して適切な食事・栄養療法ができ	0	0	0			
臨床	臨床栄養学各論 Ⅱ	る。 ②栄養ケア・マネジメントにより疾病の治療や合併症、再発を防 止の為の二次予防、三次予防の提案ができる。	0	0	0			
栄養学	臨床栄養マネジメント論	①患者の栄養状態の原因や兆候を明確にしながら栄養状態を判定できる。(栄養評価・栄養診断)	0	0	0			
学	協体未食マインメント語 	②国際標準化された用語を用いて栄養ケアプランの作成ができる。	0	0	0	0	0	0
	臨床栄養学実習 I	①疾患に対し適切な栄養ケア・マネジメントや栄養指導を行うために、具体的な症例についてSGA、ODAにもとづく実践的な栄養アセスメントができる。	0	0	0			
	協体木食子夫百 I	②同様に具体的な症例について、栄養ケアプラン作成と評価ができる。	0	0	0	0	0	
		①病態別に応じた栄養・食事管理のための食事療法が計画できる。	0	0	0			
	臨床栄養学実習Ⅱ	②摂食嚥下のレベルに応じた食形態や摂取方法の立案ができる。	0	0	0	0	0	
		③①、②に応じた特別治療食が調理できる。 ①わが国の健康·栄養問題						
	公衆栄養学 I	②公衆栄養活動における栄養疫学の活用方法 ③食事摂取基準の地域集団への活用	0	0	0			
公		④国民健康・栄養調査の概要や最近の結果、年次推移等について理解できる。 ①公衆栄養関連法規とわが国の栄養政策との関連	0	0	0	0	0	
衆栄養学	公衆栄養学Ⅱ	②健康づくり施策と公衆栄養活動の役割 ③行政における管理栄養士の業務	0	0	0			
ぞ 学		④公衆栄養マネジメントプログラムの目的や方法、展開等について理解できる。	0	0	0	0	0	
	公衆栄養学実習	①公衆栄養活動の実践に必要な公衆栄養プログラムが作成できる。	0	0	0			
		②管理栄養士として、地域・職域における総合的な公衆栄養マネ ジメントについて理解できる。	0	0	0	0	0	
	給食経営管理論 I	①特定給食の対象と特徴を理解し、栄養・食事管理のための計画・生産・サービスを行う知識と技術を学ぶ。 ②栄養・食事管理及びサービスを運営するためのシステムの構	0	0	0			
給	和及柱名官理論 1	築とマネジメントを行うための知識を修得する。 ①栄養管理、給食管理、安全・衛生管理についての知識やマネ	0	0	0	0	0	
食	給食経営管理論 Ⅱ	ジメントについて説明できる。 ②特定給食施設毎の栄養管理、給食管理が説明できる。	0	0	0	0	0	
経営管理		①特定給食施設の栄養・食事管理における立案・計画・評価がで	0	0	0			
理論	給食経営管理実習 I	きる。 ②安全で衛生的な食事サービスが説明できる。 ③食材の流通と生産工程が説明できる。	0	0	0	0	0	
Hills		①特定給食施設の特性と対象に合わせた献立作成できる。 ②特定給食施設の特性を把握し、業務日誌の作成、給与栄養量	0	0	0			
	柏良柱呂官垤美自	や残食調査等の報告書が作成できる。 ③給食での提供した食事の評価と修正ができる。	0	0	0	0	0	
総	総合演習 I	①目的意識を持って、意欲的に実習に臨む。 ②管理栄養士業務の現場を知り、現場での判断や課題解決を行	0	0	0			
合演	-	う能力を身に付ける。 専門分野を横断して管理栄養士に必要な知識や技術を理解し、	0	0	0	0	0	
習	総合演習Ⅱ	等門が野を傾断して管理未養工に必要な知識や技術を理解し、 栄養評価や管理が行える総合的な能力を身に付ける。	0	0	0	0	0	
		①栄養部門の役割と組織を把握する。	0	0	0			
	臨地実習 I (給食の運営)	②給食経営を行うために必要な食事計画・栄養管理がどのように されているか理解する。 ③調理を含めた配食サービス提供を把握する。	0	0	0	0	0	
		①実習施設における栄養部門の役割と組織を理解し、人事労務管理を把握する。	0	0	0			
臨	臨地実習Ⅱ(給食経営管理)	②給食経営を行うための食事計画や配食サービス提供がどのようになされているのか理解する。	0	0	0	0	0	
地 実		③給食経営を行うための財務管理の実際を学習する。 ①保健所および市町村保健センターにおける公衆栄養活動について理解できる。	0	0	0			
習	臨地実習Ⅲ(公衆栄養学)	②公衆栄養活動が、公衆栄養マネジメントサイクルにより実施されていることが理解できる。	0	0	0	0	0	
		③行政管理栄養士の業務とその役割が理解できる。 ①医療機関における栄養部門の役割や組織を知る。	0	0	0			
	臨地実習IV(臨床栄養学)	②管理栄養士に求められる知識、技能、考察力、判断力等の栄養ケアマネジメントに関する専門的能力を養う。 ③チーム医療の必要性、他職種との連携、患者とのコミュニケー						
		ション、接遇態度等総合能力を養う。	0	0	0	0	0	0

	144.11 334	有機化学の基礎からスタートして、食品および食品関連成分の有機化合物としての特性を理解する。さらに食品の品質評価や安	0	0	0			
	有機化学 	全性確保に利用されている機器分析の基本原理に関する知識を 身につけることを目標とする。	0	0	0			0
	日本文化と食	日本の食文化に影響を与えた諸外国の概況との比較検討を通して、日本の食文化の特質を理解している。	0		0			
	口本文化C及	CC DIFFORMING CO W.	0	0	0	0	0	0
	フードランゲージ	食文化・食行動についての知識や技術を外国語を通じて理解しながら、調理・製菓および栄養管理の現場で使われる外国語の	0	0	0		,	
		基礎を習得している。			0	0		0
	 卒業研究	食の営みを通して、健康の維持・増進、疾病の予防・回復について栄養面から取り組み、実践できる管理栄養士となるため、また	0	0	0			
専門	十未明九 1	学科の定めたカリキュラムを履修したことの集大成として、学習理解に基づく研究を行う。	0	0	0	0	0	
関	卒業研究Ⅱ	食の営みを通して、健康の維持・増進、疾病の予防・回復について栄養面から取り組み、実践できる管理栄養士となるため、また	0	0	0			
連科目	一 未明元 □	学科の定めたカリキュラムを履修したことの集大成として、学習理解に基づく研究を行う。	0	0	0	0	0	
	·	専門分野を横断して管理栄養士に必要な知識や技術を理解し、 栄養評価や管理が行える総合的な能力を身に付ける。	0	0	0			
	官理木食工與百	不良に個でも生が引える心は自じる形とうに言いる。	0	0	0	0	0	
	調理学実習Ⅲ(調理学発展実習)	調理学実習 I および II で学んだ基礎的調理技術をもとに、病院、社会福祉施設、集団給食施設で栄養バランスと美味しさ、ま	0	0	0			
	调性于关目型(调理于无极关目)	た文化や風土を見据えた応用的な調理技術や調理のコツを習得している。	0	0	0	0	0	0
	学校栄養教育概論	①栄養教諭の成り立ちや制度など、基本的事項について理解で きる。	0	0	0			
	于X不食双月似洲 	②栄養教諭に何が求められているかを考え、実践する力を身に	0	0	0	0	0	0
	学校栄養指導論	①学校教育活動における食に関する指導について理解する。 ②食に関する指導の実践力を身に付ける。	0	0	0			
	十 汉不食旧等調 		0	0	0	0	0	0

看護保健学部 看護学科カリキュラムマップ

- I 学科の到達目標(DP:ディプロマポリシー)
- ①社会に貢献できる人に求められた教養と人間性、高い倫理観に基づく看護を実践する基礎的な力。
- ②人間関係を形成するためのコミュニケーションの基礎的な力。
- ③根拠に基づき臨床判断し、課題に対応できる基礎的な力。
- ④地域で生活する人々の障害を通じて、健康の保持増進、疾病の予防、健康の回復、やすらかな死にかかわる看護を実践する基礎的な力。
- ⑤多職種チームにおける看護の役割を理解し、地域で生活する人々の課題解決に向けて連携・協働できる基礎的な力。
- ⑥グローバルな視野をもち、多様な文化の理解を踏まえ国内外における看護実践に必要な基礎的な力。
- ⑦看護学の発展に貢献しうる塑像的・科学的探究心と生涯にわたる自己研鑽のための基礎的な力。

Ⅱ 梅花女子大学で身につける6つのカ	6つの力の具体的内容の一例
①豊かな人間性	他者を思いやる心や奉仕の精神を育み、相手の立場に立って考え、行動する力
②問題解決力	問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析し、それを解決する力
③論理的思考力	様々な学問分野における知識を修得し、それを活用して物事を論理的に考え、判断する力
④コミュニケーションカ	言葉や身体、ICT等を通して自己を表現し、他者との相互理解を深めるカ
⑤チームワーク・リーダーシップ	他者と協調・協働して行動する力、他者に方向性を示し目標の実現を図る力
⑥グローバル社会対応力	要文化を理解し、共生できる力

© H =		思文ル太理解し サナズきょう							
しつし	1一ハル社会対応ガ	異文化を理解し、共生できるカ		<u></u>	7 Th 7 1 0 -	<u> </u>	ᄺᄆᄑ		
			上 片几 本	DI 削達目標		ンの力の	項目番	亏	
科目群	科目名	科目の到達目標		リ <u>達日保</u> 花女子ノ		につける	600 to		
			(1)	(2)	(子(身)	(4)	(5)	6	(7)
				<u>(2)</u>	Ŭ	4		0	
	生涯発達心理学	の支援方法について議論できるようになる。	0		0		0		
	工作儿是记在于			0	0				
		1. 健康教育の目指すものを理解し、その重要性を認識する。			_				
	(法序 <u>业</u>	2. 健康教育を支えてきた理論とモデルを理解する。	0	0	0	0	0		0
	健康教育論	3. 健康教育の展開方法について考えることができる。		0	0	0	0		
		4. 効果的な健康教育のあり方について考えることができる。		0)				
		1. セクシュアリティの概念を述べることができる。	0	0	0	0		0	0
	トクシーフリニ (於	2. わが国のセクシュアリティに関する現状と課題を述べることができる。)		O				
	セクシュアリティ論	3. 看護職者としてセクシュアリティに配慮する態度について自己	_		_				
		の考えを述べることができる。	0	0	0	0	0	0	
		精神保健学は精神看護の基本となる広い領域に関係しているの							
		で、常識的事柄を含め幅広く心の健康について理解する。狭義の	0	0	0	0	0		
	精神保健学	科学よりも人間学の一部門として、また社会学の一部門としての							
		興味をもって積極的に教科書以外の人文的知識も身につける。	0	0	0				
	臨床対人関係論	看護が大切にしている人間性とはなにかを考える能力を修得する。	0	0	0	0	0	0	0
		် ပ ်	0	0	0	0	0		
	 健康障害の防止や健康の保持増進のために必要な方策に	健康障害の防止や健康の保持増進のために必要な方策につい	_			_			
	衛生学	て学習し、疾病予防や健康の維持・増進にとって必要な知識とそ	0	0	0	0		0	0
	用工于	の科学的証拠について理解する。	0	0	0	0		0	
		公衆衛生学の意義を理解し、保健統計資料を活用できるようにな				0	0		0
	公衆衛生学	り、地域における医療・保健・福祉の取り組みについて議論でき、							0
		地域での健康づくり活動を考案できるようになる。	0	0	0	0	0	0	
	保健統計の基礎を学 保健統計学 なる。	保健統計の基礎を学び、Excelを用いて仮説検定ができるように					0		0
		なる。					_		
			0	0	0	0	0	0	
		・生体成分の基本的な構造と機能を知る。			0				
	生化学	・遺伝情報の保存と発現の仕組みを理解する。 ・多細胞生物におけるシグナル伝達の仕組みを理解する。	0	0	0	0			
				0					
	栄養学	種々の疾患を持つ患者の食事について学び、適不適の食事が判断できるようになる。	0		0	0	0		
	木食子	間できるがになる。	0	0	0	0		0	
		- ・薬と標的分子との相互作用およびそれにより生じる現象を分子							
		から個体レベルの観点で説明できる。	0		0				0
		・各組織・器官における情報伝達システムの原理と疾患の病態発)						
	薬理学	現機序を理解し、その治療薬の作用機序および副作用を説明で							
		きる。 ・薬物療法における看護師の役割および医薬品の正しい使用法	0	0	0	0		0	
		を具体的に述べることができる。)		O				
		・微生物とはどのようなものなのかを理解する。							
		・微生物の種類を説明できる。	0	0	0	0	0	0	0
		・感染と生体防御について説明できる。							
	元汉 顺工70万	・感染症の診断と治療について具体的に説明できる。	_						
		・医療現場における感染症予防について具体的に説明できる。 ・主な感染症と原因病原微生物について説明できる。	0	0	0	0		0	
₩		人体の素材としての細胞や組織の構造と機能、さらに、運動器	^		_				
<u></u>	形態機能論I	系、消化器系について学習し、人体がどのような構造と生理機能	0		0	0			
科 目 : : : : : : : : : : : : : : : : : :	po po po po	を持っているかを理解する。	0	0	0	0			
		循環器系、呼吸器系、血液、呼吸器系、腎・泌尿器系について学	0		0	0			
	形態機能論Ⅱ	習し、人体がどのような構造と生理機能をもっているかを理解す				_			
		්	0	0	0	0			
		主として内分泌系、神経系、感覚器系、生殖器系について学習	0		0	0			
	形態機能論Ⅲ	し、人体がどのような構造と生理機能をもっているかを理解する。	_			_			
			0	0	0	0			

臨床病理·病態学 I	主要な疾患の病態理解が看護の現場において必要となる理由を考察できる。	0	0	0				
	外科手術の基礎的知識を習得し、看護師国家試験に合格できる	0	0	0	0			
臨床病理・病態学Ⅱ	知識を習得するのみならず、実際の臨床の場でも対応できるだけ		0	0	0	0	0	
	の知識を習得する。 (小児科学)	0	0	0	0			
臨床病理・病態学Ⅲ	 小児の成長発達の理解 代表的疾患の理解 日常生活での健康支援 小児医療における倫理的考察 患児家族と信頼関係の構築 			0	0			
	(産婦人科) 1. 女性生殖器の構造と機能について理解し、起こりうる症状とその病態について説明できる。 2. 婦人科疾患について理解し、必要な診察や検査・治療について説明できる。	0	0	0	0			
生命倫理学	生命倫理学の基礎を学ぶ。 患者の権利を尊重する態度の基礎を身につける。	0		0	0	0	0	İ
土叩 冊 生于	あるの。	0			0	0		
キリスト教の看護と倫理 I	1. 看護倫理の概念について説明できる。 2. キリスト教と看護、キリスト教と倫理の関連を知る。	0	0	0	0	0	0	
イノハー我の省段と間空1	3. 現代の看護における倫理的課題の特徴を知る。	0	0	0	0	0		
 キリスト教の看護と倫理 II	1. 看護倫理に関する主要な概念について説明できる。 2. グループワークを通して、患者や家族、医療者に起こる倫理的問題について考えることができる。 3. グループワークにて、自己の意見が発表でき、他者の意見か	0	0	0	0	0	0	
	ら自己の考えを深めることができる。 4. キリスト教と看護・倫理についての自己の考えを述べることができる。	0	0	0	0	0	0	
± 11	文化人類学の「ものの見方」を、自分たちの日常的な生活と結び付ける形で理解できるようになるとともに、文化人類学と医療との	0		0	0	0	0	
文化人類学	付ける形で理解できるようになるとともに、又化人類学と医療との つながりについて理解することを目標とします。	0	0	0	0	0	0	
ᆉᄼᇃᆌᆉ	社会福祉・社会保障についての仕組みと、生活に根ざしたケアの あり方について理解する。	0		0	0	0		
社会福祉論	のソノニー(生活する)。	0	0	0	0	0	0	ĺ
*1.1.44.4	各自が「老い」に関する考察をすることができ、その内容を発表す ることができる。	0		0	0	0	0	
老いと社会	accarcea.	0		0	0			
保健医療福祉行政論 I	保健福祉行財政の仕組みや政策の変遷について理解する。公衆 衛生や社会福祉行政サービスのあり方を学ぶ。行政制度の特色 を踏まえ、地域保健法に基づく今後の動向と活動を展望する。保	0	0	0	0	0	0	
	健医療福祉施策の基礎的な知識及び技術を学ぶ。	0	0	0	0	0	0	
看護学概論	1. 看護の対象である人間と健康、環境について及びそれらの関連を述べることができる。 2. 看護の歴史的変移や世界的動向を理解できる。 3. 看護の機能・役割について自己の考えを述べることができる。	0	0	0	0	0	0	
有成于194.6册	4. 看護を行う者としての責務を考え、看護職者に必要な倫理的 態度について理解できる。 5. 看護について自己の考えを述べることができる。	0	0	0	0	0	0	
基礎看護援助論 I	1. 看護技術の基本的な考え方、療養環境の調整、体位の整えと 移動の援助、活動休息の援助、バイタルサインの観察、衣生活 の援助、食事の援助、排泄の援助、身体清潔の援助について技 術の理論と技法を修得する。	0	0	0	0	0		
	2. 援助方法の根拠を述べることができる。3. 対象者へのプライバシー保護や配慮を考えることができる。	0	0	0	0	0	0	
	1. 診療に伴う看護技術について、手技の根拠を述べることができる。	0	0	0	0	0		
基礎看護援助論Ⅱ	2. 診療に伴う看護技術を実践することができる。 3. 検査・治療を受ける患者、家族の立場に立った関わりや倫理 的側面を考えることができる。	0	0	0	0	0	0	
医療コミュニケーション論	1. 医療現場における人間関係とコミュニケーションの重要性について説明できる。 2. 看護に必要なコミュニケーション技術について説明できる。 3. グループ活動において効果的なコミュニケーション技術を活用	0	0	0	0	0		
	することができる。 4. 実習場面を通してコミュニケーションの技法や自己の特徴を振り返り、今後の課題を述べることができる。	0	0	0	0	0	0	
看護過程と	1. 情報収集・整理、情報の分析(病態アセスメント、生活上の ニーズのアセスメント)、看護問題の抽出、看護目標・看護計画の 立案、評価方法、看護実践時の記録の記載方法および各段階の 評価方法を発展する。	0	0	0	0			
フィジカルアセスメント論	2. 呼吸器系、循環器系、消化器系、筋・骨格系、脳・神経系の問診、フィジカルイグザミネーションの方法を理解する。 3. フィジカルアセスメントを通して、病態アセスメントの方法を理解できる。 4. 診察を受ける対象者への配慮を理解できる。	0	0	0	0	0		
看護過程と	1. 呼吸器系、循環器系、消化器系、筋・骨格系、脳・神経系のフィジカルイグザミネーション(視診、触診、打診、聴診)技術を習得する。 2. 呼吸器系、循環器系、消化器系、筋・骨格系、脳・神経系のフィジカルアセスメントの技法を修得する。	0	0	0	0	0		
フィジカルアセスメント演習	3. 診察を受ける対象者の配慮ができる。 4. 看護過程の展開における情報収集・整理、情報の分析(病態 アセスメント、生活上のニーズのアセスメント)、看護問題の抽 出、看護目標・看護計画の立案、看護過程の評価方法を修得す る。	0	0	0	0	0		

		1		•	1	1	•	1
	・看護の対象となる人の療養生活を支える環境のあり方を理解する。 ・看護の対象となる人の療養環境と入院生活を知り、入院生活な	0	0	0	0	0		0
基礎看護学実習 I	どに対する思いを理解する。 ・看護の場面を通して、看護師の役割およびその他の専門職者 によるケアの実際を知る。							
	・看護の目的、看護が果たす役割や機能する場、看護について 自己の考えをまとめ、今後の自己の課題を見出すことができる。・看護学生として適切な態度で実習に臨むことができる。	0	0	0	0	0	0	
	・対象者とコミュニケーションを取り、望ましい人間関係を形成することができる。 ・既習の知識を活用した観察と情報収集、アセスメントにより看護	0	0	0	0	0		0
基礎看護学実習Ⅱ	上の問題を抽出することができる。 ・対象者への安全・安楽、個別性、自立を促す看護援助を科学的根拠、看護倫理に基づいて、計画立案・実践・考察(評価)することができる。			_				
	・主体的に取り組み、看護者に求められる態度を養うことができる。 1. 麻酔や手術による患者の身体的変化(生体反応、機能障害、	0	0	0	0	0	0	
急性期看護学概論	1. 麻酔や子前による思有の身体的変化(生体及心、機能障害、 形態変化)を説明できる。 2. 手術を受ける患者の心理的・社会的変化を説明できる。 3. 患者及び家族が最良の状態で手術を受けられるよう、心身を 整える援助を説明できる。	0	0	0	0	0		0
芯 注	4. 術後経過に応じた観察の視点と 合併症予防のための援助を 説明できる。 5. 機能障害・形態変化による退院後の日常生活への影響と、支	0	0	0				
	援方法について説明できる。 1.成人期の発達段階と身体的および心理社会的特徴を説明でき							
慢性期看護学概論	る。 2.成人期に生じやすい健康障害を説明できる。 3.慢性疾患を持ちながら生活する対象者の健康障害の特徴を説明できる。	0	0	0	0	0		
反 江州 伯 吱 十 1 9 4 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	4.慢性疾患による健康障害を管理するセルフケア能力について 述べることができる。 5.慢性疾患を持ちながら生活する対象者とその看護を理解するための理論の概要と活用を述べることができる。	0	0	0	0			
	1. 情報の整理、アセスメント、看護問題の抽出、計画立案による 病態の理解や看護の知識を得ることができる。 2. 看護過程のプロセスを記録に表現することができる。	0	0	0	0	0	0	0
急性期看護援助論	3. 対象者の状態に合わせた術前・術後のケアを立案することができる。 4. 周手術期に必要な観察や援助を実施できる。	0	0	0	0	0		
	1.臨床判断モデルを理解し事例を用いて適用できる。 2.慢性疾患を持つ対象者のコアとなる病状や病態が理解できる。 3.慢性疾患を持つ対象者の心理社会、スピリチュアルな側面の理解ができる。	0	0	0	0	0		0
慢性期看護援助論	4.対象者の看護問題を導き出す関連性が示せる。 5.慢性疾患を持つ対象者の具体的援助方法を考案し評価できる。 6.エンドオブライフケアについて援助方法が検討できる。	0	0	0	0	0		
	1. 周手術期にある患者とその家族を総合的に理解できる。 2. 患者及び家族が最良の状態で手術を受けられるよう、心身を整える援助を実施できる。	0	0	0	0	0	0	0
急性期看護学実習	3. 受け持ち患者の手術を見学し、手術による生体反応や機能障害を予測し、合併症の予防・早期発見に必要な援助を実施できる。 4. 退院に向けて患者の状態に応じて日常生活の調整を行い、社	0	0	0	0	0		
	会復帰に向けた援助を実施できる。 1. 成人期の発達段階・発達過程を踏まえ、慢性期・終末期にある 患者の全体を投えることができる。	0	0	0	0	0	0	0
慢性期看護学実習	2. 慢性期・終末期にある患者のニーズ、症状緩和、セルフマケア、QOLの維持・向上を考慮した看護が実践できる。 3. 医療チームにおける看護師の役割を理解できる。 4. 将来の看護職者としてのふさわしい態度および倫理観が育成	0	0	0	0	0		
	できる。 1. 老年期を生きる意味と価値について多角的に捉えることができ							
± ← ₹ =# 2¥ Im =A	る。 2. 老年期の発達課題の特徴を理解できる。 3. 超高齢社会における高齢者の社会的課題について理解でき	0	0	0	0	0	0	0
老年看護学概論	る。 4. 高齢者の健康的な生活を支援するための保健医療福祉制度 を理解できる。 5. 現代社会における老年看護の役割とその重要性について理解	0	0	0	0	0		
	できる。 1. 健康障害を持つ高齢者に対する看護上の課題の明確化と看							
老年看護援助論	護計画を立案する能力を養う。 2. 身体機能障害などによって生活能力の低下した高齢者に対する基本的な日常生活援助技術を習得する。	0	0	0	0	0	0	0
少 左手进尚中33	高齢者の多様な側面を統合させながら、生活機能に応じた個別的なケアを展開する。回復期リハビリテーション病棟で機能訓練を受けている高齢者を受け持ち、家族を含めた看護について、看	0	0	0	0	0	0	0
老年看護学実習	護計画に基づいた実践を通して学ぶ。また、多職種連携、退院支援、地域との連携について、事例をとおして学ばせる。	0	0	0	0	0		
	1. 母性看護の概念、リプロダクティブヘルス/ライツの視点を理解できる。 2. 女性身体の形態・機能の特徴を説明できる。	0	0	0	0	0	0	0
母性看護学概論	3. わが国の母性看護の変遷と現状を理解できる。 4. 母性看護における法的倫理的課題と責任について理解でき							

専門科目

	1. 周産期にある対象とその家族に必要な支援を行うための基礎的知識と技術を修得する。 2. 事例を用いてアセスメント能力を養い、看護上の課題をウェルネスの視点で解決するための思考を学ぶ。	0	0	0	0	0		0
母性看護援助論	3. ハイリスクな状態にある周産期の対象への看護について理解する。 4. 母性看護の対象における倫理的配慮について理解する。 5. 自らの母性について関心を深める。	0	0	0	0	0	0	
	1. 女性のライフサイクルにおける特徴、および対象(特にマタニティサイクルにある母と児とその家族)の身体的、心理的、社会的な変化を理解し、健康課題・問題を明確にして、対象に必要な看護について考察できる。	0	0	0	0	0		0
母性看護学実習	2. 対象が活用できる社会資源および、対象を取り巻く保健医療 チームにおける看護職者の役割について考察できる。 3. 対象の尊厳、人権、プライバシーに配慮した態度をとることが できる。	0	0	0	0	0	0	
小児看護学概論	1)小児看護の対象とその特徴を理解できる。 2)小児医療や看護の変遷、子どもを取り巻く現代社会の特徴や 家族機能について理解できる。 3)小児看護における倫理的配慮、子どもの権利や子どもを守る	0	0				0	0
小児有護子城論	ための法律や制度について理解できる。 4)子どもの成長・発達過程と発達課題について理解できる。 5)子どもの安全、発達段階に応じた日常生活の援助、必要な養護について理解できる。	0	0	0	0	0	0	
	1. 子どもによくみられる疾患と適切な看護について理解できる。 2. 成長発達を踏まえた小児看護過程を理解できる。	0	0	0	0	0	0	0
小児看護援助論	3. 疾患理解に基づく看護ケアの理解と実践ができる。	0	0	0	0	0	0	
	1. 小児の成長発達、日常生活、心理・社会的特徴、各発達段階、 発達課題を理解する。 2. 小児の援助に必要な知識、技術、態度、方法を学び、遊びの 必要性を理解する。 3. 小児と家族、取り巻く環境、地域との関連、権利擁護と倫理的	0	0	0	0	0	0	0
小児看護学実習	配慮を理解する。 4. 健康障害をもつ小児の疾患、治療や看護、家族への影響を理解する。 5. 小児の健康障害の程度、発達段階に応じた看護、事故・感染	0	0	0	0	0	0	
July 1-1 - Z - SH 324 Juny 5-A	防止対策を理解する。 基礎的な精神看護知識を用いて対象者(患者)を全人的に捉え、 必要な看護(基礎看護)について検討することができる。具体的に は、①基盤理論や倫理的側面を理解する。②精神看護における	0	0	0	0	0		0
精神看護学概論 	コミュニケーション技術の基本を学ぶ。③精神疾患の基礎とその 看護について理解する。④地域における看護支援について学 ぶ。⑤精神医療看護を取り巻く環境(歴史的変遷含む)を学ぶ。	0	0	0	0			
## - # - # - # - # - # - # - # - # - #	精神科看護過程や多職種連携による支援(病院・地域)の在り方を検討する。具体的には、①精神看護における、対象者理解や信頼関係構築のためのコミュニケーション技術を身につける②精神対象が選択のためのコミュニケーション技術を身につける②精神対象が選択のためのエスを開始される。	0	0	0	0	0		0
精神看護援助論	神科看護過程の基本について理解する。③精神看護の基礎知識 (法律・制度も含め)を用いて、事例検討や、倫理カンファレンスが 実施できる。④実習シュミレーション等をとおして、自身の実習課 題や補足すべき知識・技術を明確できる。	0	0	0	0			
精神看護学実習	1. 対象者を包括的に捉えリカバリに向けた支援を考える。 2. 精神科治療や看護の実際を理解し対象者との信頼関係を構築しながら病棟における基本的看護を実践する。 3. 倫理観を養い、対象者の安全や人権擁護に基づく基礎的看護を実践する。	0	0	0	0	0		0
THIT I IN T A I	4. 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムや多職種連携の実際について考える。 5. 精神保健医療に関連する法律や社会資源活用に基づく支援の実際について考える。	0	0	0	0	0		
在宅看護学概論	1. 在宅看護の目的・対象・理念について述べることができる。 2. 在宅療養者の特徴や地域生活を支える社会資源について述べることができる。	0	0	0	0	0	0	0
	3. 自分らしい生活とその生活を実現するための在宅看護活動について自分の意見を述べることができる。	0	0	0	0	0	0	
在宅看護方法論	1. 在宅でその人らしい生活を実現するための看護の役割・機能を述べることができる。 2. 在宅療養者とその家族への基本的な援助方法を説明すること	0	0	0	0	0	0	0
	ができる。 3. 在宅看護過程の展開方法を説明することができる。	0	0	0	0	0	0	
地域生活実習	地域住民とのコミュニケーションを通して、看護の対象を生活者として理解し、地域の環境(自然・文化)が対象者の生活や健康に	0	0	0	0	0		
心极工心天日	与える影響について理解することができる。	0	0	0	0	0		
在宅看護学実習	1. 在宅療養者とその家族の尊厳と権利を尊重し、看護に必要な態度を身につけることができる。 2. 在宅療養者とその家族を生活者として多角的にとらえ、問題を解決するための援助の方法を理解できる。	0	0	0	0	0	0	0
	3. 在宅療養者の生活を継続するために必要な社会資源の活用方法と、関係する職種との連携・協働の実際を理解できる。 4. 在宅ケアにおける看護職の役割と課題について考えることができる。	0	0	0	0	0	0	
公衆衛生看護学 I	公衆衛生看護学の理念、特徴を理解する。地域で生活する人々の健康と環境とを関連づけて考えることができる。公衆衛生看護の対象と活動の場について理解する。	0	0	0 0	0	0	0	0
	1.地域で生活する住民への保健指導・健康相談のポイントが説明できる。	0	0	0	0			
公衆衛生看護活動論 I	2.住民の健康と自然、社会、生活環境との関連を説明できる。 3.公衆衛生看護活動の基本となる地区視診の計画、実施、評価の方法を説明できる。	0	0	0	0	0		
	看護研究の意義の理解と研究課題の明確化、倫理的配慮につ							
看護研究方法論	いて考えることができる。 看護研究を行うにあたっての、必要な知識と技法、デザインの立 て方などが身につき、データ収集し、データを分析・解釈し、結果 を研究レポートにまとめることができる。	0	0	0	0	0	0	

	1. 文献を検索できる。 2. 検索した文献について吟味できる。	0	0	0	0	0	0	0
看護研究演習	3. 吟味した文献の要旨を述べることができる。4. 吟味した文献の結果をまとめることができる。5. 明確になった研究課題について述べることができる。	0	0	0	0	0	0	
	6. 研究課題について研究計画書を作成できる。					Ŭ		
	1. 自己の学習課題を明確にし、実習に取り組める。 2. 管理職者の役割を学ぶ。 3. 複数の対象や事象(多重課題)に対し、主体的に実習に取り組む事ができる。	0	0	0	0	0		0
総合実習	4. 医療安全対策と危機管理体制の実際を知る。 5. 保健医療福祉チームの一員として看護職の役割を学ぶ。 6. 専門職として倫理について考えることができる。	0	0	0	0	0	0	
	7. 総合実習を通して、今後の自己の課題を明確にする。 グローバル・ナーシング I で学んだ知識や関心を深めます。							
	1. 国際看護の基本概念について説明することができる。 2. 世界の現状と健康課題との関連について説明できる。 3. 日本における多文化共生と看護の役割について考えることができる。	0	0	0	0	0	0	0
グローバルナーシング I 	4. グローバルビジョンに基づいた看護について考えることができる。	0	0	0	0	0	0	
	5. 基礎的な英語力を用いて、国際看護活動に必要な知識や情報 を得たり発信できる。							
	1. 解等)について説明することができる。 2. 世界の現状(政治経済や環境資源等)と健康課題との関連について説明できる。 3. 日本における多文化共生と看護の役割について考えることが	0	0	0	0	0	0	0
グローバル・ナーシング Ⅱ	できる。 4. グローバルビジョンに基づいた看護について考えることができ							
	る。 5. 基礎的な英語力を用いて、国際看護活動に必要な知識や情報を得たり発信できる。	0	0	0	0	0	0	
	1. 災害の種類や災害医療の特徴、災害時の情報システムが理							
災害看護学 I	解できる。 2. 災害関連法規と災害サイクルおよび各期の看護について説明できる。	0	0	0	0	0	0	0
	3. トリアージの種類と方法について説明できる。 4. 災害時のこころのケアについて理解できる。	0	0	0	0	0	0	
災害看護学Ⅱ	1. 災害時要援護者に対する看護が説明できる。 2. 原子力災害やNBC災害に関する支援が理解できる。	0	0	0	0	0	0	0
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	3. 災害時の遺族に対する支援が説明できる。 4. 災害時のストレスと支援者支援について理解できる。	0	0	0	0	0	0	
	1. 感染の成立の機序を理解し、段階ごとの感染対策を説明することができる。 2. 標準予防策、経路別予防策の概念を説明することができる。	0	0	0	0	0	0	
感染看護論	3. 臨床現場で発生する可能性が高い感染症発生時の対応策を 説明することができる。4. 流行性疾患の潜伏期間、感染防止対策を理解することができる。	0	0	0	0	0	0	
	5. 医療従事者の職業感染防止対策を理解することができる。 1. 家族看護とは何かについて説明できる。							
家族看護学	2. 家族のとらえ方について学習し、家族アセスメントを理解する。 3. 健康上の課題が患者と家族に及ぼす影響を理解し、援助を考	0	0	0	0	0	0	0
	えることができる。	0	0	0	0	0	0	
看護管理論	1. 看護管理・組織マネジメントについて説明できる。 2. 看護の組織、看護体制、看護の機能について説明できる。 3. 生涯学習とキャリアデザインについて自分の考えを述べることができる。	0	0	0	0	0	0	0
	4. 安全管理について説明できる。 5. リーダーシップ、メンバーシップの必要性を理解し、組織の 人々と関係性を築く必要性を説明できる。	0	0	0	0	0	0	
	1. 助産の概念、助産の歴史、助産師の専門職性と役割、日本および世界の助産師の活動状況、助産師の法的責任と倫理につい	0	0	0	0	0	0	0
助産論	て理解する。 2. 各種助産師養成課程およびカリキュラムの特徴を理解する。 3. 性と生殖の健康に関する最新の知見について、自分の意見を述べることができる。	0	0	0	0	0	0	
	1.生活する人の生理的ニーズ(生命の維持、食べる、排泄する、活動し休息する、内部環境を維持する、感じ考える)として人をと	0	0	0				
Temporal and the Carlot 1	らえることができる。 2.生理的ニーズを身体の機能や役割等から説明できる。	0	0	0				
	1. 臨地実習での実践場面を振り返り、その時の気づきや解釈を整理することができる。	0	0	0	0	0	0	0
臨床判断能力展開	全性することができる。 2. 解釈の意味づけや根拠を理論的知識や、臨床的・実践的知識 を用いて説明することができる。	0	0	0	0	0	0	
	1. 看護教育について自己の考えを述べることができる。 2. 看護教育制度の歴史的変遷を理解することができる。 3. 看護学教育における倫理について自己の考えを述べることができる。	0	0	0		0		0
看護教育学	4. 看護教育目標・計画立案・教育評価の立案の仕方を理解することができる。 5. 成人教育における教育者としての役割について述べることができる。	0	0	0	0	0		
	6. 今後の自己の学習姿勢について考えることができる。							

	ナンパナゴニノ っ ケマシ	1.緩和ケアの歴史、緩和医療の在り方や今後の方向性、看護職者としての姿勢の在り方を考えることができる。 2.エンドオブライフにおける対象者の全人的苦痛(トータルペイン)の理解ができる。 3.全人的苦痛(トータルペイン)の病態やメカニズムを踏まえた看	0	0	0	0	0	0	0
	エンドオブライフケア論	護の在り方を考えることができる。 4.エンドオブライフにおける各病期での看護の在り方(アドバンスケアプランニングを踏まえた)を説明できる。 5.エンドアブライフにある家族への悲嘆(グリーフ)を踏まえた援助の在り方を考えることができる。 6.エンドオブライフ期における倫理的課題が検討できる。	0	0	0	0	0	0	
	24.4.4.70 17th	・学校保健の基本的な事項および各領域の概要と現代的な心身の健康課題を理解する。 ・チームとしての学校で取り組むこと、ヘルスプロモーションの視	0	0	0	0			
養護に	学校保健	点を取り入れた学校保健について理解する。 ・学校保健に関する関心を広げ、問題意識を高めることの重要性 を認識する。	0	0	0				
関		・養護教諭の職務について全体的に理解する。	0	0	0	0	0		0
する	養護概論	・保健教育・保健管理・組織活動について理解する。 ・保健室経営について考察する。	0	0	0	0	0	0	
す る 科 目	健康相談の理論及び方法	・健康相談の法的根拠、目的・基本的プロセス等を理解し、基本的な知識・技法を身につける。 ・関係者が連携して問題の解決を図ることの重要性を認識する。	0	0	0	0			
	健原相談の空間及びガス	・各モデル事例について内容を理解し、児童生徒の気持ちに寄り 添った対応を習得する。	0	0	0	0	0	0	
	産業保健学	・産業保健の目指すものを理解し、その重要性を認識する。 ・産業保健の動向と現状を理解し、健康課題を認識する。 ・産業保健の推進体制と推進活動に係わる基礎知識を習得す	0	0	0	0	0		0
	/ 上美保健学	る。 ・産業保健における看護職の役割と職務を理解する。	0	0	0	0	0		
	小央 衛生手護党 Ⅱ	1. 地域で生活する住民への保健指導・健康相談のポイントが説明できる。 2. 住民の健康と自然、社会、生活環境との関連を説明できる。	0	0	0	0	0	0	0
	3. 公衆衛生看護活動の基本となる地区視診の計画、第の方法を説明できる。	3. 公衆衛生看護活動の基本となる地区視診の計画、実施、評価の方法を説明できる。	0	0	0	0	0		
	公衆衛生看護活動論Ⅱ	1. 発達段階、疾病・障害によって生じる対象者の健康課題に応じた支援方法が説明できる。 2. 住民を対象とした保健指導・家庭訪問の特徴を説明できる。	0	0	0	0	0		0
	乙八円工 <u>有政</u> 石刻皿 II	3. 新生児訪問の家庭訪問での観察ポイント、看護計画・実施・評価方法を説明できる。	0	0	0	0	0		
保 健 師	公衆衛生看護学実習	地区踏査により地域の生活実態から健康課題を考え、健康課題と各種保健活動とのつながりを理解し、健康課題の解決方法を考えることができる。家庭訪問や健康教育を実施し、個人・家族・	0	0	0	0	0	0	0
師 課 程 に	公水闸工省設于天日	集団への支援方法を理解する。また、実習全体を通して行政機 関における公衆衛生看護活動である地区活動の展開方法につ いて理解する。	0	0	0	0	0	0	
	産業保健学実習	* 公衆衛生看護学実習・産業保健学実習として単位認定となる 事業所で働く従業員の生活実態を把握し、健康課題を考えることができる。健康課題と各種保健活動とのつながりを理解し、健	0	0	0	0	0	0	0
関する科目	性未体性子关 自	康課題解決方法を考えることができる。健康課題の解決方法として、個人・家族・集団(職場)への支援活動を理解し、産業保健活動のあり方と産業看護職の役割を考えることができる。	0	0	0	0	0		
	地域でもフリント学習	1. 地域アセスメントに必要なデータソースについて述べられる。2. 地域アセスメントに必要なデータを抽出できる。3. 対象集団の健康課題を述べられる。	0	0	0	0	0	0	0
	地域アセスメント演習	4. 健康課題の優先順位をつけ、活動計画が策定できる。 5. 活動計画の評価の視点が述べられる。 6. 地域アセスメントの方法について述べられる。	0	0	0	0	0	0	
	N # # 4 = = + + + = = -1 + ^	1. 公衆衛生看護管理の目的・方法について述べられる。 2. 対象者を支援するためのシステム化、政策形成の必要性に関	0	0	0	0	0	0	0
	公衆衛生看護管理·政策論 	する自分の意見を述べられる。 3. 健康危機における保健師の対応方法について述べられる。	0	0	0	0	0	0	
	/B/体医病节4/275-4	1. 保健医療福祉計画の策定背景と国・都道府県・市区町村の役割について述べられる。 2. 保健師の日常の実践活動から政策形成に至る過程について	0	0	0	0	0	0	0
	保健医療福祉行政論 II 	述べられる。 3. 政策形成における行政内での関係部局との調整、行政外の関 係機関、住民との協議の進め方について述べられる。	0	0	0	0	0	0	

学科の到達目標(DP:ディプロマポリシー) ① キリスト教の愛の精神に基づき、生命の尊厳と人間尊重を考え、豊かで誠実な人間性を備えている。 ② 口腔保健学の専門的知識と実践能力を身につけ、主体的に問題を分析、解決する能力を持ち、口腔保健を通じて全身の健康支援が行える能力 ③ コミュニケーション能力を備え、医療・保健・福祉等の関連職種と連携し協働関係を構築できる社会性と協調性 ④ ヘルスプロモーションの理念を理解し、個人のみならず、地域医療に貢献でき、リーダーシップやヘルスマネージメント能力 ⑤ グローバル社会に対応できる行動力と、それを支える創造力・科学的探究心の基礎力 Ⅱ 梅花女子大学で身につける6つの力 6つの力の具体的内容の一例 ①豊かな人間性 他者を思いやる心や奉仕の精神を育み、相手の立場に立って考え、行動する力 ②問題解決力 問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析し、それを解決する力 ③論理的思考力 様々な学問分野における知識を修得し、それを活用して物事を論理的に考え、判断する力 **④コミュニケーションカ** 言葉や身体、ICT等を通して自己を表現し、他者との相互理解を深める力 ⑤チームワーク・リーダーシップ 他者と協調・協働して行動する力、他者に方向性を示し目標の実現を図る力 ⑥グローバル社会対応力 異文化を理解し、共生できる力 DP及び6つの力の項目番号 上段:到達目標(DP) 科目群 科目名 科目の到達目標 下段:梅花女子大学で身につける6つのカ (1) **(2**) (3) **(4**) **6 (5)** ①細胞の構造と機能を説明できる。②生命体を構成する物質を |列挙し説明できる。③遺伝子の構造と機能を説明できる。④細胞 0 0 内の代謝と細胞呼吸を説明できる。⑤細胞の増殖と分化を説明 生物学・化学 できる。⑥生殖と発生を説明できる。⑦成長と老化を説明できる。 ⑧個体の維持について例をあげて説明できる。⑨遺伝のしくみを 0 O 説明できる。 ①人体構造の生物学的意義を理解する。②人体を構成する細胞 0 0 と組織の形態に関する知識を身につける。③各器官と器官系に 解剖学•組織発生学 ついての構造を概説できる。④組織・発生についての概要を理解 0 0 0 する。 ①人体の生命維持のための営みについて植物機能と動物機能 0 0 に分けて理解する。②人体を構成する細胞の働きを説明できる。 生理学 ③細胞の集まりである各組織の働きを説明できる④各器官と器 0 0 0 官系についてのそれぞれの働きを説明できる。 ①生体の構成成分を説明できる。②三大栄養素の代謝を説明で 0 0 0 |きる。③硬組織の構成成分とその代謝を説明できる。④唾液とプ 栄養と代謝 ラークの構成成分とその代謝を説明できる。 0 0 ①頭頸部の基本的な構造を概説できる。②鰓弓についての概念 を理解する。③歯の発生をステージを追って理解する。④歯の硬 0 0 組織(象牙質・エナメル質・セメント質)の組織学的特徴を説明で 口腔解剖学:口腔組織発生学 きる。⑤歯と歯周組織の構造を説明できる。⑥歯の形を立体的に 理解し、図に書いて再現できる。⑦一本の歯を見たときに、それ 0 0 0 がどの部位の歯であるか説明できる ①歯と口腔の感覚について概説できる。②下顎の運動について 0 0 |概説できる。③唾液の分泌機構と機能について概説できる。④摂 口腔生理学 食と嚥下の機序を概説できる。⑤言語音の産生機序を概説でき 0 0 る。 ①歯の形態について図示、説明できる。②口腔組織の微細構 0 0 |造、細胞構築について説明できる。③皮膚感覚点の分布密度に ついて説明できる。④基本味の味覚閾値について説明できる。⑥ 口腔構造機能演習 刺激による唾液分泌量の変化を説明できる。⑦疾患における細 0 0 0 胞、組織の変化を正常な組織と比較しながら説明できる。 ①病気の原因と種類を理解する。②病気の成り立ちを理解する。 0 0 ③う蝕の成り立ちと特徴を理解する。④歯周病の成り立ちと特徴 病理学•口腔病理学 を理解する。⑤口腔粘膜、顎骨、唾液腺などの口腔の病気の成り 0 0 立ちと特徴を理解する。 微生物を通して遺伝、生と死などの生命現象、微生物と環境との 0 Ο 関係、ウイルスから細菌、真菌を中心とする病原体がヒトに起こ |す感染症の種類と症状、治療の概要を理解する。また宿主―寄生 免疫•微生物学 体相互作用としての免疫学とアレルギー学の基本を理解し、感染 0 0 防御と保健衛生管理が説明できる。 薬剤の有用な作用だけでなく、副作用も認識したうえで、各々の 症例に対して適切な薬物療法がおこなわれる必要がある。また、 薬物投与中の患者を診療する際にも、その薬理作用を理解して 薬理学・歯科薬理学 いる必要がある。本講義では、これらの要求に応えられるな基礎 0 0 的知識を習得する。 ①歯・口腔の健康と全身の健康との関わりが説明できる。② 歯・ 0 0 0 0 口腔の正常な形態や組織構造とその働きを説明できる。③う蝕 口腔衛生学I |の病因と予防法を説明できる。④ 歯周疾患の病因と予防法を説 0 0 0 0 明できる。⑤歯科疾患の統計や指標を説明できる。 ①健康と予防医学の概念を理解する。② わが国の人口・保健統 0 0 0 0 計の意義や指標の動向が説明できる。③ 環境と健康との関わり が理解できる。④ 感染症と生活習慣病の予防対策が説明でき 衛生学 る。⑤ 疫学の役割と疫学分析に必要な統計学の知識を習得す 専 0 0 0 0 門基礎 る。 ① 地域保健と公衆衛生の概念を理解する。② 地域保健行政の 0 0 0 0 |関連法規と組織について説明できる。③ 地域保健活動の基本的 分 な進め方を説明できる。④ ライフステージごとの地域保健活動を 公衆衛生学 野 説明できる。⑤ ライフステージごとの地域歯科保健活動を説明で 0 0 0 0 きる。

□肺衛生学Ⅱ	①個人や集団の口腔保健情報の扱いについて理解する②口腔 衛生に関わりの深い国家統計を説明できる。③保健・医療であつ かう個人情報の保護と倫理を説明できる。④口腔衛生学 I で学		0			0	
口腔衛生学Ⅱ	んだ歯科疾患の指標を利用できる。⑤口腔衛生に関するデータ の収集・集計および統計学的解析ができる。		0	0			
社会福祉論	社会福祉の理念や法体系、制度、サービス体系について理解するとともに口腔保健と社会福祉との関連について理解を深める。			0			
	 ①精神保健学の全般的な知識の習得	0	0	0	0		
精神保健学	②自らのワーク・ライフ・バランスに注意を向け、メンタルヘルスの 調和を図り、できることを実践する。	0	0	0	0	0	
	学校保健の構造、役割について学ぶことによって、養護教諭の専	0	0		0		
学校保健	門性を捉えながら、学校内・外の関係機関との連携、協働して現代の健康課題を解決していくことを理解することができる。	0	0	0			
	①産業保健の目的、動向、健康課題を理解する。			0	0		
産業保健学	②産業保健の推進体制と活動に関る基礎知識を習得する。 ③産業保健スタッフの役割と職務を理解する。	0	0	0	0	0	
	①健康教育の目指すものを理解し、その重要性を認識する。② 健康教育を支えてきた理論とモデルを理解する。③.健康教育の			0	0		
健康教育論	展開方法について考えることができる。④効果的な健康教育のあり方について考えることができる。④効果的な健康教育のあり方について考えることができる。	0	0	0	0	0	
	多様な健康課題を抱える子どもへの養護教諭が行う健康相談として、子どものSOSのサインを逃さず問題解決するために背景を	0	0	0	0		
健康相談の理論及び方法	理解し、実践できるよう習得する。またコミュニケーション力を高め、他職種と連携できるコーディネーター力を養う。	0	0	0	0	0	0
	①公衆衛生看護の概念、機能、役割を理解する。			0	0		
公衆衛生看護学	②公衆衛生看護の特質を歴史的背景、行政組織、展開方法から 理解する。	0	0	0	0	0	
	養護教諭の専門性のある職務内容を学ぶことによって、学校教育の学校保健の中核的役割を担うことができるよう実践できるカ	0	0	0	0		
養護概論	育の学校保健の中核的役割を担うことができるよう美践できるカーを身につける。また子どもの成長に向けて、問題意識をもって取り組むことができる力をつける。	0	0	0	0	0	0
	子どもの各発達段階における食生活の現状や問題点を理解す	0	0	0	0		
発達段階と食育	る。それぞれの段階に応じた食育活動を推進する力を身につける。 る。	0	0	0	0	0	
	①学校保健について、口腔保健学との関連から理解する。②歯	0	0	0	0		
学校保健と口腔保健学	科衛生士や養護教論に求められる口腔保健学に立脚する知識 や対処法を習得する。	0	0	0	0		
介護予防	①介護予防の必要性を社会的、生理学的に理解する。②口腔の機能と全身との関係を理解する。③全身の機能と口腔の機能の	0	0	0	0		
	低下を防ぐための方法を理解できる。	0	0	0	0	0	
災害歯科保健医療	①歯科衛生士としての災害支援方法(歯科医療救護)について理解する。②各場面(避難所や仮設住宅棟)における被害者心理を理解し、対応方法を理解する。③災害時の口腔衛生に関する対	0	0	0	0		
	応および継続支援を理解する。		0		0		0
生活習慣改善と疾患予防	①疾病予防におけるコモン・リスクファクターアプローチの概念を 説明できる。②口腔と全身の健康との関係を説明できる。③主な 非感染性疾患とそのリスクを説明できる。④禁煙指導や食生活		0	0	0	0	
	指導などの生活習慣改善の支援を説明できる。		0		0	0	
	①歯科衛生や歯科衛生士について述べることができる。②歯科 衛生士の歴史を理解することができる。③歯科衛生士の業務を		0	0	0		
口腔保健学概論	理解し、説明ができる。④歯科衛生士の社旗的ニーズを理科する ことができる。⑤グループで課題に取り組むことができる。	0	0	0	0	0	
	①口腔保健学の概念を理解し、歯科衛生士の果たす役割を知る。②医療人としてのマナーを身につけ、身だしなみを整える。③	0	0	0	0		
口腔保健学入門	口腔保健を管理するための基本を理解する。		0	0	0	0	
	歯科衛生士に必須の歯科保健と歯科医療の大筋を把握し、医療者の義務と責任からライフステージ別の歯科保健と歯科医療の	0	0	0	0		
臨床歯科医学概論	特質、歯科診療で行われる医療面接から検査、診察、治療と予 後観察・管理まで、保健指導、予防処置と診療補助に至るまでの 概要が説明できる。	0		0	0	0	
	①歯周病の基礎的知識を説明する。②歯周病と全身疾患の関係 を説明する。③歯周治療の概要を説明する。。④歯周病の検査		0			0	
歯周病学	を説明する。⑤歯周基本治療を説明し、口腔衛生指導を実施する。⑥歯周外科治療を説明する。⑦メインテナンスについて説明する。⑧歯周病とインプラント治療について説明する。		0	0			
歯科保存学	■ 歯を保存することの重要性を認識し、そのための検査・診断およ		0			0	
	び治療方法について説明できる.		0	0			
歯科補綴学	歯科補綴治療について理解し、歯科衛生士業務を実践できるよう にします		0			0	
			0	0			
口腔外科学	①歯科領域に発生する様々な疾患について診断ができるような 基本的知識を身に付ける。②疾患について具体的に患者に説明		0	0	0		
	できる。③臨床に際しては各々の疾患にそれぞれ対応できる十分な、歯科診療補助手順を身に付ける。	0	0	0	0	0	
小児・障害者歯科学	①胎児期から青少年期までの定型的な成長・発達を説明できる。 ②ヒトの各ライフステージでの口腔の正常像、口腔疾患とその予防・治療法ならびに口腔健康管理について説明できる。③成長発	0	0	0	0		
	達期の口腔保健支援法や母子保健指導、個人および集団の口腔保健指導の概要を説明できる。④発達障害を含め、先天性および後天性障害の基礎知識と歯科治療、口腔保健指導に必要な	0	0	0	0	0	0

歯科矯正学	①歯、歯列、咬合の役割を説明できる。②年齢に応じた正常咬合 を説明できる。③不正咬合の種類、原因と障害、矯正治療の目的 を説明できる。④矯正力と歯の移動時の生体反応を説明できる。		0			0	
	⑤矯正装置の名称、構造、機能及び使用器具について説明できる。 ⑥矯正治療時の、適切な口腔内管理方法を説明できる。		0	0			
高齢者歯科学	① 加齢に伴う精神、心理、身体と社会的な変化について説明できる。② 口腔機能の加齢変化、高齢者の口腔疾患の特徴、疾患	0	0	0	0		
	の予防と健康管理が説明できる。③ 高齢者の口腔機能低下症について説明できる。④ 病院や歯科診療所、在宅での高齢者歯科診療で歯科衛生士に必要な知識と技術が説明できる。	0	0	0	0	0	0
全身疾患管理と臨床検査	①代謝・内分泌疾患、循環器疾患、がんなどの病態および口腔に現れる特徴を説明できる。②全身疾患をもつ患者の歯科診療上の注意点および口腔管理の方法を説明できる。③口腔領域の		0	0	0		
	臨床検査の種類・方法および検査値のとらえ方について説明できる。④全身疾患の臨床検査の種類・方法および検査値のとらえ 方について説明できる。		0	0	0	0	
歯科予防処置論	① 歯科予防処置の概念と法的位置づけを理解する。② 歯科予防処置の対象者の把握方法と評価方法を説明できる。③ う蝕と歯周病の原因、分類、進行過程、予防法を説明できる。④ 歯科	0	0	0	0		
	予防処置時に起こりうる不快事項に対する予防法と適切な対応 を説明できる。	0	0		0	0	
う蝕予防処置	①う蝕予防処置法における歯科衛生士の役割を説明できる。② フッ化物の取り扱いができる。③PMTCの意義や操作方法を説明 できる。④フッ化ジアンミン銀の取り扱い方法を説明できる。⑤小		0	0	0	0	
	窩裂溝填塞の術式を説明できる。⑥う蝕リスクを評価するための 情報収集ができる。⑦う蝕予防プログラムの検討ができる。		0	0	0	0	
ᄩᇜᇎᇃᇵᇷᆖᅟ	①歯周組織の健康像を説明できる。②歯周組織検査ができる。 ③手用スケーラーの特徴を説明できる。④シックルタイプスケー		0	0	0		
歯周病予防処置 I	ラーの操作方法を説明できる。⑤シックルタイプスケーラーを適切に操作できる。⑥歯面研磨の操作方法を説明できる。	0	0	0	0	0	
歯周病予防処置Ⅱ	①キュレットタイプスケーラーの特徴を説明できる。②キュレットタイプスケーラーの操作方法を説明できる。③歯肉縁下歯石の探査方法を説明できる。④ルートプレーニングの定義を説明できる。⑤ルートプレーニングの操作方法を説明できる。⑥超音波ス		0	0	0		
	ケーラーの特徴を説明できる。⑦超音波スケーラーの操作方法を説明できる。⑧エアスケーラーの特徴を説明できる。⑨エアスケーラーの操作方法を説明できる。	0	0	0	0	0	
歯周病予防処置皿	①歯周治療後のメインテナンスについて説明できる。②サポー ティブペリオドンタルセラピーについて説明できる。③歯周病予防 管理の必要性について説明できる。④歯科衛生士の業務記録を		0	0	0		
	作成できる。⑤全身疾患と歯周病との関連について説明できる。 ⑥歯周病のリスクファクターに対する指導ができる。	0	0	0	0	0	
口腔保健指導論	①歯科保健指導の必要性、健康の概念について理解できる。② 各ライフステージにおける情報把握の必要性およびその方法を 概説できる。③歯科衛生士が行う口腔ケアについて理解する。④ 歯科衛生業務の実践には、コミュニケーション能力が重要性であ	0	0	0	0		
	ることを理解する。⑤対象者に合わせた歯科保健指導を理解する。⑥グループで課題に取り組み、発表ができる。	0	0	0	0	0	
口腔衛生管理指導	①各ライフステージの特徴を理解し、対象者に合わせた歯科保健 指導の必要性が理解できる。②対象者に合わせた、歯科衛生士 過程に沿った口腔管理法が理解できる。③多職種連携の重症性	0	0	0	0		
	を理解し、その在り方を理解できる。④高齢者や要介護高齢者、 障がい者(児)を知り、対象者に合わせた口腔ケアができる。	0	0	0	0	0	
口腔機能管理指導	①摂食・嚥下に関わる理論及び構造が理解できる。②摂食・嚥下に関わる検査法、評価法が理解できる。③口腔リハビリテーションについて理解でき、対象者に合わせた口腔機能管理ができる。 ④要介護高齢者や障がい者(児)の口腔ケア方法及び口腔の管	0	0	0	0		
	理について理解するとともに対象者合わせた口腔の管理計画の 立案ができる。	0	0	0	0	0	
歯科健康教育	①各ライフステージにおける集団的特徴を理解し、保健・医療・福祉の各方面からの健康教育の方法を考えることができる。②各ライフステージにおける歯科保健の課題を理解し、その解決方法を考えることができる。③歯科健康教育におけるコミュニケーション	0	0	0	0		
	能力を養うことができる。④グループにおいて、指導案や媒体作成、健康教育の一連の流れを実践することができる。	0	0	0	0	0	
口腔保健指導 I	①口腔保健学を学ぶ者として先ず、自分自身の口腔内を知る。 ②自らの健康を考え、いかに行動変容が重要か学ぶ。③ 口腔の 機能やその構造の概要が理解できる。④ 自分自身の生活習慣	0	0	0	0		
	を考え、行動変容を実践してみる。 ①口腔保健学を学ぶ者として自分自身の口腔の健康管理ができ	0	0	0	0		
口腔保健指導Ⅱ	る。②対象者の健康管理を行う上で、基礎知識に基づいた歯科保健指導ができる。③対象者の情報を的確に収集し、予防計画を立てることができる。④行動変容を促すコミュニケーション能力	0	0	0	0		
	を養うことができる。 ①歯科衛生士法における歯科診療の補助業務を理解し、補助と	0	0	0	0		
歯科診療補助論	介助の違いを説明できる。②医療安全の定義および感染予防について述べることができる。③歯科機器・器材の特徴を説明できる。④歯科診療の流れおよび共同動作について説明できる。⑤主要な歯科材料の特徴を説明できる。	0	0	0	0	0	
歯科診療補助 I 歯科診療補助 II	①歯科診療補助に必要な器材の取り扱いに浮いて理解する。②		0	0		0	
	歯科診療補助に必要な共同動作について理解する。③歯科診療 補助の際に必要な患者対応について理解する。 ①診療科目別の診療補助業務(器具・器材の取り扱いも含む)を	0	0	0	0	0	0
	①診療科目別の診療補助業務(器具・器材の取り扱いも含む)を 修得する。②臨床の場に応じた診療補助方法および患者対応 (技術と知識)を修得する。	0	0	0	0	0	0
歯科診療補助Ⅲ	①歯科診療補助 I・II で習得した知識と技術をもとに臨床実習において歯科診療の補助・介助ができる。②特別な配慮が必要な患者の配慮方法を修得する。③歯科衛生士と他職種との多職種		0	0	0	0	
	思名の配慮方法を修行する。③圏科開生工と他職種との多職種連携について説明できる。	0	0	0	0	0	0

専門分野

1F TJ 1.1 1/J 224	最新の歯科材料および生体材料の組成、構造、特性、ならびに		0	0		0	
歯科材料学 	臨床での有用性等を説明できる。	0	0	0	0	0	
歯科放射線学	歯科衛生士となるために必要な歯科放射線学について学び、歯 科臨床で活かせるようになる		0			0	
四ゴイルスプロが大			0	0			
麻酔学•感染予防学	①滅菌、消毒と洗浄の違い及びその技法が説明できる。②感染 事故、針刺し事故の予防と対億ができる。③滅菌、消毒、洗浄の 基本的技法が実行できる。④患者の全身状態評価法を習得し、	0	0	0	0		
看護学概論	治療中のモニタの目的、使用法、結果の評価法を身に付ける。⑤ 緊急時の対応におけるチーム医療の目的、歯科衛生士の役割り を理解し、実践できるようにする。	0	0	0	0	0	
	歯科衛生士に必要と考えられる看護学的視点と看護基礎知識を 習得する。	0		0	0	0	
E HX 7 MANHIN		0	0	0	0	0	
 看護技術演習	①看護援助に必要な基本的な知識・技術・態度を修得する。②養護教諭・歯科衛生士の立場として、学んだことを応用する。	0		0	0		
		0	0	0	0	0	
基礎実習	① 実習生としての自覚を持ち、望ましい態度で実習に取り組むことができる。② 歯科衛生士の役割について考えることができる。	0	0	0			
	③ 歯科診療所の機能・役割を知ることができる。	0		0	0	0	
臨床臨地実習 I(一般歯科診療	歯科診療所における臨床実習を通して、歯科診療の流れや歯科 用器材、薬剤などの取り扱い方法などを修得するとともに、歯科	0	0	0	0		
所)	衛生士が行う口腔疾患予防管理業務の理解を深め、地域口腔保健を担う歯科衛生士の役割を認識する。	0	0	0	0	0	
L 臨床臨地実習 II (専門歯科診療	①スタッフとの協働、連携した対象者へ対応ができる。②対象に応じて配慮した対応ができる。③ 医療安全管理に配慮した行動ができる。④患者からの要求や相談内容を判断し、適切な応接	0	0	0	0		
所)	ができる。 ⑤ 対象者に応じた健康維持増進の保健管理指導ができる。 ⑥スタッフや患者と良好なコミュニケーションがとれる。	0	0	0	0	0	
臨床臨地実習Ⅲ(病院歯科)	①多職種連携、チーム医療が理解できる。②医療安全管理に配慮した行動ができる。③対象者の守秘義務を遵守できる。④資料やデータから歯科衛生業務の内容を判断できる。⑤対象者に応	0	0	0	0		
地域歯科保健実習 I (障害者・高	じた保健管理指導ができる。⑥全身疾患を持つ患者に配慮した 対応ができる。	0	0	0	0	0	
	①障がいの種類と歯科的特徴を理解する。②対象に応じて配慮した対応ができる。③発達段階に応じた口腔保健推進支援を展開する。④高齢者施設の概要、機能と社会的な役割について学	0	0	0	0		
齢者施設)	ぶ。⑤施設での高齢者の生活について理解し、コミュニケーション 方法、食事介助、口腔のケアの実際を習得する。	0	0	0	0	0	
地域歯科保健実習 II (保健施設)	①各地域の特性に応じた住民の生活のありようや健康課題を理解し、地域保健活動の実際を体験する。②ライフサイクルに合わせた地域歯科保健活動や、様々な健康課題に取り組む地域歯科	0	0	0	0		
2000年11年11年11日 100年11日 保健活動を理解する。③地域住民とのパートナーシップの形成及び保健・福祉・医療の専門職の効果的な協働関係を学ぶ。	0	0	0	0	0		
 地域歯科保健実習Ⅲ(教育機関)	①子どもの成長発達に応じた様々な健康課題を理解すると共に、健康課題に取り組む歯科保健活動を理解する。②対象者に応じた健康維持・増資の保健管理指導ができる。③集団を対象	0	0	0	0		
	に歯科健康教育を実践できる。④児童・生徒のライフスキルを高める。6. 対象に応じて配慮した対応ができる。	0	0	0	0	0	
· 哈 中手 详 中 羽	①対象者(家族)の症状や生活における反応や病気に対する思いや抱えている問題に関心を向ける。②対象者の病態や臨床所見と対象者の反応や思いを関連付けて理解する。③コミュニケー	0		0	0		
臨床看護実習	ションや日常生活援助等を通して、対象者の病いの体験を理解する。④医療者として基本的な態度(倫理的態度)を身につける。	0	0	0	0	0	
総合演習	①人体の構造と機能、歯・口腔の構造と機能、疾病の成り立ち及び回復過程の促進について総合的に理解する。②歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組みについて総合的に理解す	0	0	0	0	0	
	る。③臨床歯科医学について総合的に理解する。④歯科衛生士の3大業務(歯科予防処置・歯科保健指導・歯科診療補助)について総合的に理解する。	0	0	0	0	0	0
	①関心あるテーマに関連した文献検索ができる。②文献をクリ ティークし、自己の研究テーマを明確化できる。③研究テーマに		0	0	0	0	
口腔保健研究演習	ついて文献研究を行い、報告書が書ける。④研究内容、結果について他者に説明できる。	0	0	0	0	0	0